

DVR ▶ TC401
▶ TC801

ユーザーマニュアル



目次

本書について.....	5
FCC適合性の表示.....	5
著作権.....	5
安全性情報.....	6

1章: 製品概要..... 7

1.1 機能.....	7
1.2 パッケージ内容.....	7
1.3 部品と機能.....	8
1.3.1 前面パネル.....	8
1.3.2 背面パネル.....	9
4チャンネルDVR.....	9
8チャンネルDVR.....	9
1.4 リモートコントロール.....	10
1.5 マウス.....	11

2章: インストール..... 12

2.1 ハードディスクドライブ (HDD) のインストール.....	12
2.2 電源の接続.....	13
2.3 モニターへの接続.....	13
2.3.1 BNC接続.....	13
2.3.2 VGA接続.....	14
2.4 カメラの接続.....	14
2.4.1 BNC接続.....	14
2.4.2 RS-485接続.....	15
2.5 マイクの接続.....	16
2.6 ネットワークへの接続.....	17
2.7 他のデバイスへの接続.....	18
2.8 スピーカーへの接続.....	18

3章: はじめに..... 19

3.1 起動.....	19
3.2 シャットダウン.....	19
3.3 メイン画面.....	20
3.3.1 スクリーンアイコン.....	20
3.3.2 仮想キーボード.....	21
3.3.3 画面のロック.....	21
3.3.4 ポップアップメニュー.....	22
3.3.5 オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー.....	23
3.4 画面モード.....	25
3.4.1 ライブ映像表示.....	25
3.4.2 マルチピクチャーモード.....	26
3.4.3 ピクチャーインピクチャー (PIP) モード.....	26
3.4.4 自動切替表示.....	27
3.5 PTZコントロールの使用.....	28
3.5.1 クルーズモード.....	29
3.6 ズーム.....	29
3.7 手動録画.....	30
3.8 消音をオンにする.....	30

4章: DVRの使用	31
4.1 カメラの設定	31
4.1.1 カメラ表示設定	31
カラー設定	32
4.1.2 録画設定	32
スケジュール録画	33
4.2 ネットワークの設定	34
4.2.1 DHCP	34
4.2.2 PPPoE	34
4.2.3 固定IP	35
4.2.4 DDNS	36
4.3 録画済みビデオの表示	37
4.3.1 ビデオの検索と再生	37
4.3.2 ビデオのバックアップ	38
4.3.3 ログの表示とエクスポート	39
4.4 デバイスの設定	40
4.4.1 ストレージデバイスの設定	40
HDDの設定	40
HDDのフォーマット	41
USBドライブのフォーマット	41
4.4.2 アラーム設定	42
アラーム設定の実行	42
アラームのメール通知	43
4.4.3 PTZ設定	43
4.4.4 モバイルデバイスの設定	44
4.4.5 モーション検出の設定	45
4.5 クラウドストレージの設定	46
4.5.1 クラウドストレージの有効化	46
4.5.2 クラウドストレージのアクティブ化	46
4.6 システム設定	47
4.6.1 日付と時間の設定	47
NTPサーバーと時間を同期する	47
夏時間の設定	48
4.6.2 ユーザーとパスワードの設定	49
パスワードの変更	49
他のユーザーの設定	50
他のユーザーの権限付与	50
4.6.3 ビデオと音声の設定	51
ビデオ出力設定	51
音量設定	51
プライバシー設定	52
4.6.4 言語設定	53
4.6.5 システム情報	54
4.6.6 メンテナンス設定	54
手動再起動と電源OFF	54
自動メンテナンスの設定	55
システムファームウェアのアップデート	56
デフォルト設定の読み込み	56

5章: KGuard Webクライアント	57
5.1 ログイン	57
5.2 インターフェイス	58
5.3 ライブ映像表示	59
5.3.1 画面モードの切り替え	59
5.3.2 表示と録画	60
再生コントロールの使用	60
個々のチャンネルを手動録画する	60
スナップショットを撮る	60
PTZコントロールの使用	61
5.4 録画済みビデオの検索と再生	62
5.4.1 ビデオの検索と再生	62
5.4.2 録画済みビデオのダウンロード	63
5.4.3 ビデオ形式の変換	63
5.5 設定	64
5.5.1 録画設定	65
録画スケジュールを設定する	65
5.5.2 アラーム設定	67
モーション検出設定	67
アラーム設定	68
5.5.3 PTZ設定	69
5.5.4 ネットワーク設定	70
TCP/IP - 固定IPによる設定	70
TCP/IP - PPPoEによる設定	70
TCP/IP - DHCPによる設定	71
DDNSの設定	72
メール設定	73
モバイルデバイスの設定	74
5.5.5 システム設定	75
ユーザーアカウントの管理	75
詳細設定	76
5.5.6 システム情報:	77
6章: KViewシリーズソフトウェアの使用	78
6.1 KView	78
6.1.1 Android®電話版KView	78
6.1.2 iPhone®版KView	79
6.2 KViewHD	81
6.2.1 Android®タブレット版KViewHD	81
6.2.2 iPad®版KViewHD	82
6.3 KView Center	83
6.4 KViewシリーズの仕様	84
7章: トラブルシューティングおよびFAQ	85
7.1 トラブルシューティング	85
7.2 よくある質問	86
付録: 仕様	87

本書について

本書の内容は情報を目的とし、予告なく変更することがあります。弊社は、本書が正確で完全なものであることを保証するあらゆる努力を行っています。しかし、いかなる誤記および脱落が生じた場合も一切の責任を負いません。

FCC適合性の表示

本機は試験を行い、FCC規則パート15に従って、クラスBデジタルデバイスの制限に適合することが認められました。この制限は、住宅への設置における有害な妨害に対する合理的な保護を行うよう考案されています。本機は、無線周波数エネルギーを生成し、使用し、放射します。使用説明に従わずに設置し、使用した場合は、無線通信に有害な妨害が発生する恐れがあります。ただし、特定の設置においては妨害が発生しないという保証はありません。本機がラジオまたはテレビの受信に有害な妨害を引き起こす場合、それは本機の電源をOFF / ONにすることで判断できますが、次の対策の1つ以上を行うことで妨害の修正を試みることをお勧めします。

- 受信アンテナの向きまたは位置を変える。
- 製品と受信機の距離を離す。
- 受信機が接続しているのと回路が異なるコンセントに製品を接続する。
- 販売店または経験を積んだラジオまたはテレビ技術者に相談し、支援を求める。

適合宣言

本機は、FCC規則パート15に準拠しています。動作は次の2つの条件に従っています。

- 1.本機は有害な妨害を起こすことができない。
- 2.本機は、望まない動作を起こす可能性がある妨害を含むいかなる妨害の受信も受け入れなければならない。

著作権

賠償責任の制限

- 本書は、商品性、あらゆる特定目的への適合性、または第三者の権利の抵触がないことに関する黙示の保証を含むがこれに制限されない明示または黙示のあらゆる種類の保証なしに「そのまま」提供されます。
- 本書には、技術的な誤りまたは誤記がある可能性があります。出版物の改善または関連デバイスの改善のため、本書の情報に対してはいつでも変更が行われることがあります。

保証の否認

いかなる場合も、サプライヤは、次を含むがこれに限定されない場合に、製品の交換または合理的なメンテナンスを除き、いかなる当事者またはいかなる人に対しても責任を負わないものとします。

- すべての損害または損失。直接的または間接的なもの、特別なもの、派生的または警告的なもの、およびデバイスが原因となるまたは関連するものが含まれるがこれに限定されない。
- 不適切な使用またはユーザーの操作の怠慢により引き起こされた個人の怪我またはなんらかの損傷。
- ユーザーによる権限のないデバイスの解体、修理、または変更。
- システムとサードパーティ製デバイスを組み合わせることから発生するすべての問題、結果的不都合、または損失もしくは損傷。
- 被写体となるすべての人または組織からもたらされる損傷に対するすべての請求または訴えが、何らかの理由で保存したデータを含む監視カメラの写真がプライバシー違反の結果となることにより、公開されるかまたは監視以外の目的で使用される。

安全性情報



警告

これはなんらかの特別な注意を要する危険の可能性、リスク、または状態を示すマークです。ユーザーは、重要な保守運用または修理の指示を参照する必要があります。



注意

正三角形の中に矢印付きの稲妻があるマークは、ユーザーへの警報を意図するものです。製品のエンクロージャー近くに、人に対するリスクになり得る危険な「電圧の」存在があります。

安全上の注意

- **充電部に触らないこと。**
感電を防ぐことができます。次に挙げる推奨法に従ってください。設置障害、不適切な接地、不正な電気機器の保守運用は、常に損傷の元となります。
- **風雨が強い時に屋外で機器を設置しないこと。**
- **雨の時は屋外で機器の設置または取り外しをしないこと。**
- **雷雨の時はいかなる機器も設置または操作しないこと。**
- **常にすべての電気機器と作業足場を接地すること。**
偶発的な感電を避けてください。電源、制御キャビネット、および作業足場を認可された電気的アースに接続してください。
- **必ず正しいケーブルサイズを使用すること。**
過負荷の持続により、ケーブル障害が発生し、結果として感電または火災の原因となる可能性があります。作業ケーブルは、工場と同じ定格である必要があります。
- **ケーブルとコネクタは常に良好な状態に維持すること。**
不適切または破損した電気接続によりショートが発生し、感電の危険性が増加します。磨耗、損傷、または裸のケーブルを使用しないでください。
- **必ず開路電圧を避けること。**
電圧の追加により、感電の危険性の重大度が増加します。
- **機器を調整する間は必ず絶縁手袋を装着すること。**
電撃保護を保証するため、いかなる機器の調整を行う場合も電源をOFFにし、絶縁手袋を装着する必要があります。
- **機器を設置または取り外しする間は必ず長袖のシャツなどの防護服を着ること。**
- **必ず高くぴたり合う靴を履くこと。**
- **必ず潤滑油または油が付いていない清潔な衣服を着ること。**
- **周囲の作業者が円周放射にさらされないよう保護すること。**
- **機器を設置または取り外しする間は必ず長ズボンやジーンズを着ること。**
- **作業前に、必ず安全ヘルメットまたはハードヘッドおよび安全靴を装着すること。**
- **機器は常に乾燥した場所に保管すること。**
- **高所作業時は必ず安全ハーネスまたはベルトを装着すること。**
- **常に乾いた衣服を着て、湿気と水を避けること。**
- **夜間作業時は必ず公衆安全ベストを装着すること。**
- **すべての電気接続は、必ずしっかりと、清潔で、乾いた状態にすること。**
- **静電荷を除去するため、必ず十分に絶縁すること。**
- **常に乾いた手袋、ゴム底の靴、または乾いた板もしくは台に立つこと。**
- **必ず広く認められた安全基準に従うこと。**
- **必ず適切な目、耳、および体の保護具を装着すること。**
- **暗所、換気の弱い場所、または高所で作業する間は、必ず現場に2番目の人がいるようにすること。**
- **必ずアーク閃光、機械的損傷、またはその他の災難に対して十分に保護すること。**
- **機器を設置する前に、線の極性が正しいことを確認すること。**
- **機器は必ず注意して取り扱うこと。**
- **機器の換気を遮らないこと。**
- **機器の周辺に磁気パーツを置かないこと。**
- **機器の上に物を置かないこと。**

1章: 製品概要

1.1 機能

本機は次の機能をサポートしています。

- H.264圧縮およびデュアルストリームネットワーク伝送
- D1録画再生をサポート
- プログラムメニューの使いやすいGUI (グラフィカルユーザーインターフェイス) およびUSBマウスコントロール
- マルチチャンネル同時再生をサポート
- 多重操作 (ビデオのライブ表示、録画、再生、およびバックアップをサポート)
- USBポートはUSBフラッシュドライブのバックアップをサポート
- PTZコントロール用内蔵RS-485ポート
- KGUARD専用のKViewソフトウェアを介したリモート監視および制御(Symbian、Windows Mobile、iPhone、およびAndroidの電話またはタブレット)
- 音声付きIEブラウザを介したオンライン監視
- イベントトリガーのメール通知
- NTP (Network Time Protocol) をサポート
- 最大2TBまでのSATA HDDをサポート
- プライベートエリア保護用プライバシーマスク (1チャンネル当たり最大4エリア)
- ワイド画面で使用可能
- 専用でクラウドサービスに接続し、個人用ストレージスペースを所有

1.2 パッケージ内容

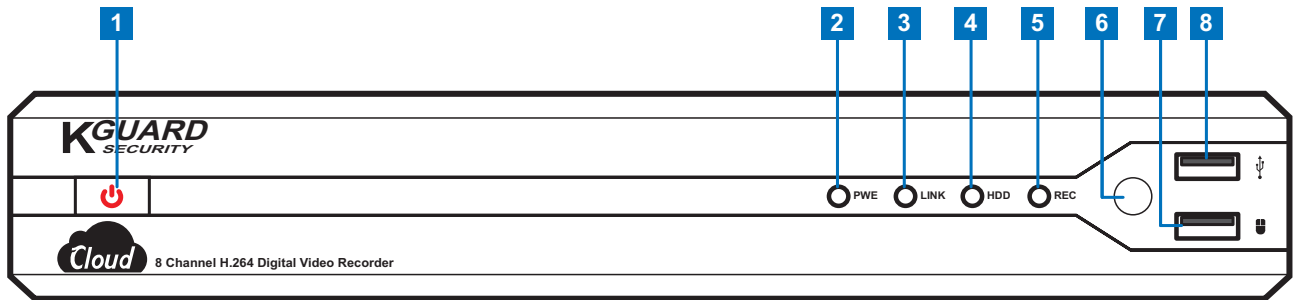
次のアイテムがパッケージに付属しています。これらのいずれかがないかまたは破損している場合は小売店にお問い合わせください。

			
リモートコントロール	マウス	クイックガイド	CD-ROM
			
電源	BNC - RCAケーブル	電池*	HDDねじキット

* すべての国で入手可能ではありません。

1.3 部品と機能

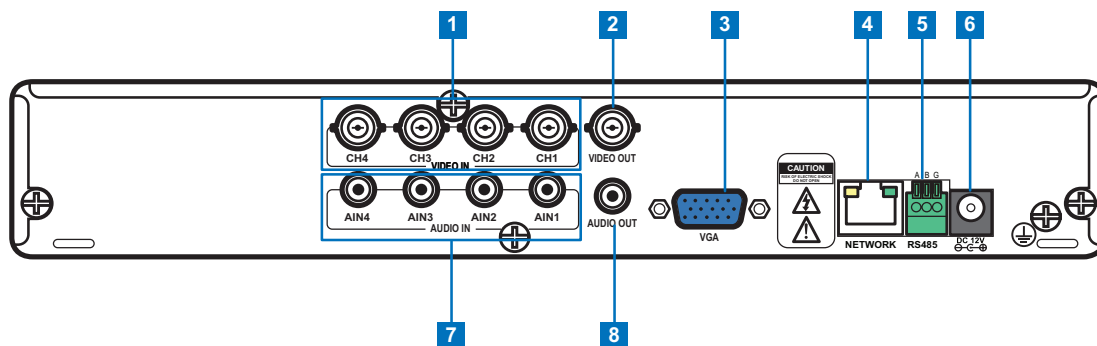
1.3.1 前面パネル



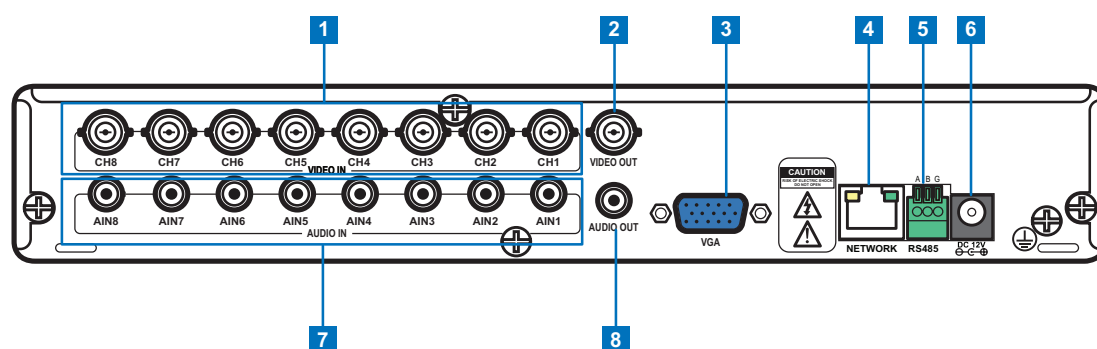
番号	項目	アイコン	説明
1	電源ボタン		これを押してDVRの電源をオンまたはオフにします。
2	電源インジケータ	PWE	緑に点灯して電源がONであることを示します。
3	リンクインジケータ	LINK	琥珀色に点灯してリンクが確立されたことを示します。
4	HDDインジケータ	HDD	HDDがアクセス中の場合は赤に点灯します。
5	録画インジケータ	REC	録画が進行中のときは赤色に点灯します。
6	IRレシーバー	-	リモコンの信号を受信します。
7	USBマウスポート		USBマウスを接続します。
8	USBポート		フラッシュディスクなど他のUSBメモリデバイスを接続します。

1.3.2 背面パネル

4チャンネルDVR

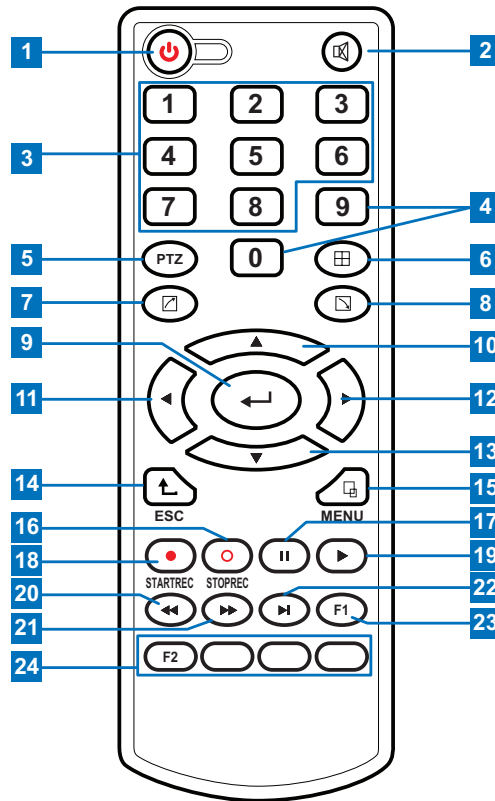


8チャンネルDVR



番号	コネクタ	説明
1	ビデオ入力	8チャンネルDVR:最大8台のビデオ入力デバイス (BNC) に接続します。 4チャンネルDVR:最大4台のビデオ入力デバイス (BNC) に接続します。
2	ビデオ出力	BNC経由でモニター出力に接続します。
3	VGA出力	VGAモニターに接続します。
4	LAN	RJ-45経由でLANに接続します。
5	RS-485	RS-485経由でスピードドームカメラに接続します。
6	電源	電源アダプターに接続します。
7	オーディオ入力	8チャンネルDVR:RCA経由で最大8台のオーディオ入力に接続します。 4チャンネルDVR:RCA経由で最大4台のオーディオ入力に接続します。
8	オーディオ出力	RCA経由でオーディオ出力に接続します。

1.4 リモートコントロール



番号	アイコン	説明
1	🔌	これを押すと手動録画を開始します。
2	🔇	これを押してミュートをONまたはOFFにします。
3	1-8	数字キー これを押すと、チャンネルを全画面表示します。
4	0, 9	数字キー
5	PTZ	これを押してPTZ設定を行います。
6	田	これを押すと4x4チャンネルを表示します。繰り返し押すと他のチャンネルにスクロールします。
7	📄	これを押してポップアップメニューを表示させます。22ページの3.3.4 ポップアップメニューをご参照ください。
8	📄	これを押してポップアップメニューを閉じます。
9	←	これを押すと、選択したメニュー項目に入り、設定を編集します。
10	▲	これを押すとOSDメニュー内で上に移動します。
11	◀	これを押すとOSDメニュー内で左に移動します。
12	▶	これを押すとOSDメニュー内で右に移動します。

番号	アイコン	説明
13	▼	これを押すとOSDメニュー内で下に移動します。
14	⬆️ ESC	これを押してメインメニューまたは再生画面を終了します。
15	📄 メニュー	これを押してメインメニューを表示させます。
16	● STOPREC	これを押すと録画が停止します。
17	⏸️	これを押すと再生が一時停止します。
18	● STARTREC	これを押すと録画を開始します。
19	▶	これを押して録画済みビデオを再生します。
20	◀◀	これを押すとビデオ再生を巻き戻します (x2, x4, x8)。
21	▶▶	これを押すとビデオ再生を早送りします (x2, x4, x8)。
22	▶	これを押すとビデオ再生を一時停止したり、フレーム再生モードに入ります。
23	F1	予備キー
24	F2	予備キー

1.5 マウス

DVRの操作に使用可能なUSBマウスがDVRに付属しています。付属のマウスを、デバイスの背面パネルにあるUSBマウスコネクタに接続します。

マウスの操作	説明
左クリック	OSDメニューで、左ボタンを押して設定の選択と編集を行います。
右クリック	プレビューモードで右ボタンをクリックすると、ポップアップメニューが表示されます。
	メインメニューまたはサブメニューモードで右ボタンをクリックすると、現在のメニューが終了します。
左ボタンをダブルクリック	いずれかのチャンネルのライブ画像をダブルクリックすると全画面表示されます。もう一度左ボタンをダブルクリックすると、全カメラの画面表示に戻ります。
エリアまたは線のドラッグ	モーションモードで、この機能を使用してモーションエリアを選択します。
	カラー設定メニューモードでは、カラーコントロールバーを調整します。

2章: インストール

2.1 ハードディスクドライブ (HDD) のインストール

ご購入のパッケージによって、完全パッケージにハードディスクドライブが同梱されていることがあります。プリインストールされていない場合は、本書のインストールに関する指示に従ってください。

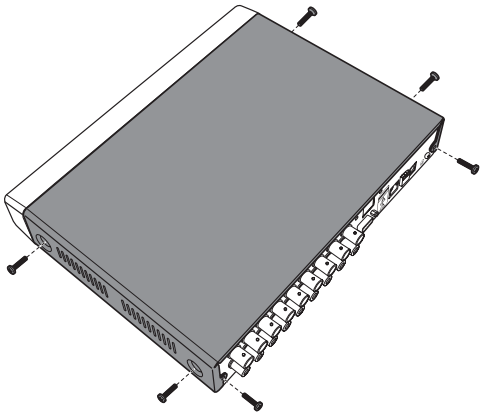
⚠ デバイスの電源がオンの間はHDDのインストールまたは取り外しをしないでください。

4チャンネル / 8チャンネルDVRは、3.5インチSATAハードディスクドライブをサポートしています。HDDをインストールするには、次のステップに従います。

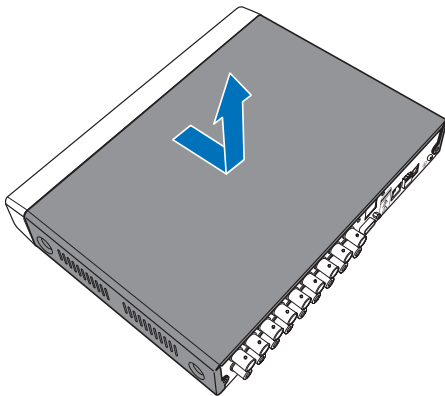
注意:

下図は8チャンネルDVRを示しています。同じ手順が4チャンネルDVRにも適用されます。

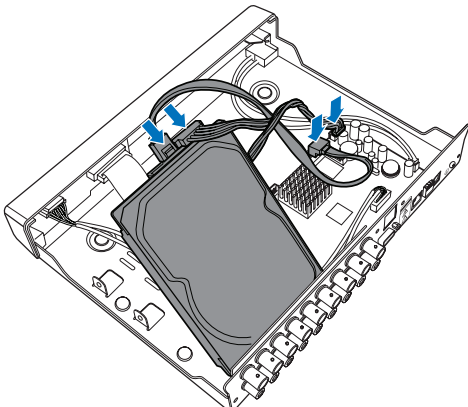
1 図に示すように、左、右、および背面のネジを緩めます。



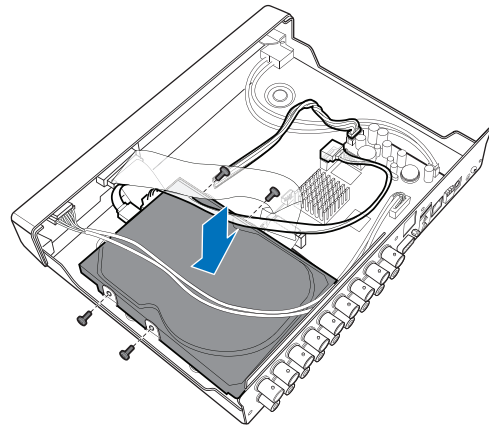
2 カバーを押し戻してから持ち上げて取り外します。



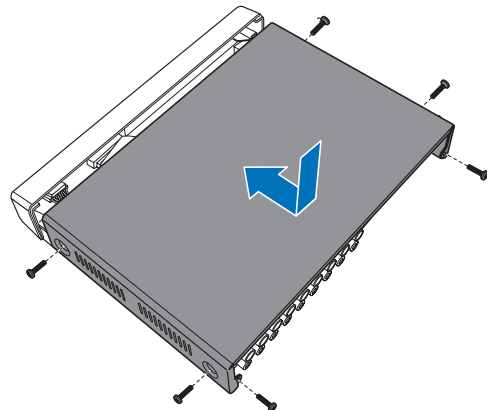
3 データと電源ケーブルをHDDとDVRに接続します。



4 付属の4本のねじでHDDをブラケットに取り付けます。




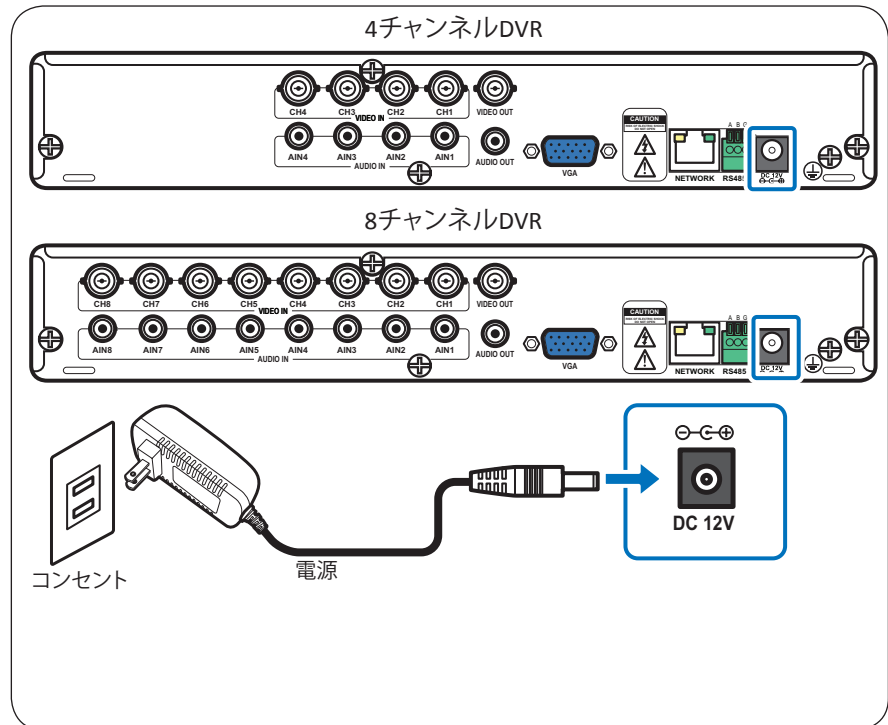
5 カバーを取り付けてから、ねじを所定の場所で締めます。



2.2 電源の接続

DVRに付属の電源アダプターと電源コードのみを使用してください。

- 1 電源の一方の端をDVR背面の電源コネクタに接続します。
- 2 電源の他方の端をコンセントに接続します。
- 3 電源  ボタン押してDVRの電源をオンにします。

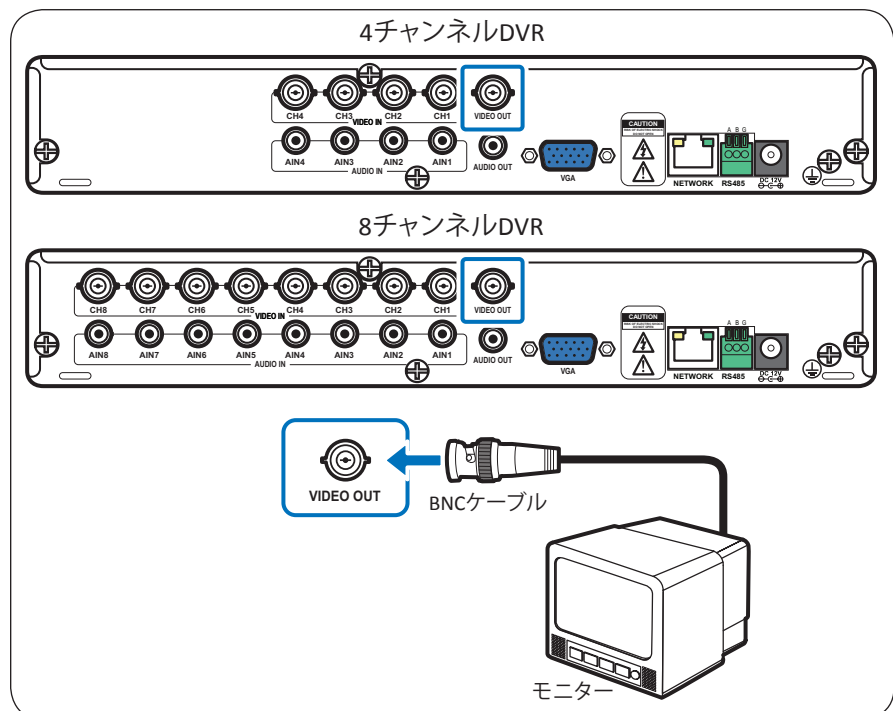


2.3 モニターへの接続

BNC、VGA接続を介してモニターにプレビュー画面を表示させることができます。

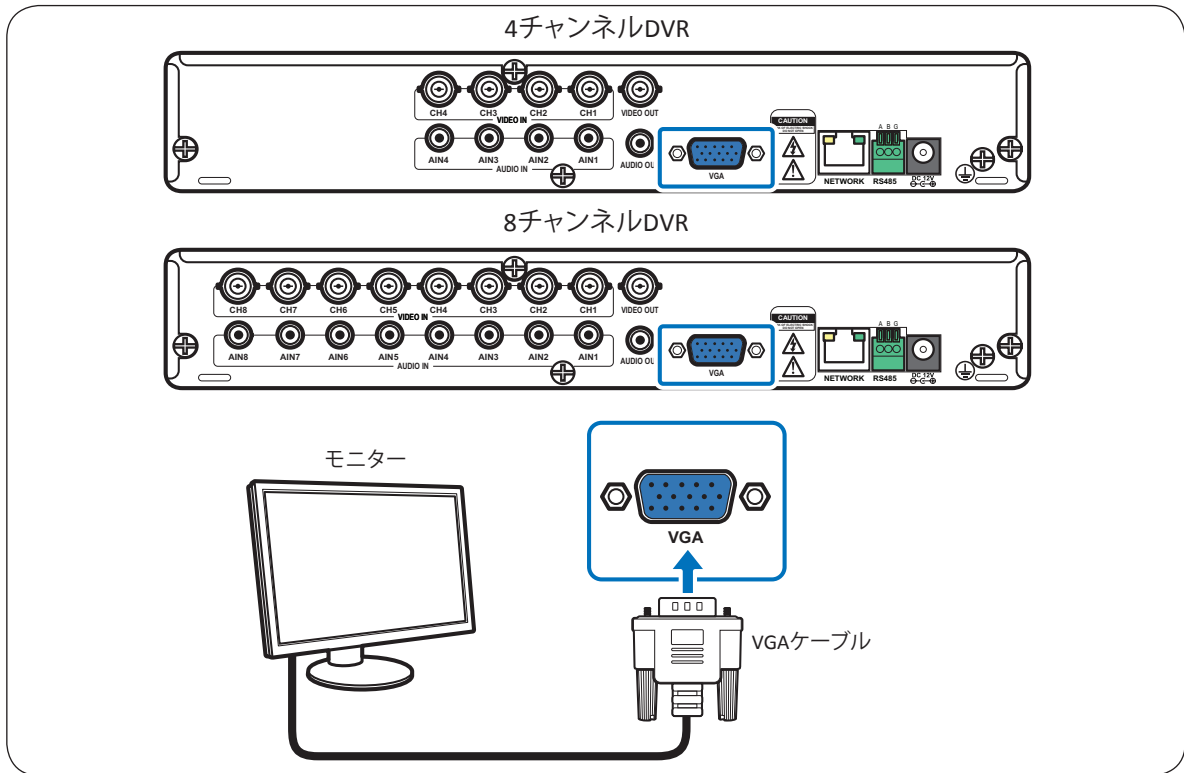
2.3.1 BNC接続

図に示すとおり、BNCコネクタ経由でDVRのビデオ出力をモニターに接続します。



2.3.2 VGA接続

図に示すとおり、VGAコネクタ経由でDVRのビデオ出力をモニターに接続します。

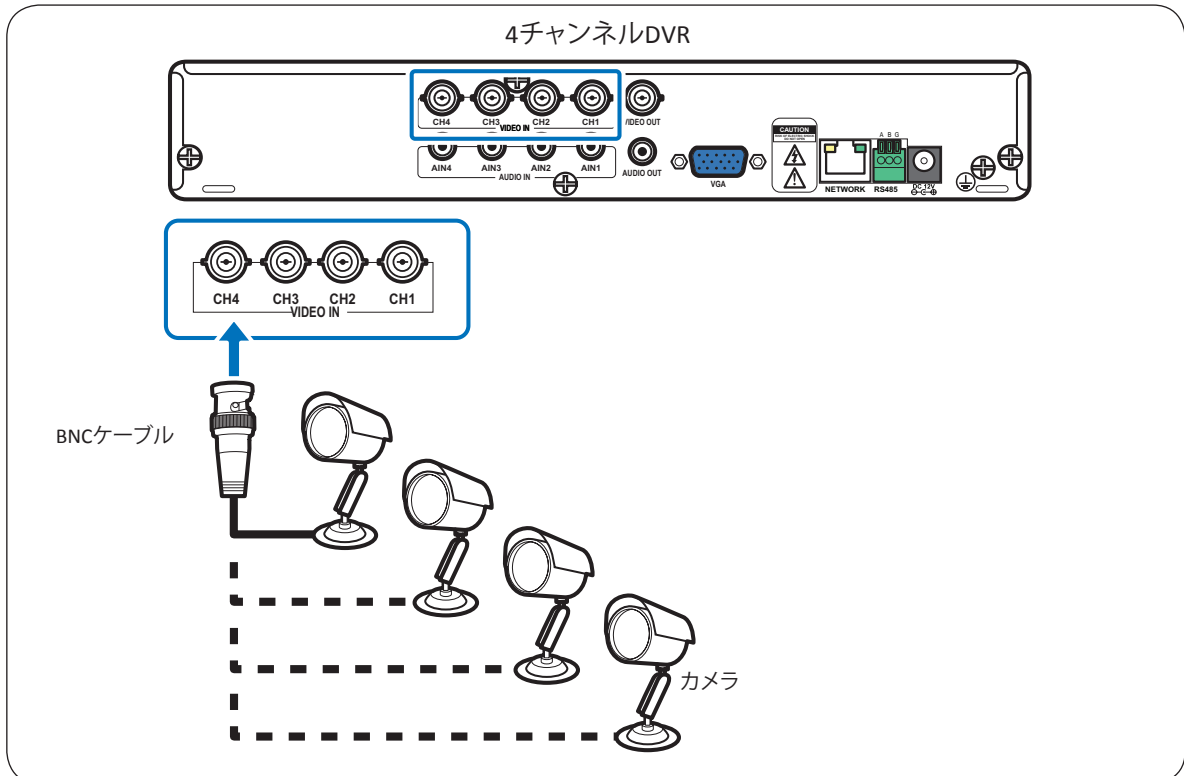


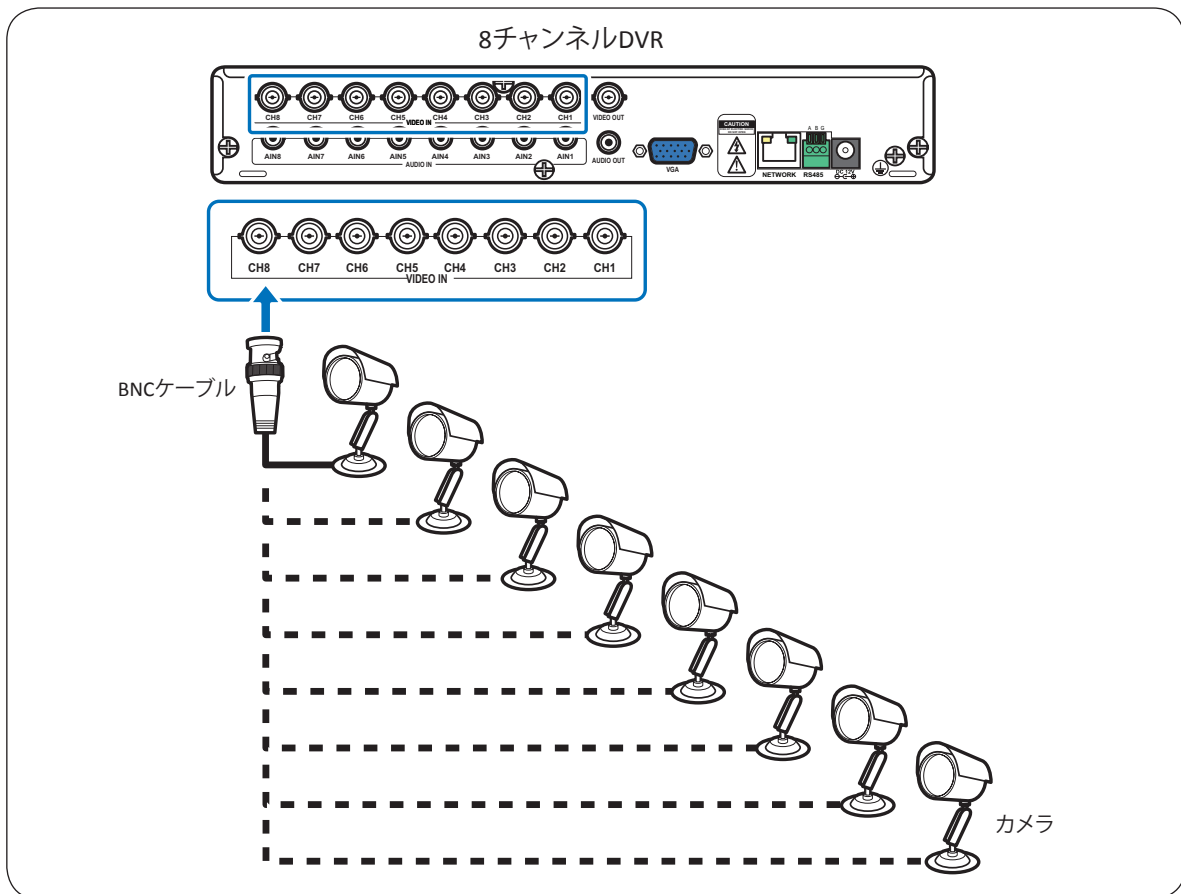
2.4 カメラの接続

BNCまたはRS-485接続を介して、カメラケーブルをDVRのビデオ入力に接続します。

2.4.1 BNC接続

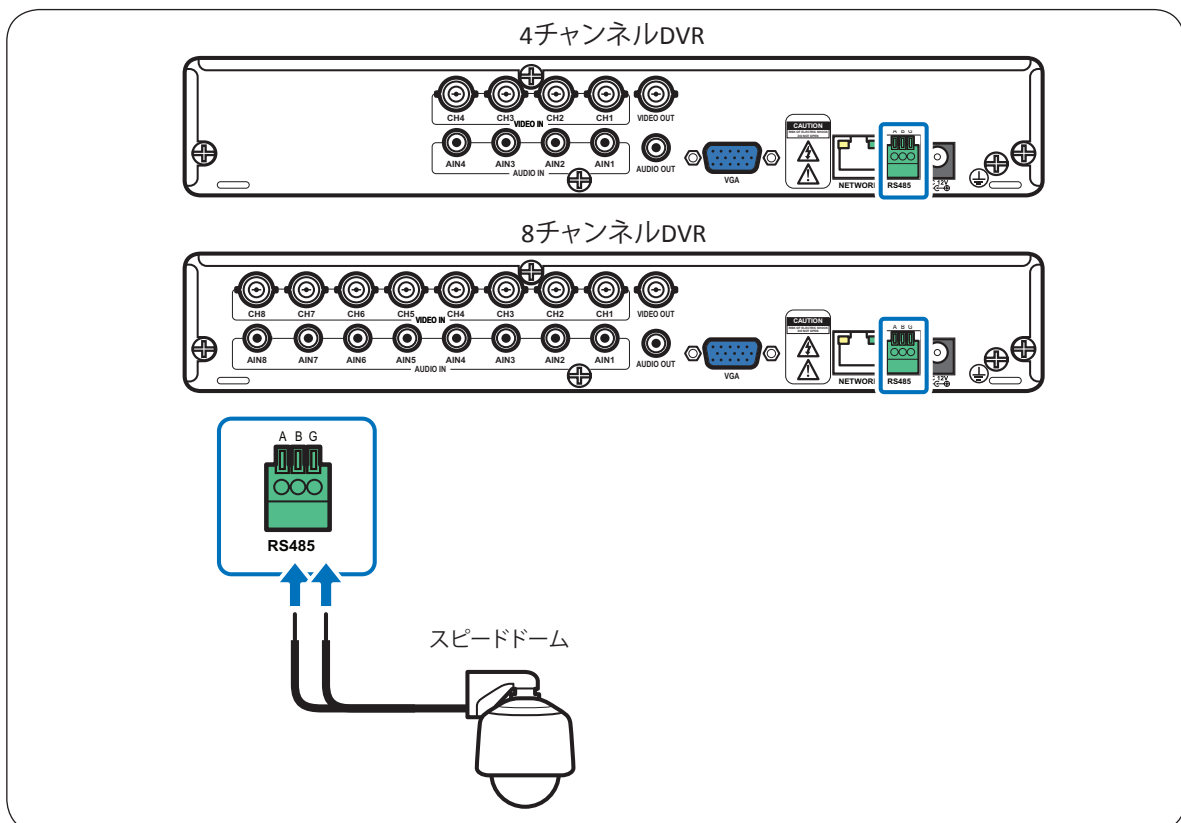
図に示すとおり、BNCコネクタ経由でカメラケーブルをDVRのビデオ入力に接続します。





2.4.2 RS-485接続

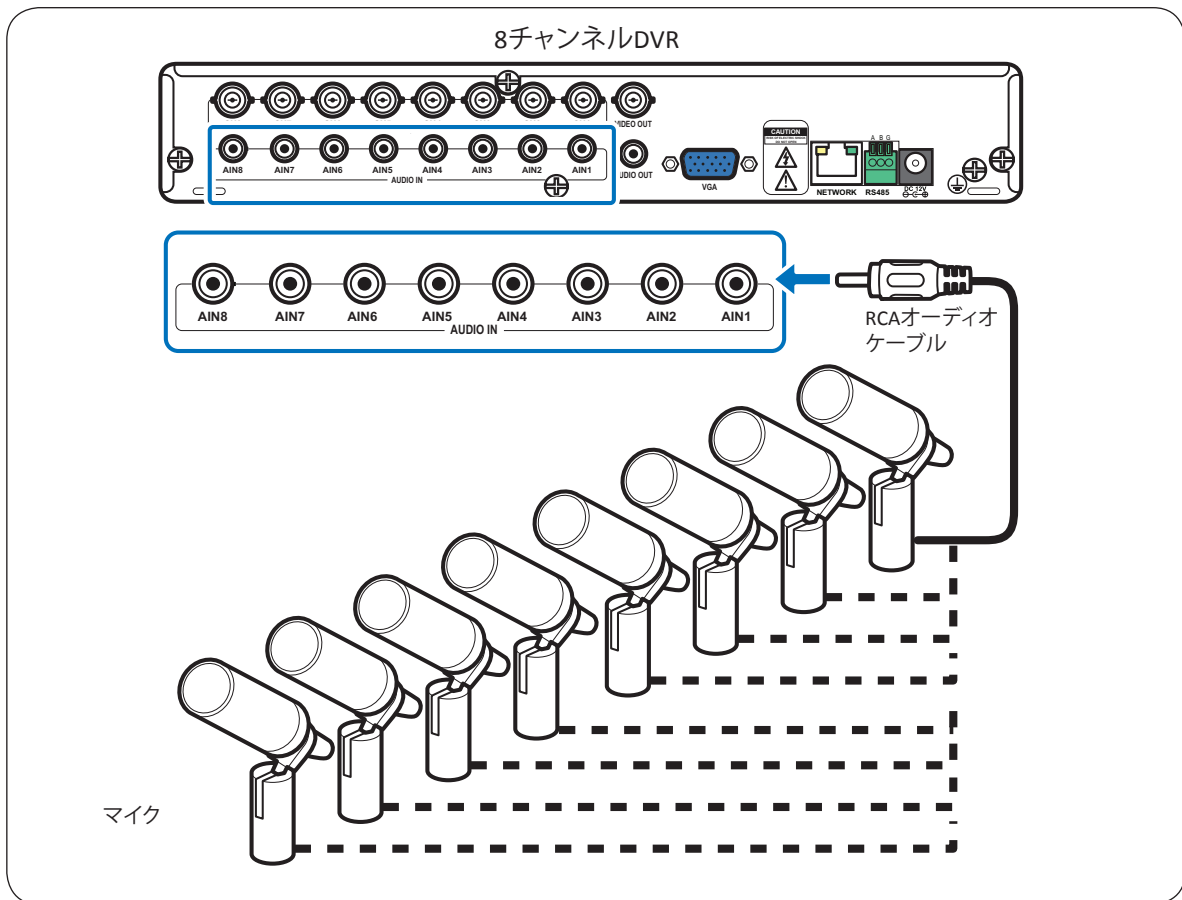
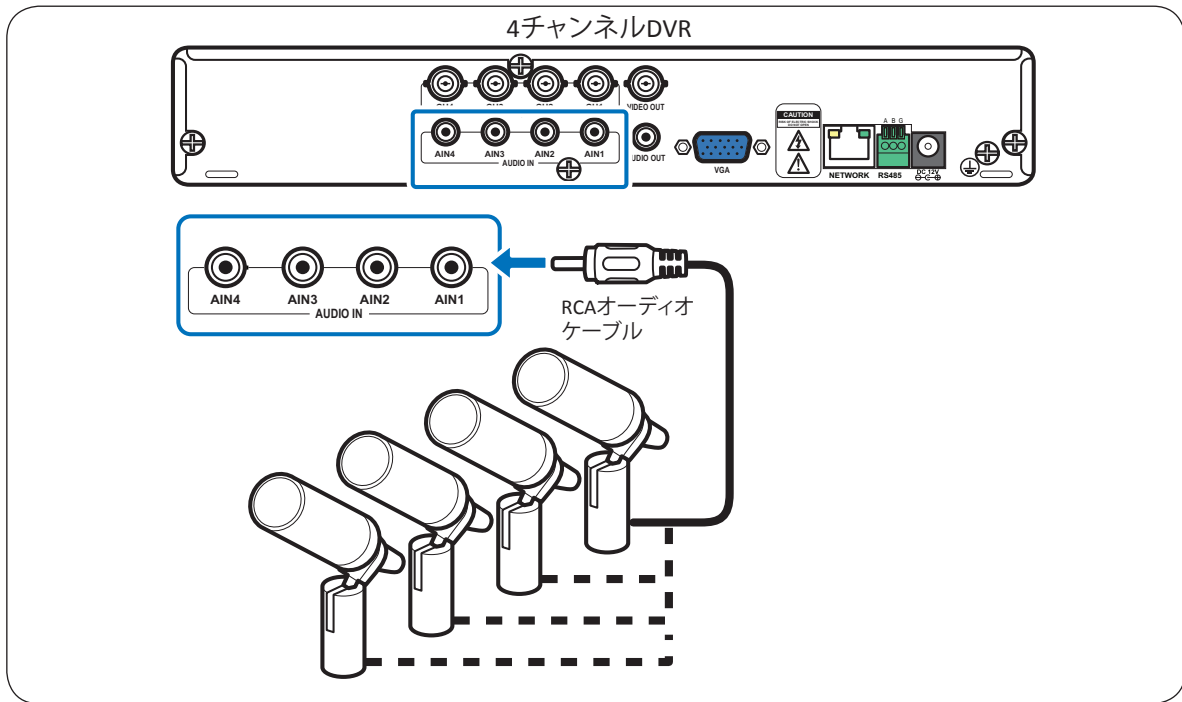
PTZスピードドームをお使いの場合は、図に示すとおり、RS-485コネクタ経由でカメラケーブルをDVRのビデオ入力に接続します。



2.5 マイクの接続

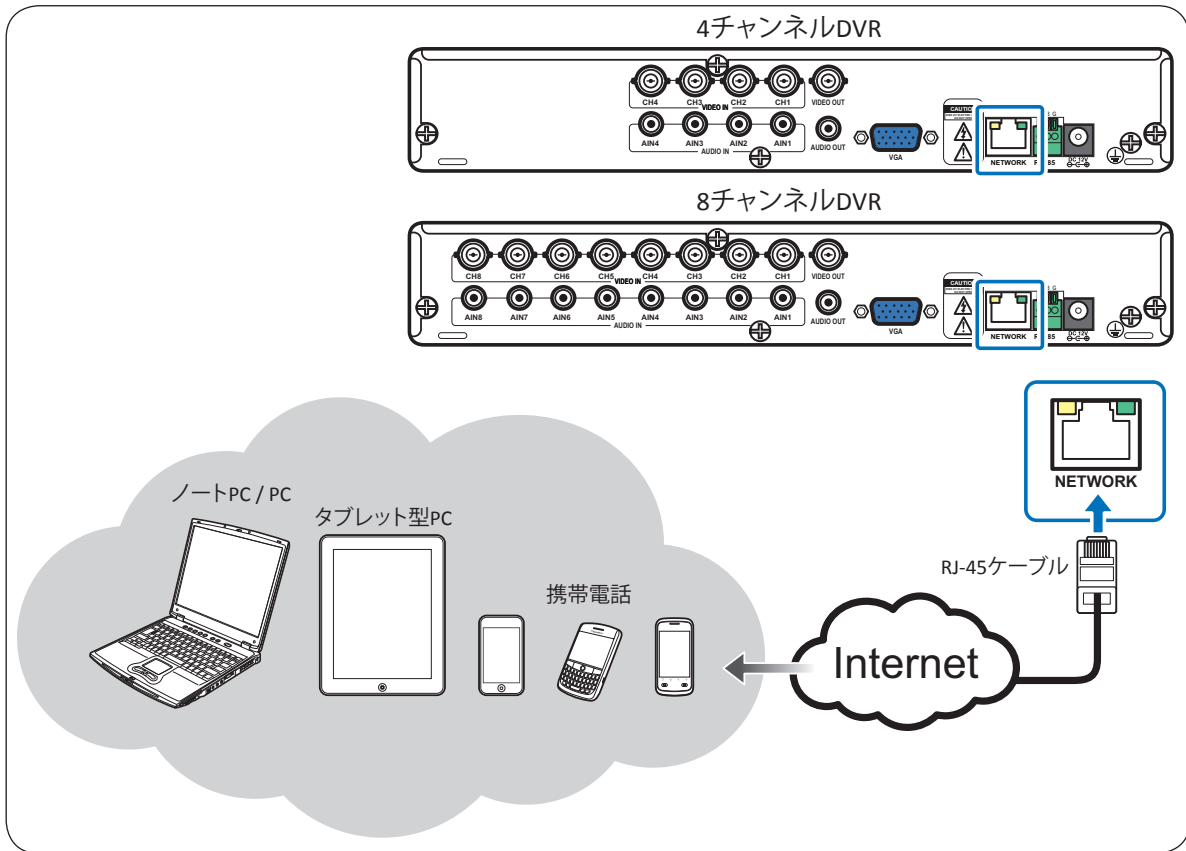
マイクロホンは、RCA入力接続を介して直接接続できます。

図に示すとおり、RCAケーブル接続でマイクを接続します。



2.6 ネットワークへの接続

リモート監視の場合、有線ネットワーク接続を介してDVRをインターネットに接続します。



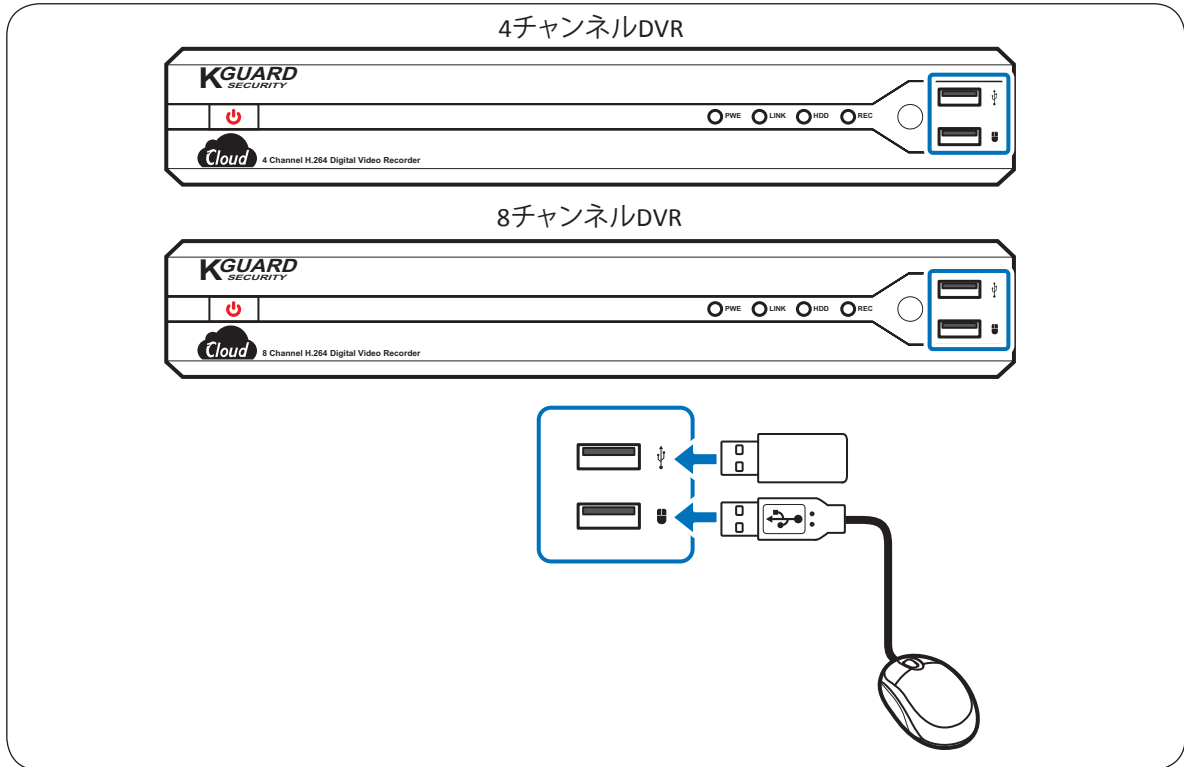
1 RJ-45ケーブルの一方の端を、DVR背面のLANポートに接続します。

2 他方の端を直接ルーターまたはネットワークスイッチのLANポートに接続します。

接続後、DVRをネットワーク通信用に構成します。詳細については34ページの4.2 ネットワークの設定をご参照ください。

2.7 他のデバイスへの接続

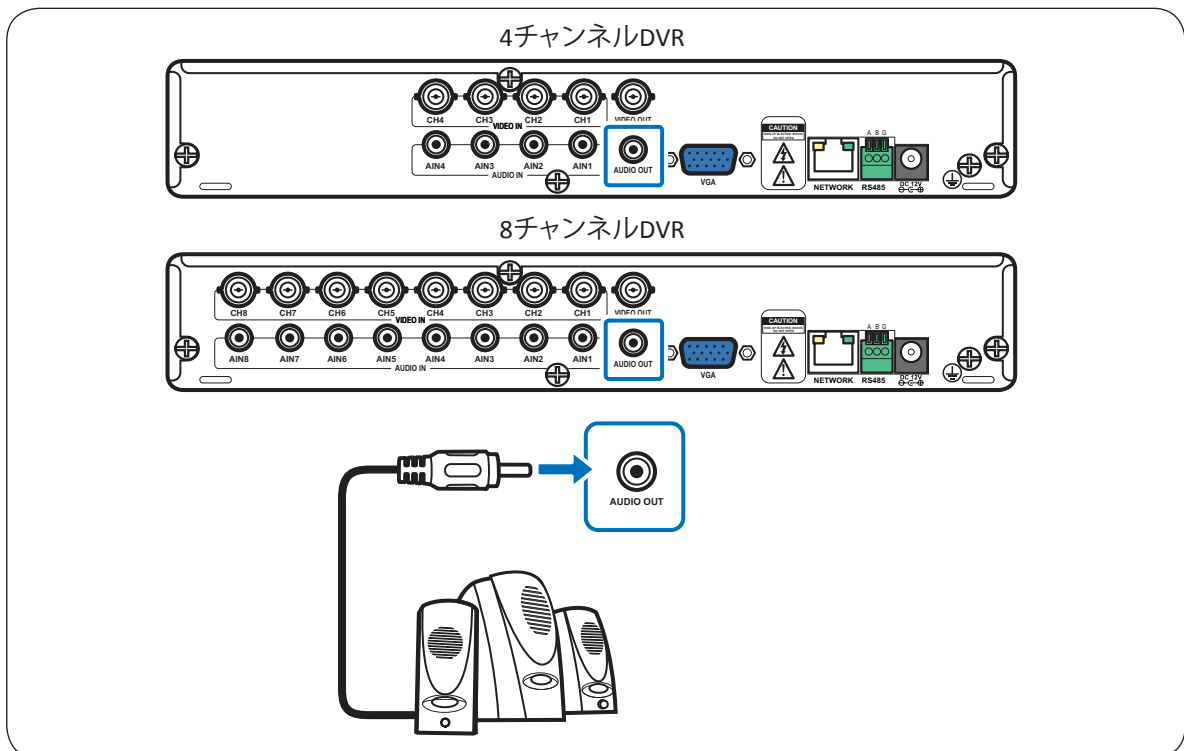
マウスやUSBストレージドライブなど、その他のデバイスをDVRに接続することができます。DVR前面のUSBポートに接続します。



2.8 スピーカーへの接続

RCA接続を介して、スピーカーをDVRに接続できます。

図に示すとおり、RCAケーブルでスピーカーを接続します。



3章: はじめに

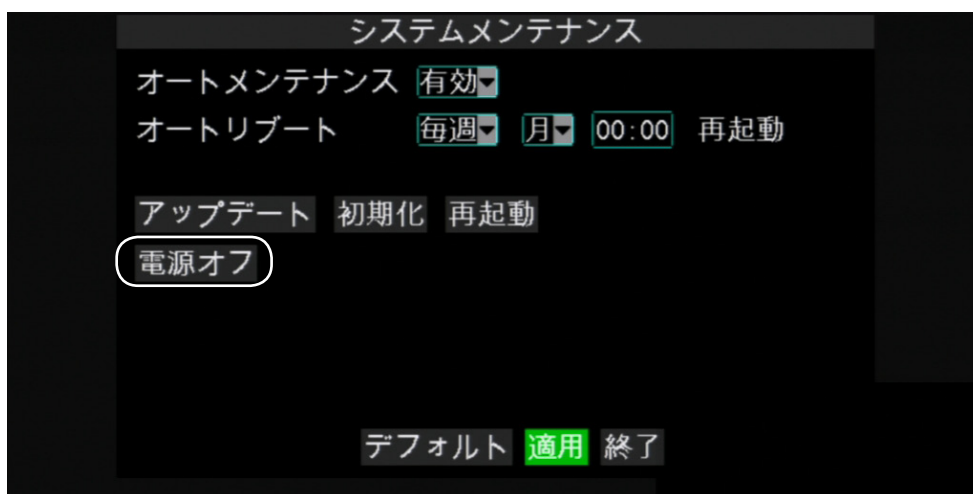
3.1 起動

- 1 DVRに電源アダプターを接続します。詳細については13ページの2.2 電源の接続をご参照ください。
- 2 DVR前面の電源スイッチをオンにします。DVRの電源が自動的にオンになり、チャンネル画面を表示します。

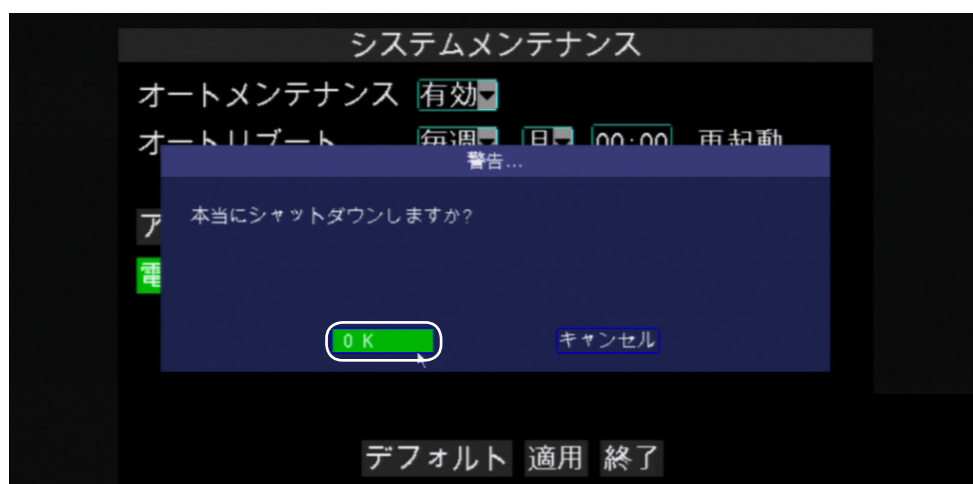
3.2 シャットダウン

DVRの電源を正常にOFFにするには以下を行います。

- 1 プレビューモードで、マウスを右クリックして、ポップアップメニューを表示させます。
- 2 メインメニュー > システム > メンテナンスを選択し、電源オフをダブルクリックします。
また、リモコンのメニューボタンを押してメインメニューにアクセスすることもできます。



- 3 画面に警告メッセージが表示されます。OKを選択して電源をOFFにします。



- 4 「電源を切れるようになりました!」メッセージが画面に表示されるまで待ちます。
- 5 DVRの背面パネルの電源スイッチをオフにします。続いてコンセントから電源コードを外します。

3.3 メイン画面

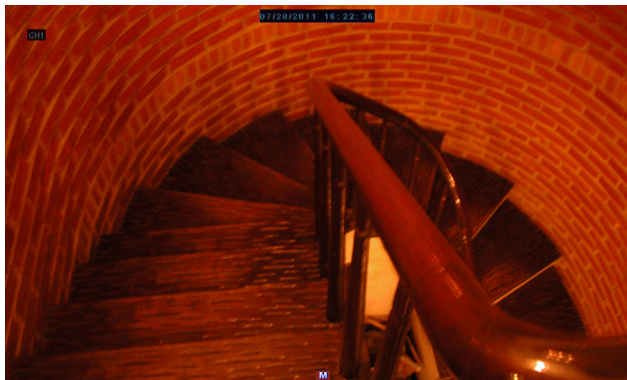
3.3.1 スクリーンアイコン

各チャンネルのメイン画面には4種類の録画インジケータがあります。

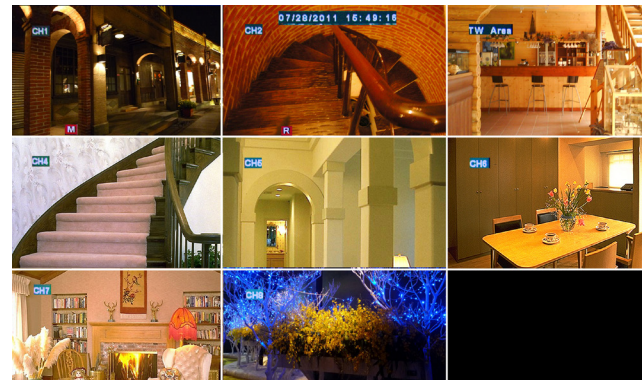
チャンネルタイトル (31ページ参照) 現在の日付と時刻



4チャンネルディスプレイ



1チャンネルディスプレイ



8チャンネルディスプレイ

注意:

- 録画モード時、**R** アイコンまたは **M** アイコンが画面に表示されます。**M** アイコンが画面に表示された場合は、モーション検出が有効であることを示します。
- 「ビデオロス」が画面に表示された場合は、カメラ接続をチェックします。

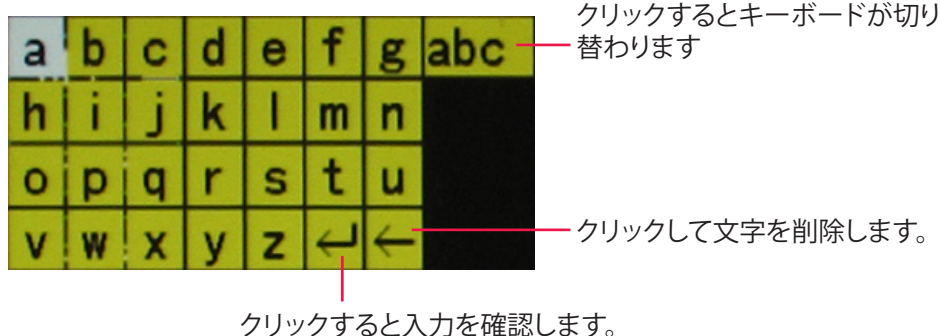
アイコン	説明
M	モーション検出が有効になります。
H	HDDのメモリがいっぱいです。 HDDを検出できません。
R	ビデオ録画が進行中です。
ビデオロス	ビデオロスです。

3.3.2 仮想キーボード

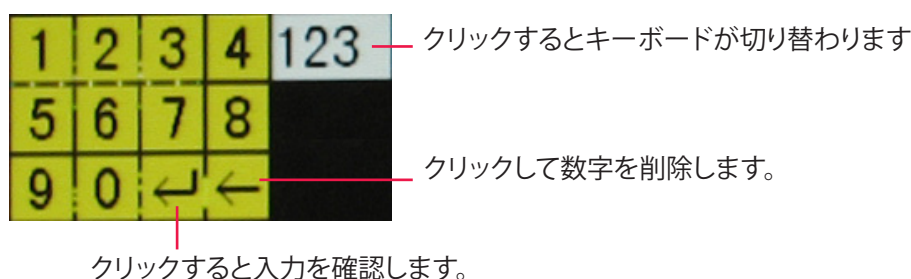
データ入力が必要な場合は、仮想キーボードが自動的に画面に表示されます。

キーボード設定は2種類あります:

a. フルキーボード



b. 数字キーボード



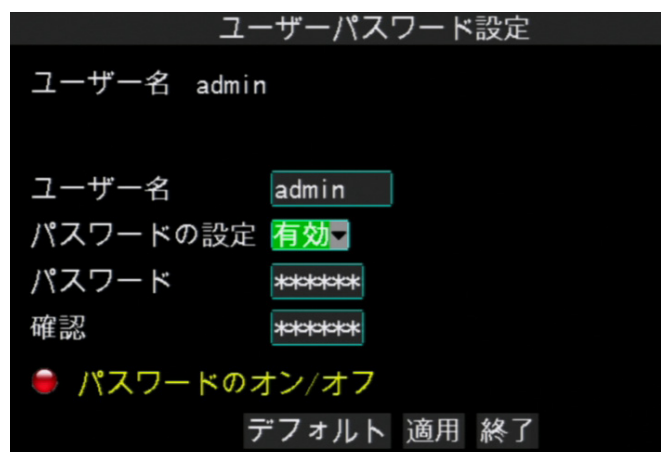
3.3.3 画面のロック

システムのセキュリティ保護のため、画面をロックして権限のないOSD操作から保護します。

1 プレビューモードで、マウスを右クリックしてポップアップメニューを表示させます。

2 メインメニュー > システム > パスワードを選択します。

3 パスワードのステータスをオンに設定します。



4 ユーザー名とパスワードを入力します。続いて**適用**をクリックします。

5 **OK**をクリックします。

6 画面をロックするには、右クリックしてポップアップメニューを表示させ、**メニューロック**を選択します。

7 ロック機能を有効にした場合、OSDメニューに入る前にユーザー名とパスワードを入力する必要があります。

3章: はじめに

仮想キーボードが画面上に自動的に表示されます。



ユーザー名の入力

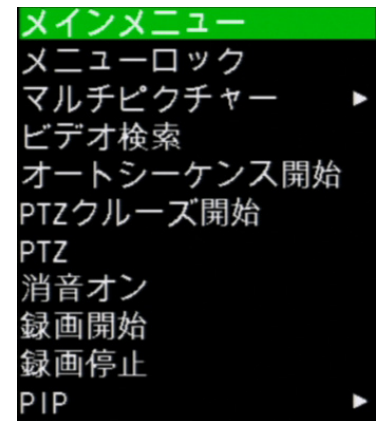


パスワード入力

3.3.4 ポップアップメニュー

ポップアップメニューにより、よくアクセスする機能にアクセスできます。マウスの右ボタンを押すと、ポップアップメニューにアクセスできます。使用可能なポップアップメニュー項目は、現在の設定または操作によって異なります。

- **メインメニュー:**
メインメニューにアクセスし、すべての設定を調整します。
- **ロック:**
OSDメニューに入るアクセスをロックします。
OSDメニューに入る前に、ユーザー名とパスワードを入力する必要があります。
- **マルチピクチャー:**
画面表示設定を行います。[26ページ](#)をご参照ください。
- **録画検索**
再生する録画済みビデオを検索します。[37ページ](#)の[4.3.1 ビデオの検索と再生](#)をご参照ください。
- **オートシーケンス開始:**
オートシーケンス開始表示モード[27ページ](#)をご参照ください。
- **PTZクルーズ開始:**
PTZカメラのクルーズを開始します。[29ページ](#)をご参照ください。
- **PTZ:**
PTZコントロールを使用します。[28ページ](#)をご参照ください。
- **消音オン/オフ:**
消音機能を有効または無効にします。[30ページ](#)をご参照ください。
- **録画開始:**
手動で録画を開始します。[30ページ](#)をご参照ください。
- **録画停止**
手動で録画を停止します。[30ページ](#)をご参照ください。
- **PIP:**
PIP (ピクチャーインピクチャー) 画面表示を設定します。[26ページ](#)をご参照ください。



3.3.5 オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー

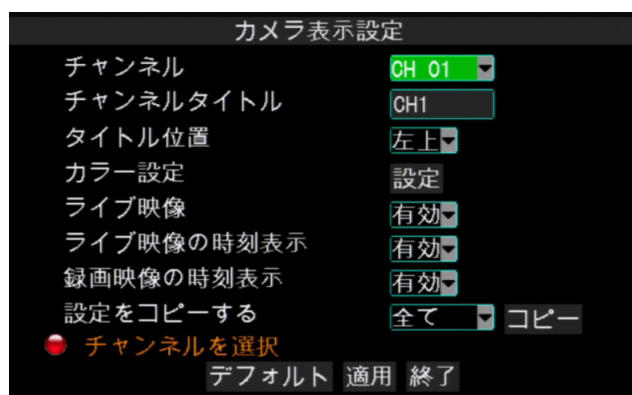
次の方法のいずれかによりOSDメニューにアクセスできます。

- マウスを右クリックし、メインメニューを選択します。
- リモコンのメニューボタンを押します。

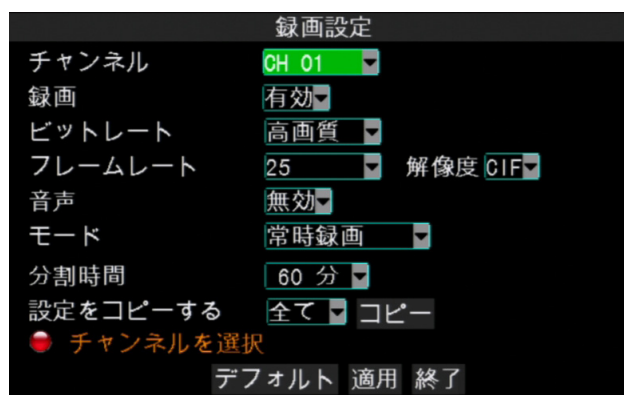


サブメニュー項目:

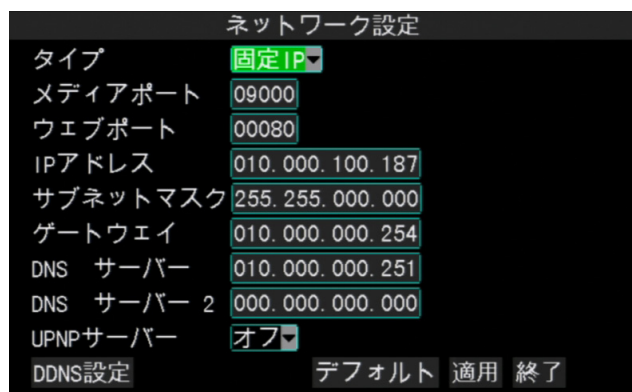
カメラ表示



録画



ネットワーク



検索



デバイス



システム



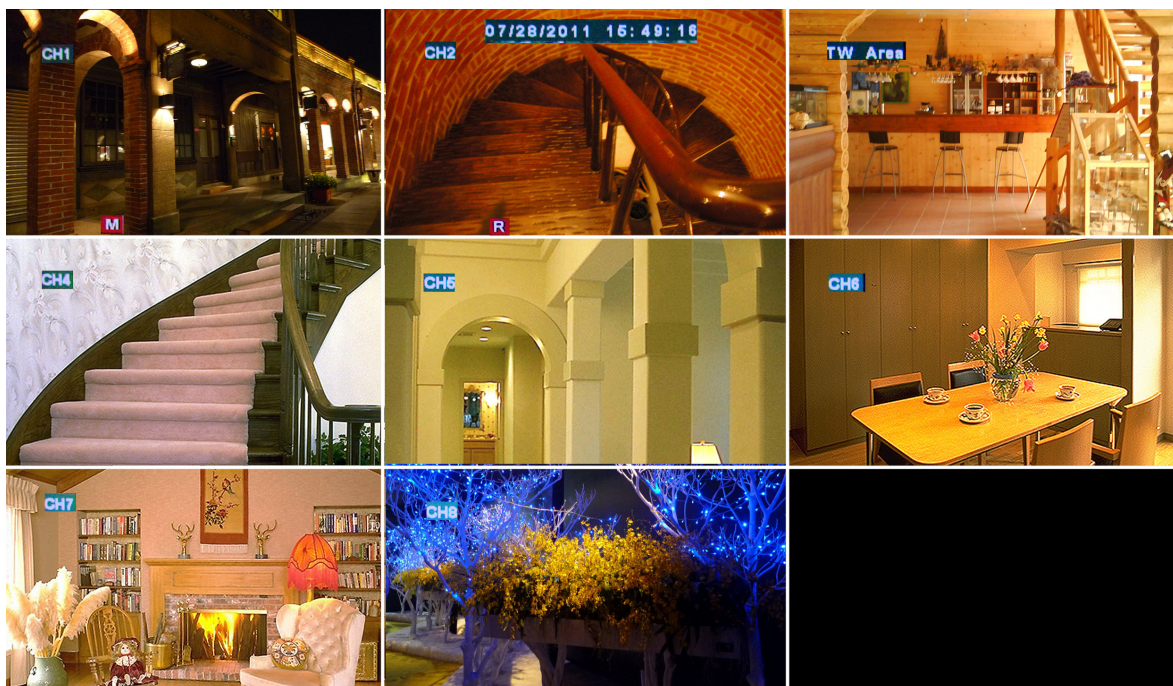
クラウド



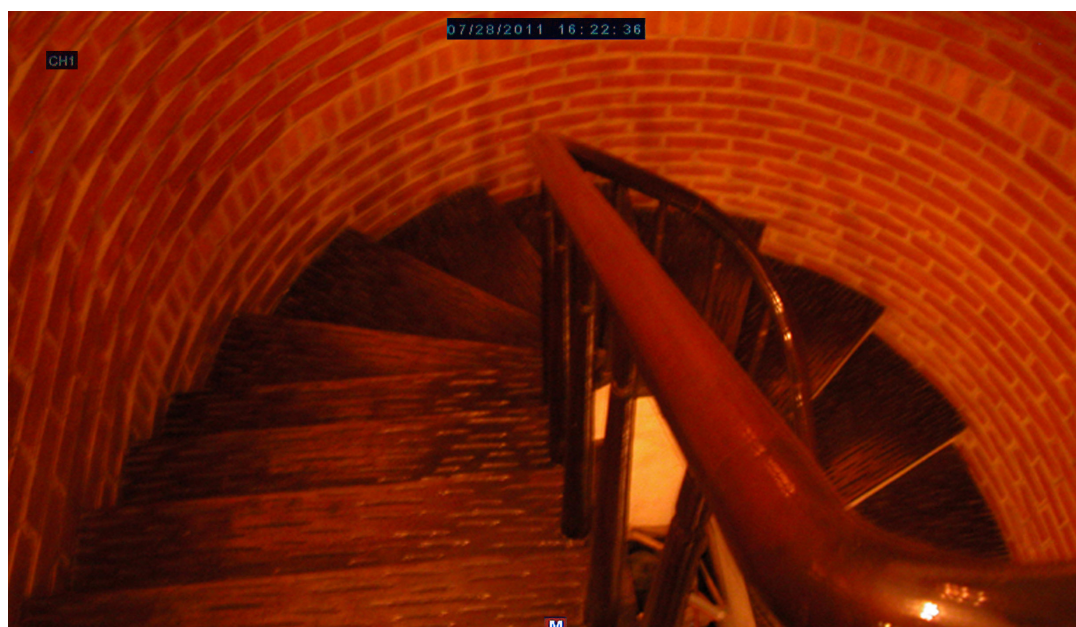
3.4 画面モード

3.4.1 ライブ映像表示

デフォルトでは、全チャンネルが格子状に画面に表示されます。



フルスクリーンでいずれかのチャンネルのライブ画像を表示するには、左マウスボタンをダブルクリックします。もう一度左マウスボタンをダブルクリックすると、全カメラの画面表示に戻ります。



3.4.2 マルチピクチャーモード

4画面または8画面表示のチャンネル表示にカスタマイズできます。

マルチピクチャーモードのオプションは3つあります。

1 プレビューモードで、マウスを右クリックしてポップアップメニューを表示させます。

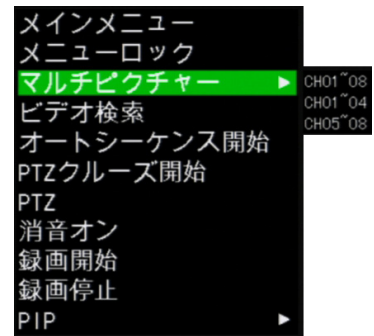
2 マルチピクチャーを選択してからオプションを選びます。

- CH 01-08
- CH 01-04
- CH 05-08

選択したチャンネルが画面上に表示されます。

注意:

画面分割オプションは、DVRの機種によって異なります。表示設定が有効の場合、画面分割オプションは使用できません(51ページの4.6.3 ビデオと音声の設定参照)。



3.4.3 ピクチャーインピクチャー (PIP) モード

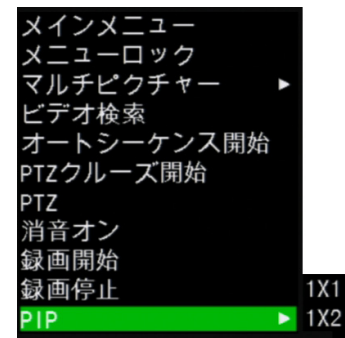
PIPモードでは、最初のチャンネルのライブプレビューでさらに2つのチャンネルを同時に表示させて見ることができます。

1 プレビューモードで、マウスを右クリックしてポップアップメニューを表示させます。

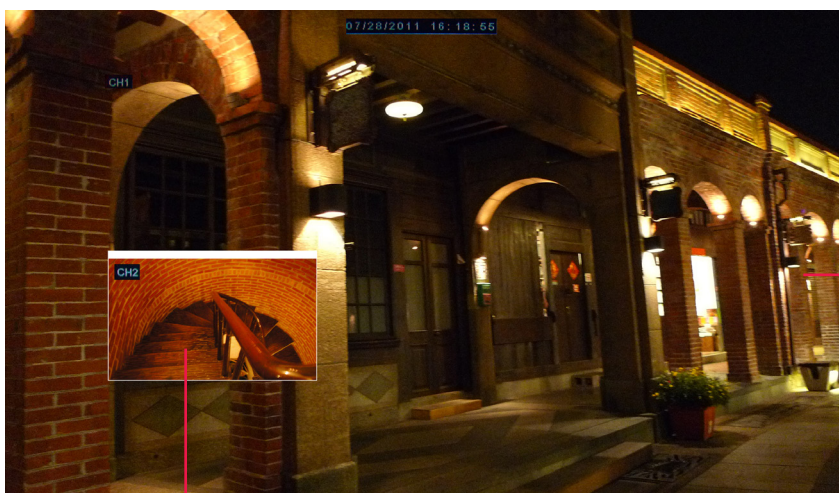
2 PIP > 1 X 1または1 X 2を選択します。

メイン画面のカメラ表示に追加のミニ画面が表示されます。

3 メイン画面のあちこちにミニ画面を移動するには、クリックしたまま新しい位置へドラッグします。



例: PIP 1 X 1 モード



最初のチャンネル

2番目のチャンネル

注意:

1 X 2を選択すると、メイン画面のカメラ表示に2つのミニ画面が表示されます。この機能は、DVRに2台以上のカメラが接続されている場合のみ動作します。

3.4.4 自動切替表示

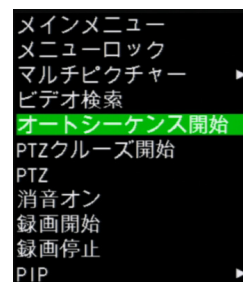
この機能により、システムは自動的にチャンネル表示を切り替えます。

自動切替表示を有効にするには、

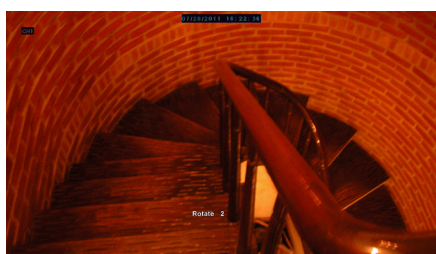
1 プレビューモードで、マウスを右クリックしてポップアップメニューを表示させます。

2 オートシーケンス開始を選択します。

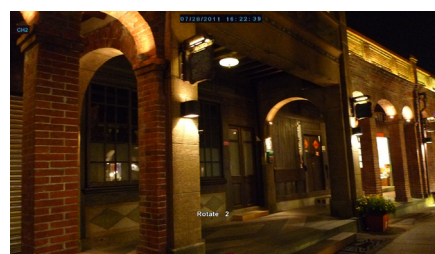
循環表示再生が開始します。デフォルトでは、各ディスプレイは5秒間隔で切り替わります。ビデオメニューで切り替え間隔を変更できます (51ページのビデオ出力設定参照)。



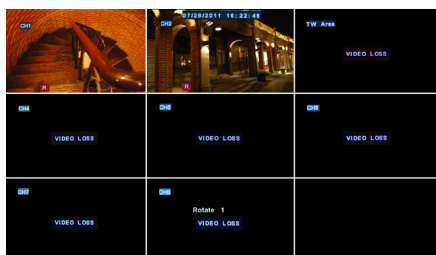
画面表示が順番に変化する例は次のとおりです (8チャンネルDVRで2チャンネルが使用可能)。



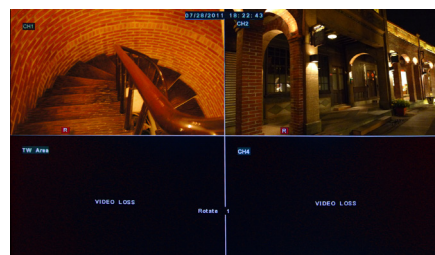
フルスクリーン (1番目のチャンネル)



フルスクリーン (2番目のチャンネル)



8画面ディスプレイ



4画面ディスプレイ



注意:

表示される画面は、使用可能なチャンネルによって異なります。

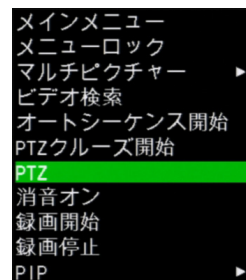
自動切り替え表示を無効にするには、画面をクリックします。

3.5 PTZコントロールの使用

PTZスピードドームカメラをお使いの場合、PTZコントロール設定を設定できます。

1 プレビューモードで、マウスを右クリックしてポップアップメニューを表示させます。

2 PTZを選択します。



注意:

PTZカメラがクルーズモードの場合はこのオプションは使用できません。29ページの3.5.1 クルーズモードをご参照ください。

3 PTZコントロールパネルが画面に表示されます。



アイコン	項目	機能
	ポインターパン	方向矢印をクリックしてPTZカメラの方向を選択します。 中央のアイコンをクリックすると、自動パンモードに切り替わります。
	ズーム	クリックしてズームインまたはズームアウトします。
	フォーカス	クリックしてフォーカスを調整します。
	絞り	クリックして絞りを調整します。
	スピード	クリックしてスピードを調整します。
	チャンネル選択	クリックしてPTZカメラのチャンネルを選択します。
	終了	クリックすると前のページに戻るかまたは終了します。
	プリセットポイントへ移動	クリックすると、特定のプリセットポイントに進みます。
	プリセットポイントのセット	クリックするとPTZカメラに特定のプリセットポイントを設定します。 クリックすると固定点でカメラを調整します。 注意: DVRに最大255のプリセットビットを設定アップできます。ただし、実際のプリセット数量はPTZカメラの性能によって異なります。
	クリア	クリックすると選択したプリセットを削除します。
	保存	設定とプリセットポイントを保存します。
	トータル	プリセットビットの合計を表示します。
	開始点	クルーズした開始点を表示します。システムのデフォルトポイントは「001」です。
	停止点	クリックすると各ポイントにおける停止時間を設定します。

注意:

PTZ設定を変更するには、43ページの4.4.3 PTZ設定をご参照ください。

3.5.1 クルーズモード

PTZクルーズ開始機能を用いて、PTZカメラがクルーズを開始できるようにします。

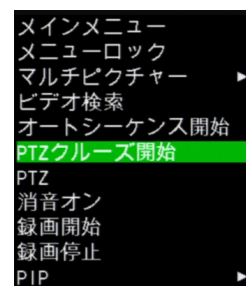
1 プレビューモードで、マウスを右クリックしてポップアップメニューを表示させます。

2 PTZクルーズ開始を選択します。

クルーズを無効にするには、

1 マウスを右クリックしてポップアップメニューを表示させます。

2 PTZクルーズ終了を選択します。



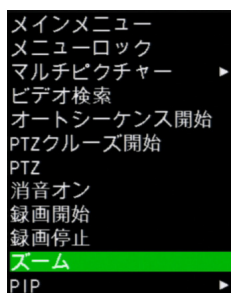
3.6 ズーム

この機能により、ズームした部分でライブ映像表示の内容を確認することができます。

1 フルスクリーンで表示するチャンネル上でマウスボタンをダブルクリックします。

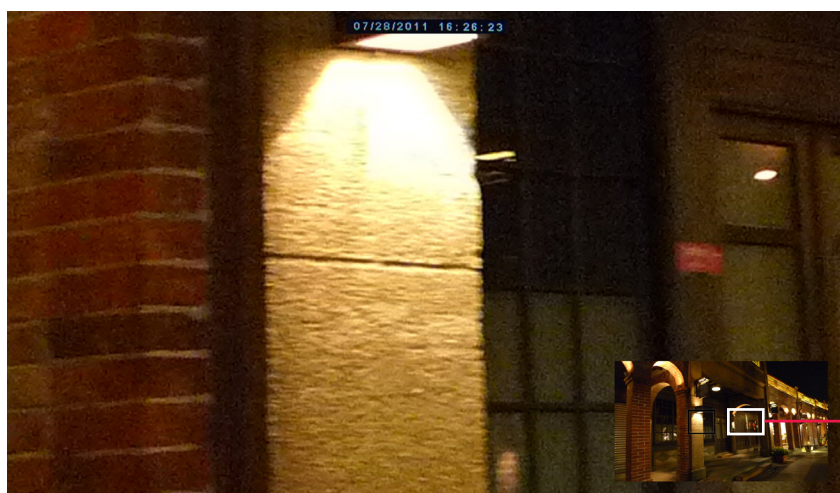
2 マウスを右クリックしてポップアップメニューを表示させます。

3 ズームを選択します。



4 ズームモードでは、左マウスボタンをクリックしたままドラッグして、ズームインしたい画面上のエリアを指定します。

選択した場所が拡大されてフルスクリーン表示されます。



ズームエリア

注意:

画面上で他のエリアにパンするには、ミニ画面表示上でクリックしたままフレームをドラッグします。

5 ズームモードを終了するには、右ボタンを2回クリックします。ライブ画面表示モードに戻ります。

3.7 手動録画

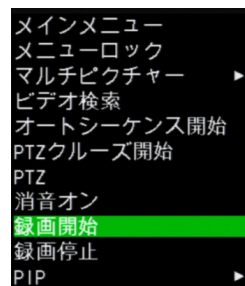
この機能により、ビデオを手動で録画できます。システムは、手動で録画を停止するまで継続してビデオを録画します。

手動録画を有効にするには、

1 プレビューモードで、マウスを右クリックしてポップアップメニューを表示させます。

2 録画開始を選択します。

ビデオ録画が開始します。



手動録画を停止するには、

1 マウスを右クリックしてポップアップメニューを表示させます。

2 録画停止を選択します。

ビデオ録画が停止します。

注意:

この機能は、録画モードが「スケジュール」に設定されている場合のみ使用できます。32ページの4.1.2 録画設定をご参照ください。

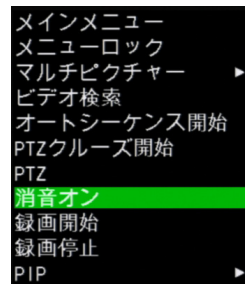
3.8 消音をオンにする

この機能により、録画の音声を消音できます。

消音をオンにするには、

1 プレビューモードで、マウスを右クリックしてポップアップメニューを表示させます。

2 消音オンを選択します。



消音をオフにするには、

1 マウスを右クリックしてポップアップメニューを表示させます。

2 消音オフを選択します。

4章: DVRの使用

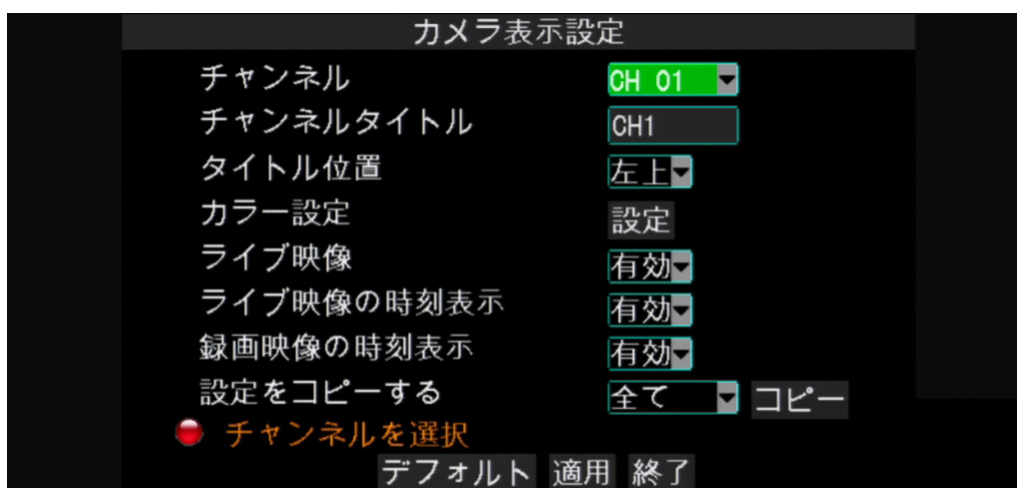
4.1 カメラの設定

表示設定および録画設定は、カメラ表示メニューおよび録画メニュー経由でカスタマイズできます。

4.1.1 カメラ表示設定

カメラ表示メニューでは、チャンネルタイプ、画面の位置、色などのディスプレイ設定の調整、ライブ映像時間の有効化、およびその他の設定が行えます。

- 1 プレビューモードで、マウスを右クリックしてポップアップメニューを表示させます。
- 2 メインメニュー > ディスプレイを選択します。
- 3 必要な設定を変更します。



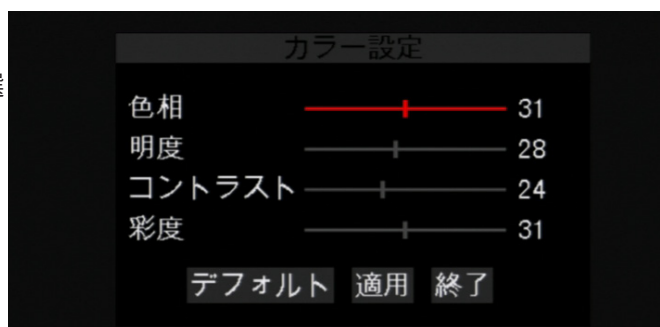
メニュー項目	説明
チャンネル	設定するチャンネルを選択します。
チャンネルタイトル	画面上に表示される希望するチャンネルのタイトルを入力します。
タイトル位置	画面にタイトル位置を設定します。例:U-L (左上)
カラー設定	画像の色相、明るさ、コントラスト、および彩度設定を調整します。 設定をダブルクリックしてカラー設定サブメニューに入ります。
ライブ映像	チャンネルのライブ映像表示を有効または無効にします。
ライブ映像の時刻表示	ライブ表示の現在時刻を有効または無効にします。
録画映像の時刻表示	録画モードを有効または無効にします。
設定をコピーする	現在の設定を全チャンネルまたは特定の1つのチャンネルにコピーします。矢印をクリックしてオプションを選択してから、コピーをクリックします。

4 すべての設定が完了したら、適用をクリックします。

5 データの保存が完了したら、OKをクリックします。

カラー設定

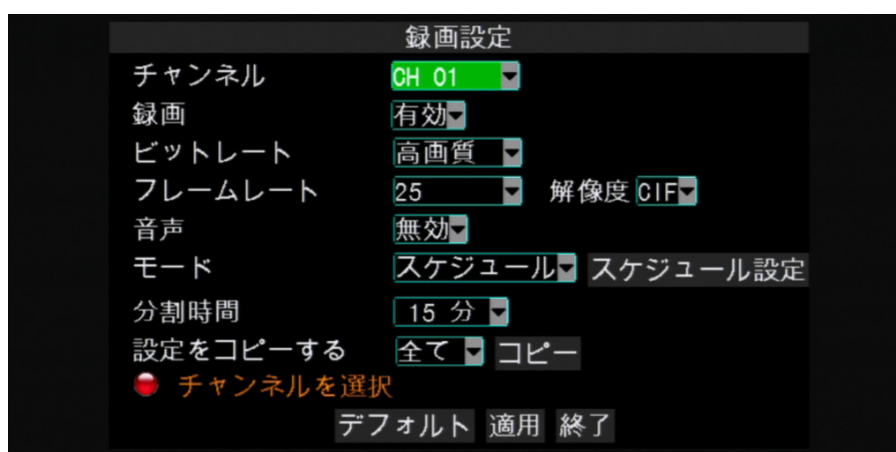
- 1 プレビューモードで、マウスを右クリックしてポップアップメニューを表示させます。
- 2 メインメニュー > ディスプレイを選択します。
- 3 チャンネルで、カラー設定を変更するチャンネルを選択します。
- 4 カラー設定で、設定をクリックします。
- 5 スライダーバーをドラッグしてカラー項目設定を調整します。
- 6 すべての設定が完了したら、適用をクリックします。
- 7 データの保存が完了したら、OKをクリックします。



4.1.2 録画設定

録画メニューにより、録画設定をカスタマイズできます。

- 1 プレビューモードで、マウスを右クリックしてポップアップメニューを表示させます。
- 2 メインメニュー > 録画を選択します。
- 3 必要な設定を変更します。

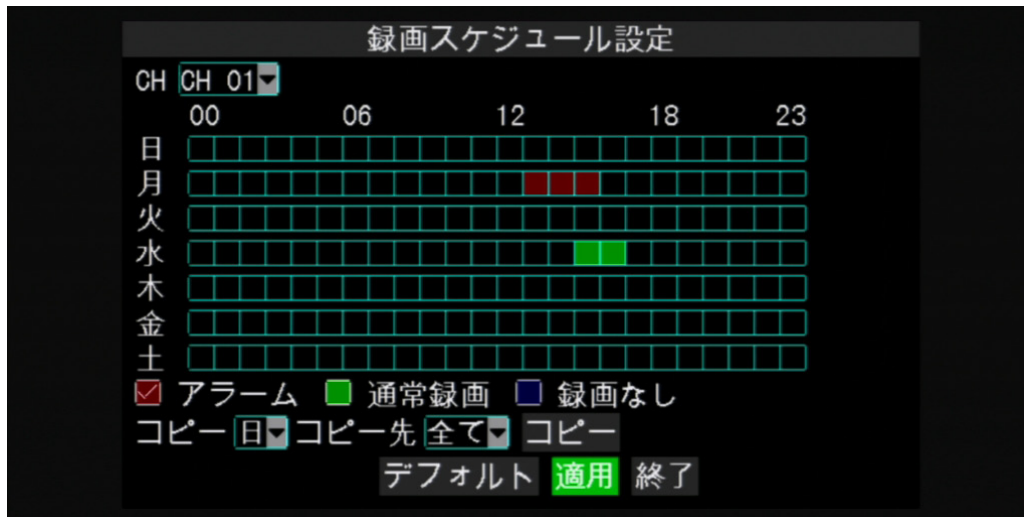


メニュー項目	説明
チャンネル	設定するチャンネルを選択します。
録画	録画モードを有効または無効にします。
ビットレート	ビデオ品質 (最高画質 / 高画質 / 標準画質) を設定します。
フレームレート	フレームレートを選択します。
解像度	録画解像度 (CIF / D1) を選択します。
音声	音声をオンまたはオフにします。
モード	録画モード (常時録画 / スケジュール) を選択します。 1日中 (24時間) ビデオを録画するには、 常時録画 を選択します。現在時刻のビデオを録画するには、 スケジュール を選択します (33ページのスケジュール録画をご参照ください)。
分割時間	録画毎に経過時間を設定できます (15分 / 30分 / 45分 / 60分)
設定をコピーする	現在の設定を全チャンネルまたは特定の1つのチャンネルにコピーします。

- 4 すべての設定が完了したら、適用をクリックします。
- 5 データの保存が完了したら、OKをクリックします。

スケジュール録画

- 1 プレビューモードで、マウスを右クリックしてポップアップメニューを表示させます。
- 2 メインメニュー > 録画を選択します。
- 3 モードで、スケジュールを選択します。
- 4 スケジュール設定をクリックします。
- 5 録画するチャンネルを選択し、録画モード (アラーム / 通常録画 / 録画なし) を指定します。
- 6 希望する日のタイムスロットをクリックします。



- 7 すべての設定が完了したら、適用をクリックします。

« ヒント »

現在の設定を他のチャンネルにコピーするには、日を選び、チャンネルを指定してから、コピーをクリックします。

- 8 データの保存が完了したら、OKをクリックします。

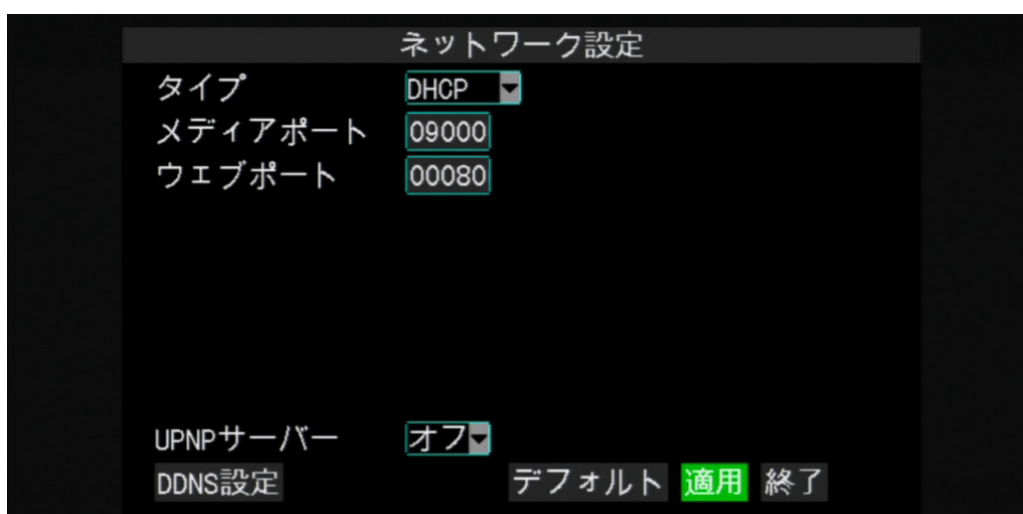
4.2 ネットワークの設定

リモート監視、録画、再生、または設定を行うには、先にネットワーク設定を行う必要があります。4種類のネットワーク設定があります。DHCP、PPPoE、固定IP、およびDDNSがあります。インターネットサービスプロバイダー (ISP) に相談して、お使いのネットワーク接続のタイプと設定を完了するのに必要なパラメータを決定します。

4.2.1 DHCP

Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) は、IPネットワークで使用する自動構成プロトコルです。

- 1 プレビューモードで、マウスを右クリックしてポップアップメニューを表示させます。
- 2 メインメニュー > ネットワークを選択します。
- 3 タイプでDHCPを選択します。
- 4 メディアポートとウェブポートの番号を指定します。



- 5 すべての設定が完了したら、**適用**をクリックします。
- 6 データの保存が完了したら、**OK**をクリックします。

4.2.2 PPPoE

Point-to-Point Protocol over Ethernet (PPPoE) は、Ethernetフレーム内のPoint-to-Point Protocol (PPP) フレームをカプセル化するネットワークプロトコルです。

- 1 プレビューモードで、マウスを右クリックしてポップアップメニューを表示させます。
- 2 メインメニュー > ネットワークを選択します。
- 3 タイプでPPPoEを選択します。
- 4 メディアポートとウェブポートの番号を指定します。
- 5 ユーザー名 (メールアドレス) およびパスワードを入力します。
- 6 DNSサーバー1およびDNSサーバー2のIPアドレスを指定します。

ネットワーク設定

タイプ	PPPoE
メディアポート	09000
ウェブポート	00080
ユーザー名	admin123@gmail.com
パスワード	*****
DNS サーバー	010.000.000.251
DNS サーバー 2	000.000.000.000
UPNPサーバー	オフ

DDNS設定 デフォルト 適用 終了

7 すべての設定が完了したら、**適用**をクリックします。

8 データの保存が完了したら、**OK**をクリックします。

注意:

システムは、2つのDNSサーバー入力オプションをサポートしています。メインサーバー用のDNSサーバー1、およびサブサーバー用のDNSサーバー2です。お近くのISPにお問い合わせの上、適切なDNSサーバーのパラメータを取得してください。

4.2.3 固定IP

このオプションにより、固定IPアドレスを用いてネットワークインターフェイスを構成することができます。

1 プレビューモードで、マウスを右クリックしてポップアップメニューを表示させます。

2 メインメニュー > ネットワークを選択します。

3 タイプで**固定IP**を選択します。

4 メディアポートとウェブポートの番号を指定します。

5 静的IPアドレス、ネットマスク、ゲートウェイ、およびDNSサーバー1またはDNSサーバー2のIPアドレスを指定します。

ネットワーク設定

タイプ	固定IP
メディアポート	09000
ウェブポート	00080
IPアドレス	010.000.100.187
サブネットマスク	255.255.000.000
ゲートウェイ	010.000.000.254
DNS サーバー	010.000.000.251
DNS サーバー 2	000.000.000.000
UPNPサーバー	オフ

DDNS設定 デフォルト 適用 終了

6 すべての設定が完了したら、**適用**をクリックします。

7 データの保存が完了したら、**OK**をクリックします。

注意:

インターネット設定に関してご質問がある場合、または正しいDDNSサーバーのパラメータを取得するには、お近くのISP (インターネットサービスプロバイダー) にお問い合わせください。

4.2.4 DDNS

DDNS (Dynamic DNS) は、IPがダイナミックIPシステム内で変更されてもドメイン名がIPアドレスにルーティングできるように、DDNSサーバーにドメイン名とフローティングIPアドレスを登録するサービスです。

この機能を使用するにはDDNSアカウントが必要です。このサービスについてISP に問い合わせるか、またはKGUARD.orgサーバーでDDNSアカウントを作成します。<http://www.kguard.org> をご参照ください。

1 プレビューモードで、マウスを右クリックしてポップアップメニューを表示させます。

2 メインメニュー > ネットワークを選択します。

3 ネットワークを選択します。

4 すべての必要な設定を行います。

5 DDNS設定をクリックします。

6 DDNSモードを有効に設定します。

7 サーバーを選択し、ホスト名、ユーザー名、およびパスワードを入力します。

DDNS	有効
サーバー	KGUARD.org
ホストネーム	admin123@gmail.com
ユーザー名	admin123@gmail.com
パスワード	*

テスト デフォルト 適用 終了

8 すべての設定が完了したら、適用をクリックします。

9 データの保存が完了したら、OKをクリックします。

注意:

無料のDDNSアカウントを申請するには、<http://www.kguard.org> を参照してください。

4.3 録画済みビデオの表示

4.3.1 ビデオの検索と再生

- 1 プレビューモードで、マウスを右クリックしてポップアップメニューを表示させます。
- 2 メインメニュー > 検索を選択します。
- 3 日付を指定して検索をクリックします。
- 4 再生または再生する録画済みビデオのタイムスロットをクリックします。



- 5 全チャンネル同時に再生するか、またはチャンネルをダブルクリックしてフルスクリーンで再生することができます。



注意:

画面下部の再生コントロールは、ある期間動作しないと非表示になります。再生コントロールを表示する場合は、マウスを移動させます。

4章: DVRの使用

6 それぞれのボタンをクリックして、一時停止、巻き戻し、早送り、マルチピクチャーモードへの変更、または消音を行います。音量バーをドラッグして音量レベルを調整します。



7 ビデオの再生を停止するには、xをクリックします。

4.3.2 ビデオのバックアップ

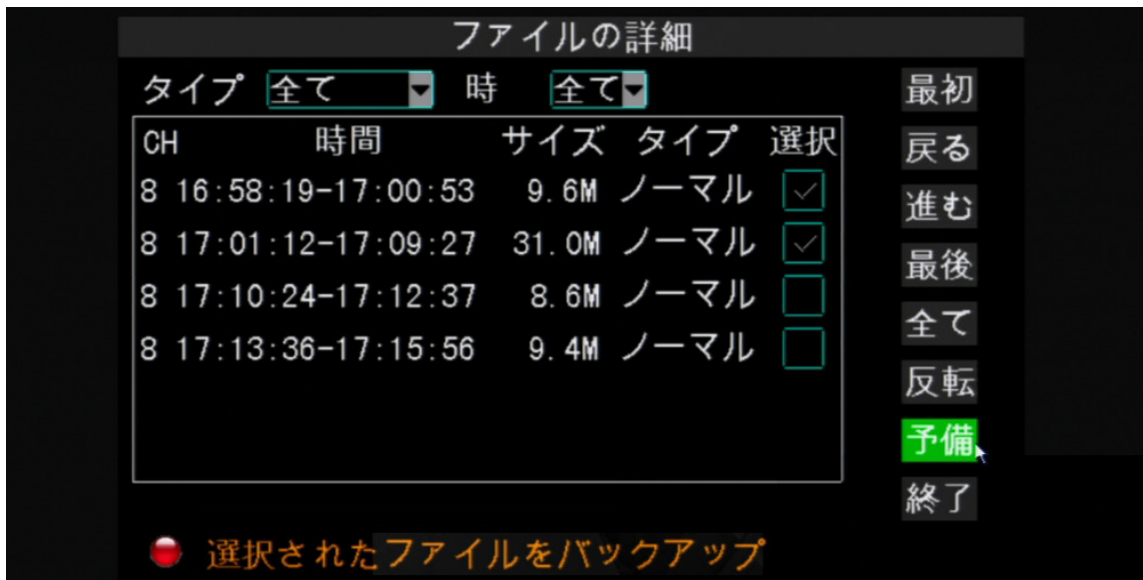
1 USBデバイスを、デバイスの前面パネルまたは背面パネルにあるUSBコネクタに接続します。

2 プレビューモードで、マウスを右クリックしてポップアップメニューを表示させます。

3 メインメニュー > 検索を選択します。

4 日付を指定して検索をクリックします。

5 ファイルの内容を表示するには、**ファイルの詳細**をクリックします。全チャンネルのすべての録画ファイルと詳細が画面に表示されます。

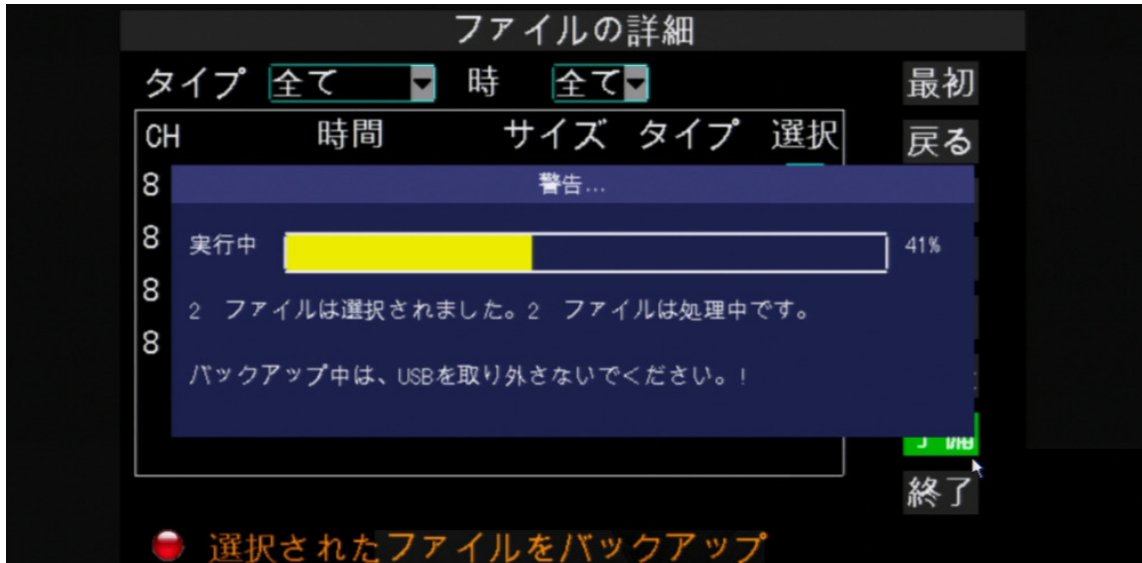


6 カテゴリーに従ってファイルを参照するには、ビデオタイプ (アラーム / ノーマル / 全て) のいずれかを選択します。

7 次のページまたは前のページを表示するには、**進む**または**戻る**をクリックします。

8 バックアップするファイルを選択します。ファイルが選択されたことを示す**V**アイコンがチェックボックスに表示されます。

9 バックアップをクリックします。



10 データのバックアップが完了したら、OKをクリックします。

注意:

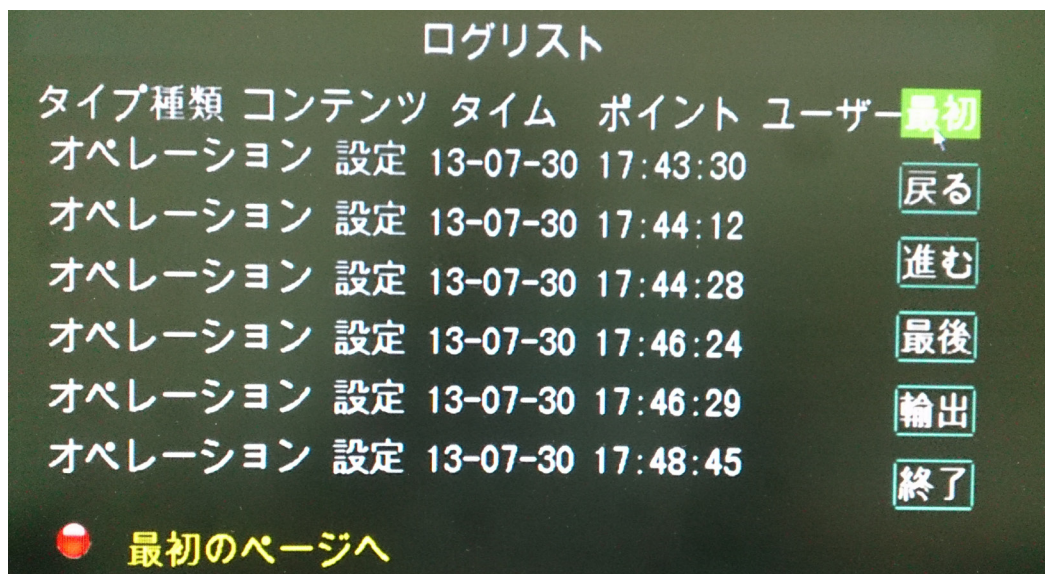
転送が進行中の時はUSBデバイスを取り外さないでください。

4.3.3 ログの表示とエクスポート

- 1 USBデバイスを、デバイスの前面パネルまたは背面パネルにあるUSBコネクタに接続します。
- 2 プレビューモードで、マウスを右クリックしてポップアップメニューを表示させます。
- 3 メインメニュー > 検索を選択します。
- 4 ログファイルを表示するには、ログをクリックします。
- 5 ログ検索画面で、いずれかのログタイプ (全て / アラーム / 操作) を選択し、期間の日付を指定します。
- 6 検索をクリックします。すべての関連するログファイルが画面に表示されます。



7 ビデオ情報をエクスポートするには、**エクスポート**をクリックします。



8 ログのエクスポートが完了したら、**OK**をクリックします。

注意:

- ログファイルは「*.TXT」形式で保存されます。
- 転送が進行中の時はUSBデバイスを取り外さないでください。

4.4 デバイスの設定

4.4.1 ストレージデバイスの設定

HDDが正しく設定されていることを保証するため、初回使用の前にHDDの設定を行うことが重要です。その他の外部ハードドライブとUSBデバイスについては、初回使用の前にデバイスをフォーマットすることをお勧めします。

HDDの設定

HDDの設定を行うには以下のようにします。

1 プレビューモードで、マウスを右クリックしてポップアップメニューを表示させます。

2 メインメニュー > デバイス > HDDを選択します。



3 設定するHDDを選択します。HDDが選択されたことを示すVアイコンがチェックボックスに表示されます。

4 上書き間隔オプション (自動 / 1時間 / 3時間 / 1日 / 7日 / 30日 / 90日 / 閉じる) を選択します。

 **注意:**

上書き録画を**閉じる**に設定すると、ハードドライブがいっぱいになると録画が停止します。

5 すべての設定が完了したら、**適用**をクリックします。

6 データの保存が完了したら、**OK**をクリックします。

HDDのフォーマット

DVRに新しいHDDが正しくインストールされたら、システムがHDDを自動で検出し、ディスクのフォーマットを促します。

HDDをフォーマットするには以下を行います。

1 プレビューモードで、マウスを右クリックしてポップアップメニューを表示させます。

2 **メインメニュー > デバイス > HDD**を選択します。

3 フォーマットするHDDを選択します。

4 **HDDフォーマット**をクリックします。

5 「フォーマット後に全てのデータが削除されます」警告メッセージが画面に表示されます。**OK**をクリックして続行します。

6 フォーマット処理が完了したら、**OK**をクリックします。

USBドライブのフォーマット

USBディスクドライブをフォーマットするには以下を行います。

1 USBデバイスを、デバイスの前面パネルまたは背面パネルにあるUSBコネクタに接続します。

2 プレビューモードで、マウスを右クリックしてポップアップメニューを表示させます。

3 **メインメニュー > デバイス > HDD**を選択します。

4 **USBフォーマット**をクリックします。

5 「フォーマット後に全てのデータが削除されます」警告メッセージが画面に表示されます。**OK**をクリックして続行します。

6 フォーマット処理が完了したら、**OK**をクリックします。

 **注意:**

ドライブのフォーマットが進行中の時はUSBデバイスを取り外さないでください。

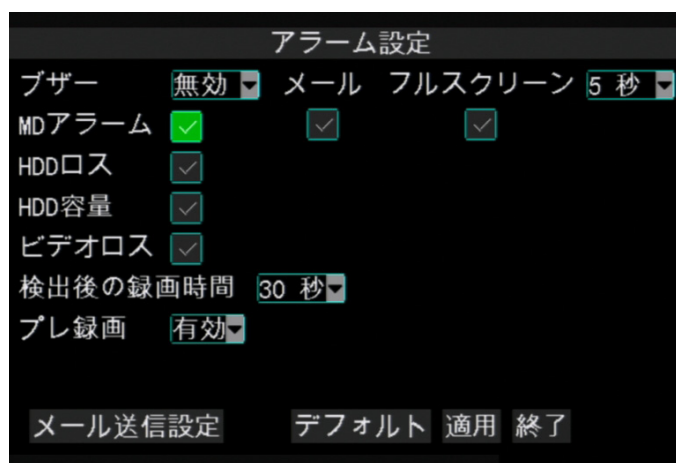
4.4.2 アラーム設定

アラームメニューでは、アラームタイプの設定、ブザーの有効化、ブザー時間の設定、アラームのメール通知の設定、およびその他の関連するアラーム通知設定を行えます。

アラーム設定の実行

アラーム設定をするには以下を行います。

- 1 プレビューモードで、マウスを右クリックしてポップアップメニューを表示させます。
- 2 メインメニュー > デバイス > アラームを選択します。



- 3 必要な設定を行います。

メニュー項目	説明
ブザー	動作が検出された時はブザーの時間を設定します (オフ / 10秒 / 20秒 / 40秒 / 60秒)。ブザーを無効にするには、 無効 を選択します。
メール	アラームのメール通知を有効または無効にします。この機能を有効にすると、指定したメールアドレスにシステムからアラーム画像が送信されます。 43ページのアラームのメール通知 をご参照ください。
フルスクリーン	画面上の通知を有効または無効にします。この機能を有効にしてアラームをトリガーした場合、関連するチャンネルがフルスクリーン表示されます。画面の表示期間を選択します (1秒 / 3秒 / 5秒 / 7秒 / 10秒)。
モーション検出アラーム	選択すると、モーション検出アラームが有効になります。物体がモーション検出エリアに入るとアラームがトリガーされます。
HDDロス	選択すると、HDDロスアラームが有効になります。ハードディスクドライブの損傷や電源の誤動作によりHDDが検出されない、またはHDDの自動上書きが無効である場合、アラームがトリガーされます。
HDD容量	選択すると、HDD容量アラームが有効になります。ハードディスクドライブが一杯の場合、アラームがトリガーされます。
ビデオロス	選択すると、ビデオロスアラームが有効になります。カメラの損傷、ケーブルの損傷、または電源の誤動作によりDVRがビデオ入力信号を受信できない場合、アラームがトリガーされます。
検出後の録画時間	アラームの期間 (30秒 / 1分 / 2分 / 5分) を選択します。
プレ録画時間	アラーム発生前のプレ録画を有効または無効にします。

- 4 すべての設定が完了したら、**適用**をクリックします。

- 5 データの保存が完了したら、**OK**をクリックします。

注意:

モーション検出アラームが正常に動作していることを確認するには、モーション検出機能を有効にする必要があります。[45ページの4.4.5 モーション検出の設定](#)をご参照ください。

アラームのメール通知

アラーム通知用にメール設定をするには以下を行います。

- 1 プレビューモードで、マウスを右クリックしてポップアップメニューを表示させます。
メール設定を進める前に、DVRのネットワーク接続が正しく構成されていることをご確認ください。
- 2 メインメニュー > デバイス > アラームを選択します。
- 3 メールチェックボックスにチェックを入れ、**メール送信設定**をクリックします。

メール送信設定	
メール	<input checked="" type="checkbox"/> 有効
送信間隔	3分
SSL	<input checked="" type="radio"/> 有効
SMTPポート	00025
SMTPサーバー	smtp.gmail.com
送信者	xxxx@gmail.com
送信者パスワード	*****
受信者	xxxx@hotmail.com
<input type="button" value="テスト"/> <input type="button" value="デフォルト"/> <input type="button" value="適用"/> <input type="button" value="終了"/>	

- 4 メールで**有効**を選択します。
- 5 **送信間隔**で、アラームがトリガーされる時のメール送信間隔を選択します。
- 6 メールサーバーがSSL検証を必要としている場合は**SSL**で**有効**を選択します。適用する設定についてはメールサービスプロバイダーにご確認ください。
- 7 **送信者**と**送信者パスワード**のそれぞれに、送信側メールサーバーの**SMTPポート**と**SMTPサーバー**、送信者のメールアドレスとパスワードを入力します。

注意:

デフォルトでは、SSL証明なしのメールの場合、SMTPポートは25です。GmailサーバーまたはSSL証明を必要とするメールの場合、SMTPポートは465がデフォルトです。正しい設定についてはISPにご確認ください。

- 8 **受信者**で、メールアラームを送信するメールアドレスを入力します。
- 9 すべての設定が完了したら、**適用**をクリックします。
- 10 データの保存が完了したら、**OK**をクリックします。

注意:

メール送信設定が完了したら、**テスト**をクリックしてメール設定が正しく行われたかを確認します。

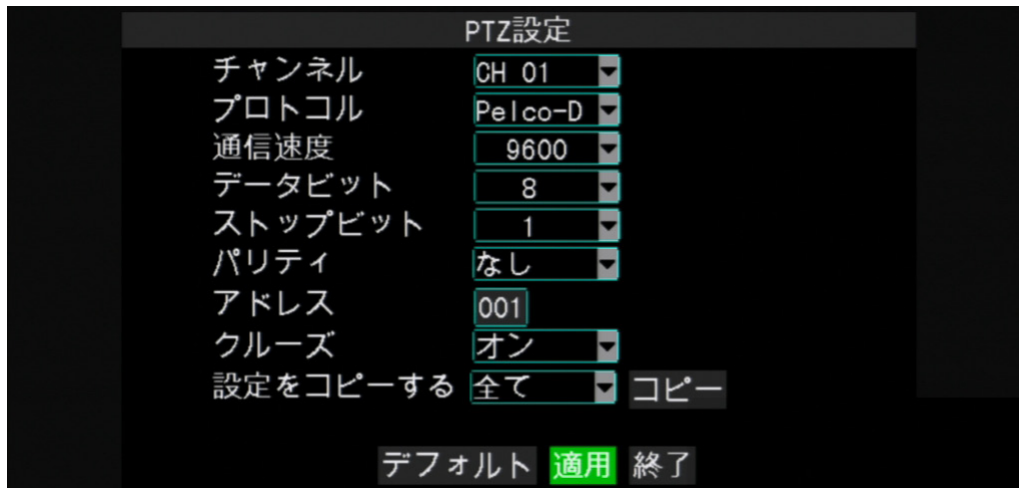
4.4.3 PTZ設定

PTZスピードドームがRS-485接続経由で正しくインストールされたら、PTZ設定メニューを用いて設定をカスタマイズできます。

PTZのカメラ設定をするには以下を行います。

- 1 プレビューモードで、マウスを右クリックしてポップアップメニューを表示させます。
- 2 メインメニュー > デバイス > PTZを選択します。
- 3 PTZカメラの接続先チャンネルを選択します。
- 4 PTZ**プロトコル**、**通信速度**、**データビット**、**ストップビット**、**パリティ**、**アドレスコード**を設定します。

5 クルーズモードの有効化または無効化



6 すべての設定が完了したら、**適用**をクリックします。

7 データの保存が完了したら、**OK**をクリックします。

 **注意:**

PTZカメラと接続されたチャンネルが選択された場合は、PTZカメラのみが有効になります。

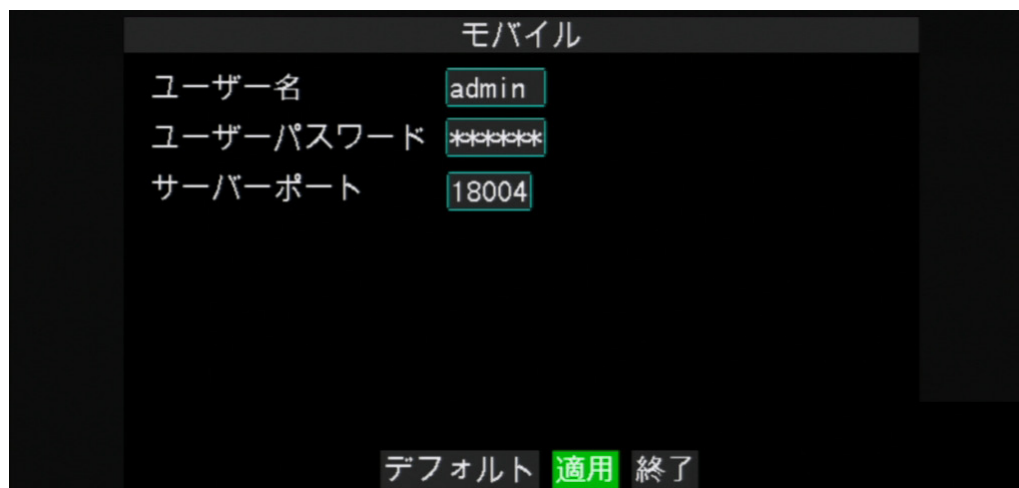
4.4.4 モバイルデバイスの設定

モバイルデバイス経由でリモートでDVRにアクセスするには、モバイルデバイスの設定を進める前に、DVRのネットワーク接続が正しく構成されていることを確認します。

モバイルデバイス設定をするには以下を行います。

1 プレビューモードで、マウスを右クリックしてポップアップメニューを表示させます。

2 メインメニュー > デバイス > モバイルを選択します。



3 DVRに設定した**ユーザー名**と**ユーザーパスワード**を設定します (仮想キーボードを使用する際の詳細については21ページの3.3.2 仮想キーボードをご参照ください)。

4 **サーバーポート**を入力します。設定範囲は1024から65535までです。

 **注意:**

ユーザー名とパスワードは空白のままにすることはできません。

5 すべての設定が完了したら、**適用**をクリックします。

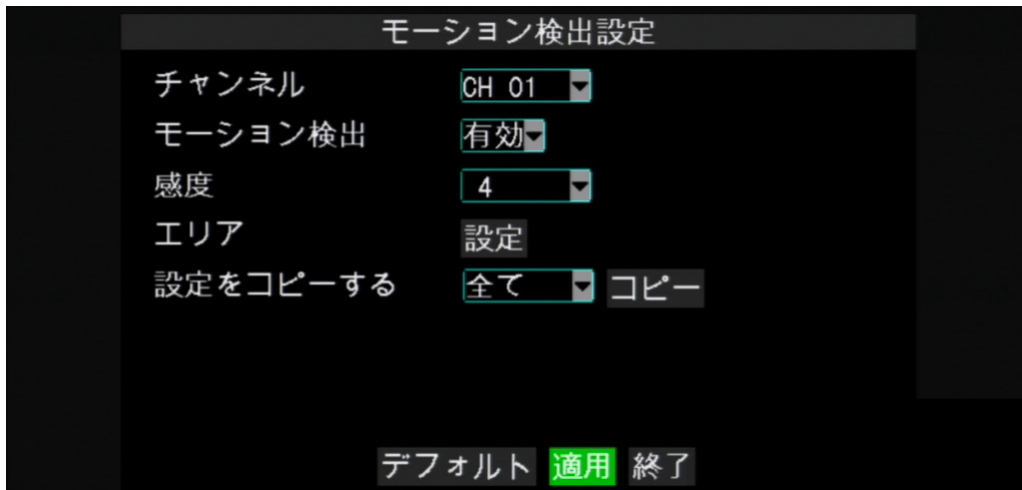
6 データの保存が完了したら、**OK**をクリックします。

4.4.5 モーション検出の設定

セキュリティ向上のため、モーション検出機能を有効にします。選択されたエリアで動作が検出されたら、DVRはアラーム通知を発行します。

モーション検出を設定するには以下を行います。

- 1 プレビューモードで、マウスを右クリックしてポップアップメニューを表示させます。
- 2 メインメニュー > デバイス > モーションを選択します。
- 3 チャンネルでモーション検出を有効にするチャンネルを選択します。

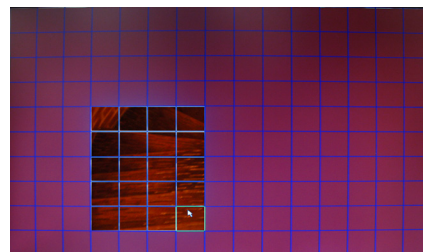
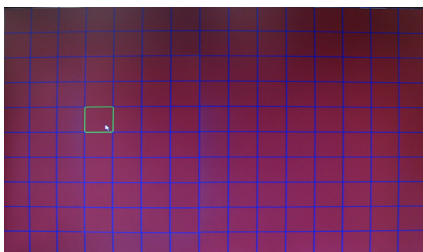


4 モーション検出で**有効**を選択します。

5 **感度**で、モーション感度を1~4から選択します。ここで1は最も弱い感度、4は最も強い感度です。

6 **設定**をクリックします。

7 グリッド画面と緑色のカーソルが表示されます。デフォルトでは、モーション検出用に画面全体がマークされています (赤いブロック)。あるエリアでモーション検出を無効にする場合は、グリッドのカーソルをクリックしたままマウスをドラッグしてモーション検出のエリア (透明ブロック) のマークを解除する範囲を強調表示させます。



8 グリッド画面を閉じるには、右マウスボタンをクリックします。

9 すべての設定が完了したら、**適用**をクリックします。

10 データの保存が完了したら、**OK**をクリックします。

チャンネルでモーション検出を有効にした場合、チャンネル画面にモーション検出アイコン **M**が表示されます。

« ヒント »

現在の設定を他のチャンネルにコピーするには、**設定をコピーする**でチャンネルを選択してから、**コピー**をクリックします。

4.5 クラウドストレージの設定

DVRは、クラウドストレージに対するスナップショットの直接アップロードをサポートしています。以下の手順を行って、DVRのクラウドストレージを設定します。

注意:

現在、DVRはドロップボックスクラウドストレージをサポートしています。(ドロップボックスウェブサイト: www.dropbox.com).DVRの設定を行う前に、クラウドストレージのアカウントとしてドロップボックスのアカウントを作成する必要があります。

4.5.1 クラウドストレージの有効化

クラウドストレージを有効にする前に、DVRのネットワーク設定が正しく行われていることを確認してください。

34ページの4.2 ネットワークの設定をご参照ください。

1 プレビューモードで、マウスを右クリックしてポップアップメニューを表示させます。

2 メインメニュー > クラウドを選択します。



3 クラウドストレージを有効にします。

4 送信間隔で、クラウドストレージにスナップショットをアップロードする時間間隔を選択します。

5 チャンネルのスナップショットのをアップロードするチャンネル (CH1 ~ CH8) にチェックを入れます。

6 DVRが動作を検出したときにスナップショットをアップロードするようにしたい場合は、**モーション検出**を有効にします。

注意:

この機能を使用するためには、まずデバイス設定でモーション検出を設定する必要があります (45ページの4.4.5 モーション検出の設定参照)。

7 クラウドストレージのアクティブ化リンクを受信するには、**レシーバー**でEメールアカウントを入力します。設定をテストするには、**メールテスト**をクリックします。

8 **適用**をクリックして、クラウドストレージをアクティブ化します (下記参照)。

4.5.2 クラウドストレージのアクティブ化

クラウドストレージアカウントが変更されるたび、またはHDDがフォーマットされるたび、変更を認識するためにアカウントを再度アクティブ化する必要があります。

1 **クラウドストレージ**画面で、**クラウドのアクティブ化**をクリックします。アクティブ化のメールが**受信者**のメールアドレスに送信されます。メールの指示に従ってクラウドアカウントのアクティブ化を完了します。

2 **適用**をクリックします。

3 データの保存が完了したら、**OK**をクリックします。

注意:

クラウドのアクティブ化をクリック後、メールが**受信者**メールアドレスに送信されます。メールを確認し、リンクをたどって、3分以内にクラウドストレージのアクティブ化を完了させる必要があります。

4.6 システム設定

システムメニューでは、日付と時間、ユーザーとパスワード、ビデオ出力、およびOSD言語が設定でき、メンテナンス設定が行えるとともに、システム情報を表示できます。

4.6.1 日付と時間の設定

- 1 プレビューモードで、マウスを右クリックしてポップアップメニューを表示させます。
- 2 メインメニュー > システム > 時間/日付を選択します。



- 3 日付ボックスをクリックして日付を入力します (仮想キーボードの使用については21ページの3.3.2 仮想キーボードをご参照ください)。
- 4 日付表示形式を選択します。
- 5 時間ボックスをクリックして時間を入力します (仮想キーボードの使用については21ページの3.3.2 仮想キーボードをご参照ください)。
- 6 時間表示形式とタイムゾーンを選択します。
- 7 NTPサーバーで日付と時間を同期する場合は、以下のNTPサーバーと時間を同期するをご参照ください。
- 8 夏時間を有効にするにはDSTセッティングをクリックします (48ページの夏時間の設定参照)。
- 9 すべての設定が完了したら、適用をクリックします。
- 10 データの保存が完了したら、OKをクリックします。

NTPサーバーと時間を同期する

- 1 プレビューモードで、マウスを右クリックしてポップアップメニューを表示させます。
- 2 メインメニュー > システム > 時間/日付を選択します。
- 3 NTPで、オンを選択します。
- 4 同期させるNTPサーバーを選択します。
- 5 すぐに更新するをクリックします。
- 6 時間のアップデートが完了したら、OKをクリックします。
- 7 終了をクリックしてメイン画面を閉じます。

夏時間の設定

1 プレビューモードで、マウスを右クリックしてポップアップメニューを表示させます。

2 メインメニュー > システム > 時間/日付を選択します。

3 DSTセッティングをクリックします。

4 夏時間で有効を選択します。

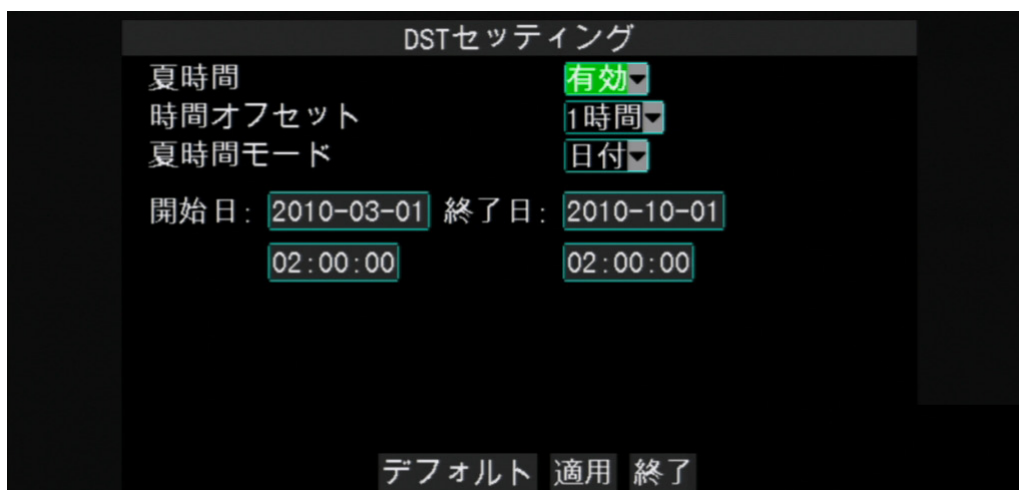
5 時間オフセットで、DSTのオフセット時間の量を選択します。

6 夏時間モードを選択します。

- 週:開始または終了の月、週、日を選択し、開始時間および終了時間を入力することで、開始時間と終了時間を入力します。



- 日付:開始または終了の日付と時間を入力することで、開始時間と終了時間を入力します。



7 すべての設定が完了したら、適用をクリックします。

8 データの保存が完了したら、OKをクリックします。

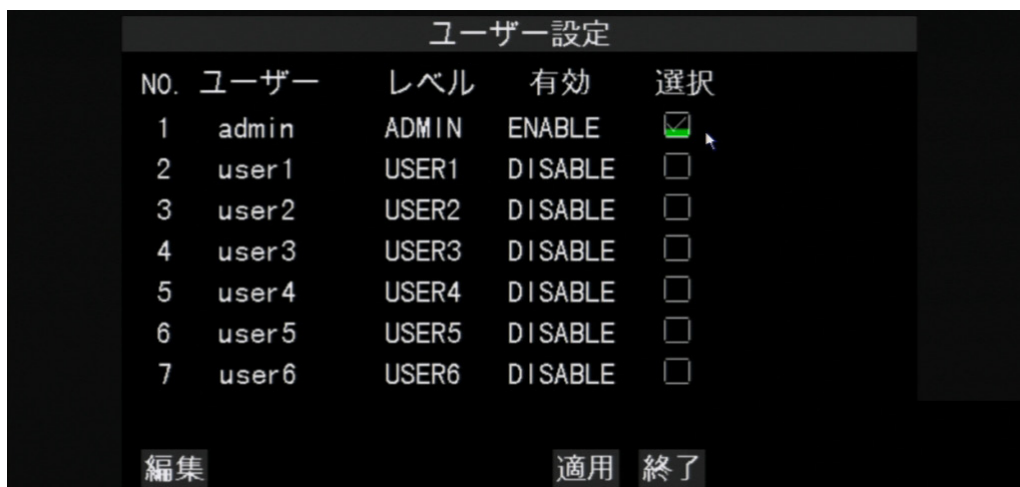
4.6.2 ユーザーとパスワードの設定

パスワードメニューでは、DVRを用いてパスワード変更、ユーザー権限の付与、およびアクセス権の設定が可能です。1つの管理者アカウントと6つのユーザーアカウントがあります。デフォルトでは、管理者アカウントのユーザー名は「admin」で、パスワードは空白です。デフォルトでは管理者アカウントのみが有効になっています。他のユーザーにアクセスを許可するには、[50ページの他のユーザーの権限付与](#)をご参照ください。

パスワードの変更

アカウントを保護するため、パスワードを変更します。

- 1 プレビューモードで、マウスを右クリックしてポップアップメニューを表示させます。
- 2 メインメニュー > システム > パスワードを選択します。
- 3 アカウントのチェックボックスをクリックしてパスワードを変更します。√アイコンが表示されます。



- 4 編集をクリックします。



- 5 ユーザー名を変更する場合は、ユーザー名に希望する名前を入力します。
- 6 パスワードの設定で有効を選択します。
- 7 パスワードボックスをクリックしてパスワードを入力します (仮想キーボードの使用について詳細は[21ページの3.3.2 仮想キーボード](#)をご参照ください)。

注意:

パスワードは文字または数字で、長さは6文字である必要があります。

- 8 確認でもう一度パスワードを入力します。

9 すべての設定が完了したら、**適用**をクリックします。

10 データの保存が完了したら、**OK**をクリックします。

他のユーザーの設定

管理者のみがユーザーアカウントを有効または無効にできます。

1 プレビューモードで、マウスを右クリックしてポップアップメニューを表示させます。

2 メインメニュー > システム > パスワードを選択します。

3 ユーザーアカウントのチェックボックスをクリックします。√アイコンが表示されます。

4 編集をクリックします。

5 **ユーザー名**を入力します (仮想キーボードの使用について詳細は21ページの3.3.2 仮想キーボードをご参照ください)。

6 パスワードを促すには、**パスワード状態**で**有効**を選択します。

7 **パスワード**でパスワードを入力し、**確認**します。

8 すべての設定が完了したら、**適用**をクリックします。

9 データの保存が完了したら、**OK**をクリックします。

他のユーザーの権限付与

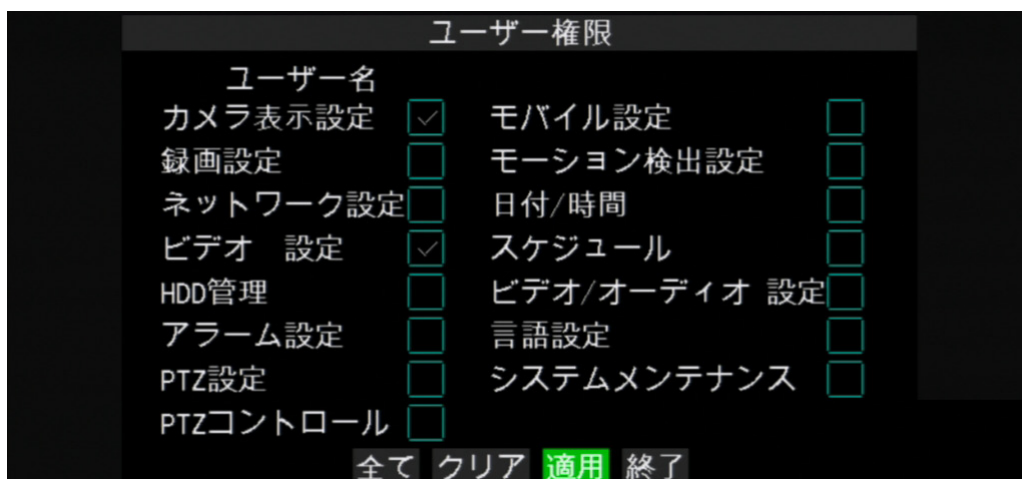
管理者のみがユーザーにアクセス権を付与できます。アクセス権を設定するには、管理者アカウントでログインしてから以下を行う必要があります。

1 プレビューモードで、マウスを右クリックしてポップアップメニューを表示させます。

2 メインメニュー > システム > パスワードを選択します。

3 ユーザーアカウントのチェックボックスをクリックします。√アイコンが表示されます。

4 許可をクリックします。



5 ユーザーにアクセスを許可する関連メニューのチェックボックスを選択します。

« ヒント »

全てをクリックして全オプションをチェックするか、または**クリア**をクリックして全オプションの選択を解除します。

6 すべての設定が完了したら、**適用**をクリックします。

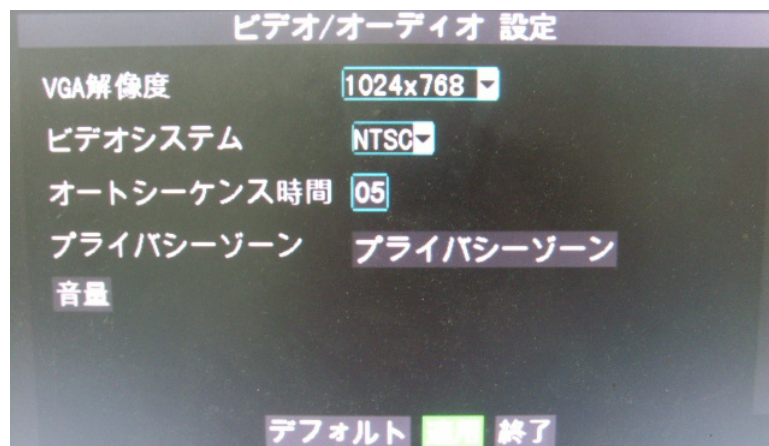
7 データの保存が完了したら、**OK**をクリックします。

4.6.3 ビデオと音声の設定

ビデオメニューでは、表示画面上のエリアを非表示にするために使用するプライバシーゾーン設定などのビデオおよび音声出力設定が行えます。

ビデオ出力設定

- 1 プレビューモードで、マウスを右クリックしてポップアップメニューを表示させます。
- 2 メインメニュー > システム > ビデオを選択します。
- 3 必要な設定を変更します。



メニュー項目	説明
VGA解像度	出力解像度を選択します。
ビデオシステム	ご利用の場所で使用するビデオシステムを選択してください (NTSC / PAL)。
オートシーケンス時間	自動切替モードで画面表示が変わる時間間隔を設定します。27ページの3.4.4 自動切替表示をご参照ください。
プライバシーゾーン	クリックしてプライバシーゾーンを設定します。52ページのプライバシー設定をご参照ください。

- 4 適用をクリックしてビデオ / 音声設定を保存します。
- 5 データの保存が完了したら、OKをクリックします。

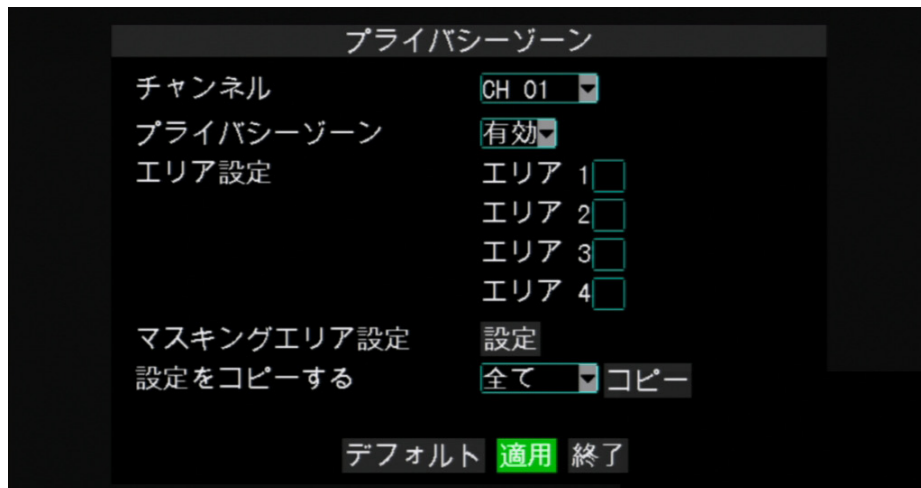
音量設定

- 1 プレビューモードで、マウスを右クリックしてポップアップメニューを表示させます。
- 2 メインメニュー > システム > ビデオを選択します。
- 3 音量をクリックします。
- 4 出力音量を調整するにはスライダーをドラッグします。
- 5 xをクリックすると音量バーが閉じます。
- 6 適用をクリックすると音量設定を保存します。
- 7 データの保存が完了したら、OKをクリックします。

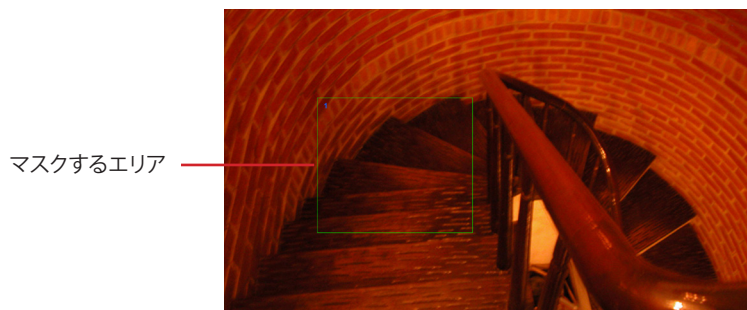
プライバシー設定

画面上で最大4エリアをマスクして非表示にすることができます。

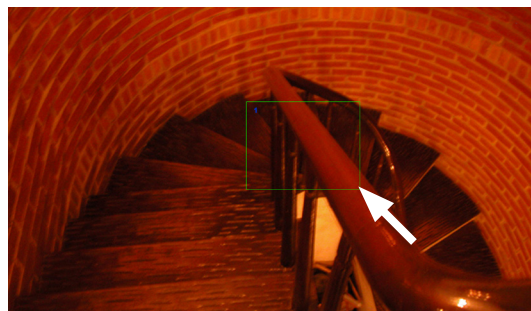
- 1 プレビューモードで、マウスを右クリックしてポップアップメニューを表示させます。
- 2 メインメニュー > システム > ビデオを選択します。
- 3 プライバシーゾーンをクリックします。



- 4 チャンネルで、プライバシー設定をするチャンネルを選択します。
- 5 プライバシーゾーンで**有効**を選択します。
- 6 **エリア設定**で、マスクするエリアの数を確認します。**エリア1**から**エリア4**を確認して、4つのマスクエリアを作成できます。
- 7 **設定**をクリックします。緑のボックスは、マスクエリアを示します。



- 8 ボックスをマスクするエリアにドラッグします。ボックスの端を希望するサイズにドラッグすることでサイズ変更できます。



注意:

上図は、ある確認エリアの例です (エリア1)。緑のボックスの数は、**エリア設定**でチェックしたエリアの数によって異なります。

9 右マウスボタンをクリックしてマスクの選択画面を閉じます。



10 すべての設定が完了したら、**適用**をクリックします。

11 データの保存が完了したら、**OK**をクリックします。

« ヒント »

プライバシーゾーンの設定を他のチャンネルにコピーするには、**設定をコピーする**でチャンネルを選択してから、**コピー**をクリックします。

4.6.4 言語設定

言語メニューでは、画面上の表示言語を選択できます。言語を選択するには以下を行います。

1 プレビューモードで、マウスを右クリックしてポップアップメニューを表示させます。

2 メインメニュー > システム > 言語を選択します。

3 リストから希望する言語を選択します。

4 **適用**をクリックして保存します。

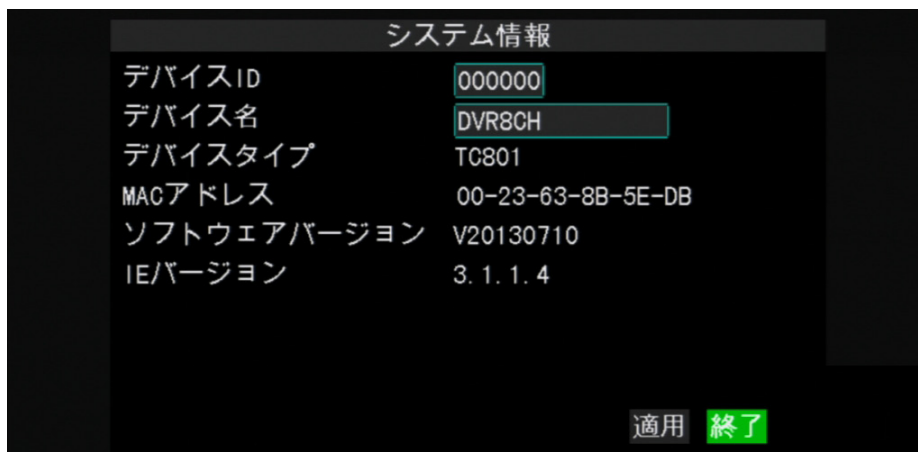
5 データの保存が完了したら、**OK**をクリックします。

4.6.5 システム情報

情報メニューでは、デバイス名とデバイスIDが設定できるとともに、MACアドレス、ファームウェアのバージョン、およびその他のシステム情報も設定できます。

1 プレビューモードで、マウスを右クリックしてポップアップメニューを表示させます。

2 メインメニュー > システム > 情報を選択します。



メニュー項目	説明
デバイスID	希望するDVR IDを入力します。DVRを識別するデバイスIDは数字のみで構成でき、同一ネットワークに複数のDVRが接続されている場合は他のIDと同じにすることはできません。
デバイス名	希望するDVR名を入力します。名前は英文字で構成できます。仮想キーボードの使用について、詳細は21ページの3.3.2 仮想キーボードをご参照ください。
デバイスタイプ	DVRの機種タイプを表示します。
MACアドレス	DVRのMACアドレスを表示します。同一ネットワークに複数のDVRが接続されている場合、DVRがネットワークに接続できることを保証するため、各DVRは一意的MACアドレスを有する必要があります。
ソフトウェアバージョン	DVRの現在のファームウェアバージョンを表示します。ファームウェアバージョンをアップデートするには、56ページのシステムファームウェアのアップデートをご参照ください。
IEバージョン	Webクライアントインターフェースの現在のソフトウェアバージョンを表示します。

3 必要な場合はデバイス名とデバイスIDを変更します。

4 適用をクリックすると設定を保存します。

5 データの保存が完了したら、OKをクリックします。

4.6.6 メンテナンス設定

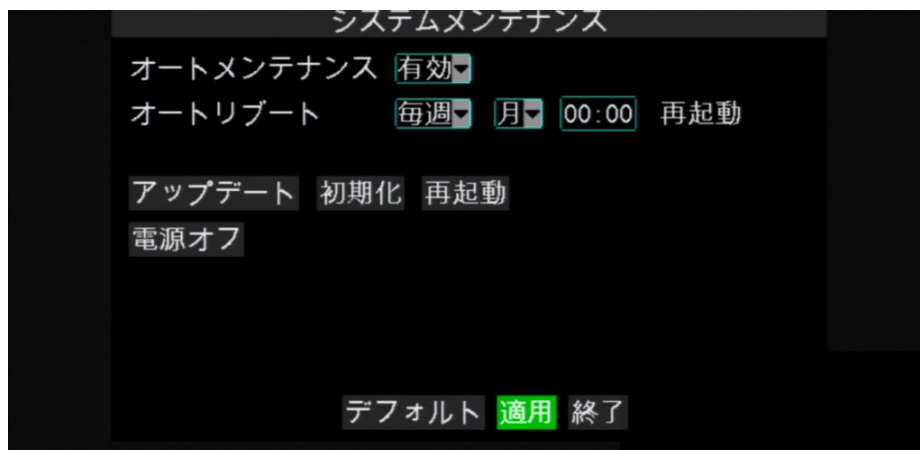
メンテナンスメニューでは、自動システムメンテナンス、DVRの工場出荷時設定へのリセット、およびファームウェア設定の更新、または手動によるDVRの再起動と電源OFFが可能です。

手動再起動と電源OFF

即時にDVRの再起動または電源OFFをするには以下を行います。

1 プレビューモードで、マウスを右クリックしてポップアップメニューを表示させます。

2 メインメニュー > システム > メンテナンスを選択します。



3 次のいずれかを行います。

- **電源オフ**をクリックしてDVRの電源をオフにします。
- **再起動**をクリックしてDVRを再起動する。

4 メッセージが表示されます。**OK**をクリックして操作を確認します。

注意:

DVRの電源をオフにする際、「電源を切れるようになりました!」メッセージが画面に表示されるのを待ちます。その後コンセントから電源コードを外します。

自動メンテナンスの設定

この機能を用いて、指定したスケジュールでDVRを自動的に再起動します。DVRが再起動すると、すべての設定とデータがメモリから更新されることで、DVRのパフォーマンスを最適化します。

1 プレビューモードで、マウスを右クリックしてポップアップメニューを表示させます。

2 メインメニュー > システム > メンテナンスを選択します。

3 オートメンテナンスを**有効**に設定します。

4 オートリブートで、DVRを再起動す頻度を選択します。オプションは

- **毎日**:DVRを毎日再起動します。このオプションを選択した場合は、DVRを再起動する時間を指定します。
- **毎週**:DVRを週1回再起動します。このオプションを選択した場合は、DVRを再起動する曜日と時間を指定します。
- **毎月**:DVRを月1回再起動します。このオプションを選択した場合は、DVRを再起動する日付 (1~31) と時間を指定します。



注意:

上図は、**毎週**に設定した**オートリブート**の例です。使用可能なフィールドは、選択した**オートメンテナンス**と**オートリブート**オプションによって異なります。

5 すべての設定が完了したら、**適用**をクリックします。

6 データの保存が完了したら、**OK**をクリックします。

« ヒント »

メンテナンススケジュールをデフォルト設定に復元するには、画面下部の**デフォルト**をクリックします。

システムファームウェアのアップデート

この機能を用いてファームウェアを最新バージョンにアップデートします。

- 1 使用可能なアップデートを確認し、「dvrupgrade」というファームウェアアップデートファイルをダウンロードします。
- 2 「dvrupgrade」ファイルをUSBフラッシュドライブに保存します。
- 3 USBフラッシュドライブを、DVRの前面または背面パネルにあるUSBコネクタに挿入します。
- 4 プレビューモードで、マウスを右クリックしてポップアップメニューを表示させます。
- 5 メインメニュー > システム > メンテナンスを選択します。
- 6 アップデートをクリックします。
- 7 画面の指示に従ってアップデートを完了します。

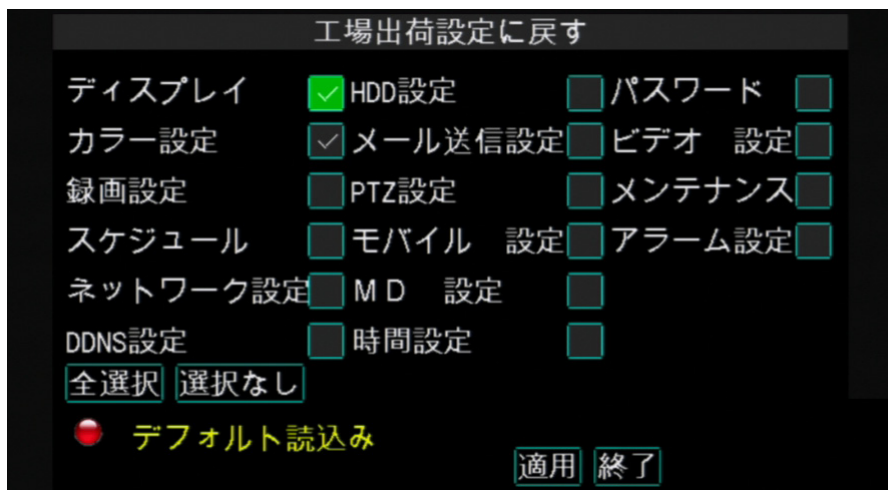
⚠警告:

アップデート中は、電源をOFFにしたり、電源からプラグを抜かないでください。

デフォルト設定の読み込み

この機能を用いて、DVRの工場出荷時設定を復元します。

- 1 プレビューモードで、マウスを右クリックしてポップアップメニューを表示させます。
- 2 メインメニュー > システム > メンテナンスを選択します。
- 3 デフォルト読み込みをクリックします。
- 4 復元する設定のチェックボックスをチェックします。



« ヒント »

- 全設定を復元するには**全選択**をクリックします。
- チェックボックスの選択を解除するには**選択なし**をクリックします。
- キャンセルするには**キャンセル**をクリックします。

- 5 終了したら、**適用**をクリックします。
- 6 警告メッセージが表示されます。**OK**をクリックして確認します。
- 7 データの保存が完了したら、**OK**をクリックします。

5章: KGUARD Webクライアント

KGUARD Webクライアントを使用すると、いつでもリモートでDVRにアクセスできます。

KGUARD Webクライアントにアクセスするには、次の要件を満たしている必要があります。

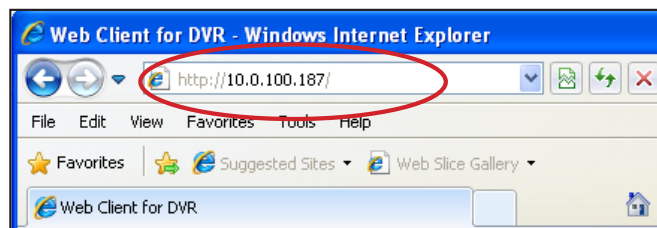
- DVRのネットワーク設定が正しく行われている[34ページの4.2 ネットワークの設定](#)をご参照ください。
- お使いのコンピューターにInternet ExplorerなどのWebブラウザがインストールされています。

5.1 ログイン

KGUARD Webクライアントでは、同時に最大3つのアクセスが可能です。ただし、アクセス毎に1つの管理者アカウントのみが許可されています。

1 お使いのコンピューターのWebブラウザを開き、URLボックスにDVRのIPアドレスまたはドメイン名を入力します。

一例として以下をご参照ください。



DVRのIPアドレスが分からない場合

DVRのIPアドレスは、ネットワークメニューで設定したネットワーク設定によって異なります ([34ページの4.2 ネットワークの設定](#)をご参照ください)。

- ネットワークタイプがDHCPの場合は、DVRに割り当てられたIPアドレスについてネットワーク管理者にお問い合わせください。
- ネットワークタイプがPPPoEの場合は、DVRに割り当てられたIPアドレスについてISPにお問い合わせください。
- ネットワークタイプが固定IPの場合は、ネットワークメニューで**IP ADDR**に設定したIPアドレスをご確認ください。
- DVRがDDNSに接続されている場合は、DDNSアカウントを作成した時に設定したドメイン名を確認し、URLボックスにはそのドメイン名をタイプします。

2 ユーザー名とパスワードを入力します。

注意:

デフォルトの管理者のユーザー名は「admin」で、パスワードは空白です。パスワードを変更するには、[49ページのパスワードの変更](#)をご参照ください。

3 必要な場合は、**ネットワーク (インターネットまたはLAN)** でネットワーク接続の種類を選択してください。

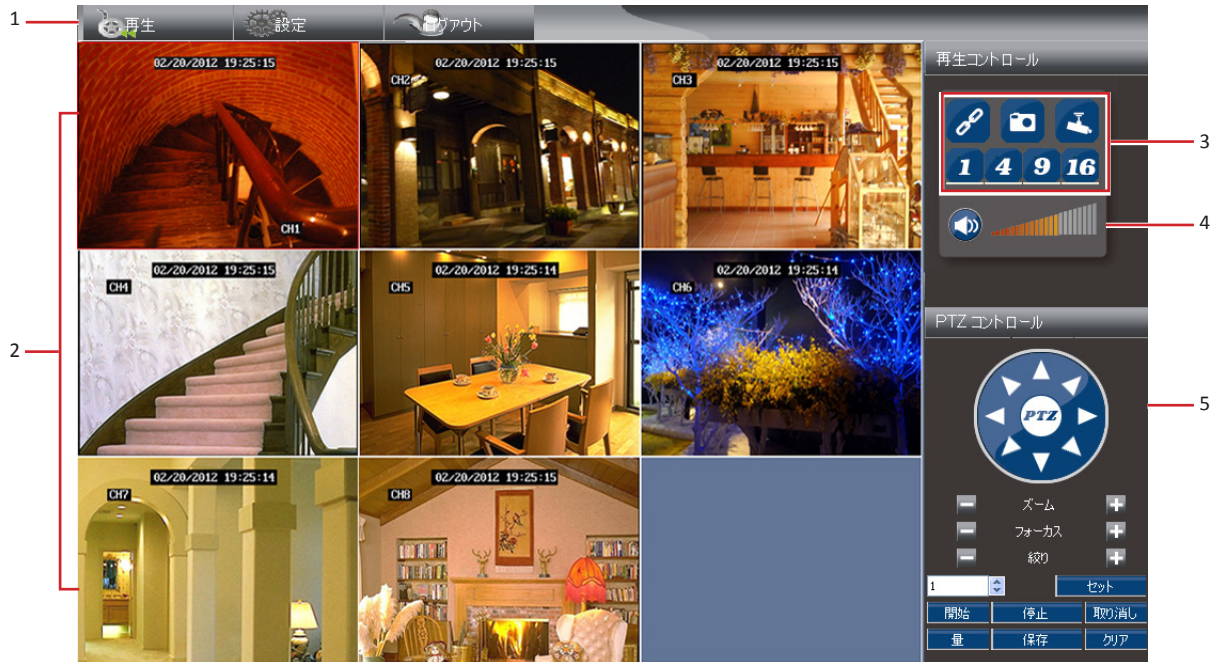
4 **ログイン** をクリックします。


5.2 インターフェイス

KGUARD Webクライアントにログイン後、ライブ映像画面が表示されます。

 **注意:**

表示されるチャンネルの数は、DVRの機種によって異なります。下図は8チャンネルDVRのものです。



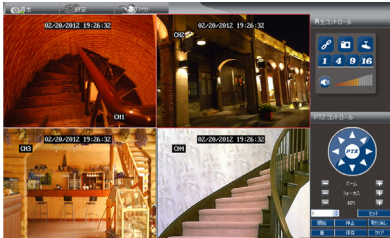
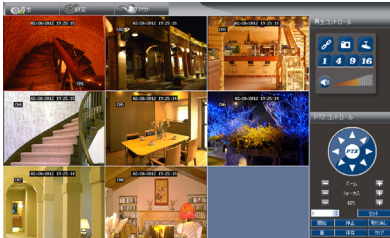
番号	項目	説明
1	メインメニュー	メニュー項目をクリックしてアクセスします。オプションは <ul style="list-style-type: none"> 再生:録画済みビデオの検索、再生、およびダウンロードが可能になります。62ページの5.4 録画済みビデオの検索と再生をご参照ください。 設定:リモートでDVRを構成することが可能です。64ページの5.5 設定をご参照ください。 ログアウト:クリックしてKGUARD Webクライアントからログアウトします。
2	ディスプレイ画面	グリッドモードまたはフルスクリーンモードでチャンネルを表示します。ディスプレイ画面を管理するには、59ページの5.3.1 画面モードの切り替えをご参照ください。
3	再生コントロール	再生、録画を管理し、画面モードを切り替えます。
4	音量	録画音量を調整します。 <ul style="list-style-type: none">  をクリックして音声入力を消音または消音解除します。 音量バーをクリックして音量を上下させます。
5	PTZコントロール	PTZスピードドームを管理します。61ページのPTZコントロールの使用をご参照ください。

5.3 ライブ映像表示

5.3.1 画面モードの切り替え

デフォルトでは、9チャンネルグリッドディスプレイが画面に表示されます。

ライブ映像画面は異なるモードで表示できます。1チャンネル、4チャンネルグリッド、9チャンネルグリッド、16チャンネルグリッド、およびフルスクリーン。

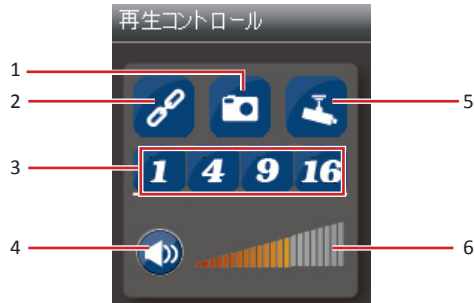
<p>1チャンネル</p>  <p>一度に1チャンネルを表示するには以下を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> • チャンネル上でダブルクリックする • もう一度ダブルクリックしてグリッド表示に戻す。 	<p>4チャンネルグリッド</p>  <p>4チャンネルをグリッド表示にするには、</p> <ul style="list-style-type: none"> • 4 をクリックします。 • 再度 4 をクリックすると、次の4チャンネルグリッドが表示されます (使用可能な場合)。 	<p>9チャンネルグリッド</p>  <p>9チャンネルをグリッド表示にするには、</p> <ul style="list-style-type: none"> • 9 をクリックします。 • 再度 9 をクリックすると、次の9チャンネルグリッドが表示されます (使用可能な場合)。
<p>16チャンネルグリッド</p>  <p>16チャンネルをグリッド表示にするには、16 をクリックします。</p>	<p>フルスクリーンモード</p>  <ul style="list-style-type: none"> • フルスクリーン表示するには、右マウスボタンをクリックしてフルスクリーンを選択します。 • ダブルクリックすると、グリッド表示とチャンネルのフルスクリーン表示が切り換わります。 • フルスクリーン表示を終了するには、右マウスボタンをクリックして全面終了を選択します。 	

5.3.2 表示と録画

ライブ映像表示から、手動録画の開始、およびチャンネルのスクリーンショットのキャプチャーが行えます。

再生コントロールの使用

再生コントロールパネルを使用すると、同時に全チャンネルを管理できます。



番号	項目	説明
1	スナップショット	クリックすると、選択したチャンネルのスナップショットをキャプチャーできます。下記スナップショットを撮るをご参照ください。
2	カメラ表示 / 非表示	クリックすると全チャンネルを表示または非表示できます。
3	グリッドカメラ表示	数字アイコンをクリックすると、グリッドモードでチャンネルを表示できます。
4	ミュート	クリックすると、録画音量を消音または消音解除できます。
5	録画	クリックすると、全チャンネルの手動録画を開始または停止できます。
6	音量バー	バーをクリックすると音量レベルを調整できます。

個々のチャンネルを手動録画する

1 希望するチャンネル上でマウスを右クリックします。ポップアップメニューが表示されます。

2 チャンネル録画を開始するには**録画開始**を選択します。チャンネル画面上に録画アイコンが表示されます。

録画を停止するには、右マウスボタンをクリックして**録画停止**を選択します。

録画したビデオはローカルディレクトリのパスに保存されます。ローカルディレクトリのパスを構成するには、[76ページの詳細設定](#)をご参照ください。

スナップショットを撮る

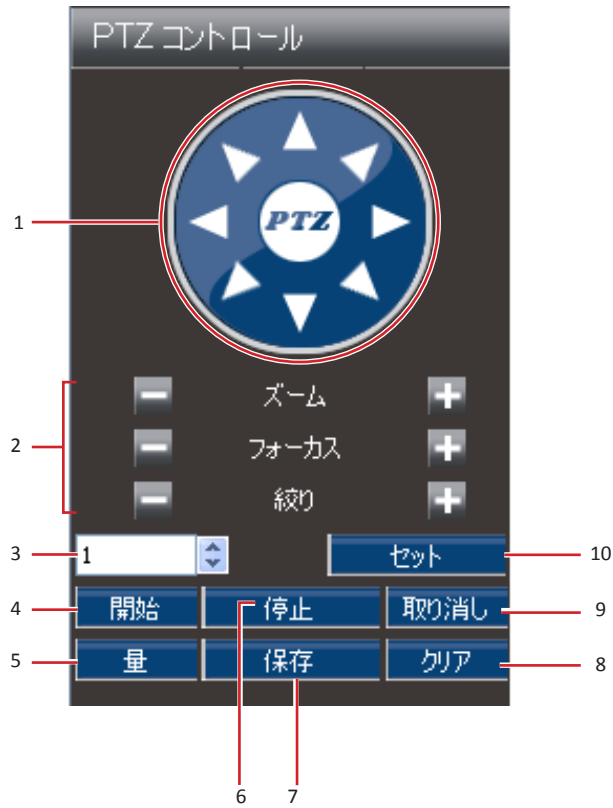
1 希望するチャンネル上でクリックします。チャンネルが赤で囲まれます。

2 再生コントロールにあるスナップショットアイコン  をクリックして、選択したチャンネルのスナップショットを撮ります。

スナップショットはローカルディレクトリのパスに保存されます。ローカルディレクトリのパスを構成するには、[76ページの詳細設定](#)をご参照ください。

PTZコントロールの使用

PTZスピードドームカメラをお使いの場合は、PTZコントロールを用いてその他のPTZ設定で表示範囲を調整します。



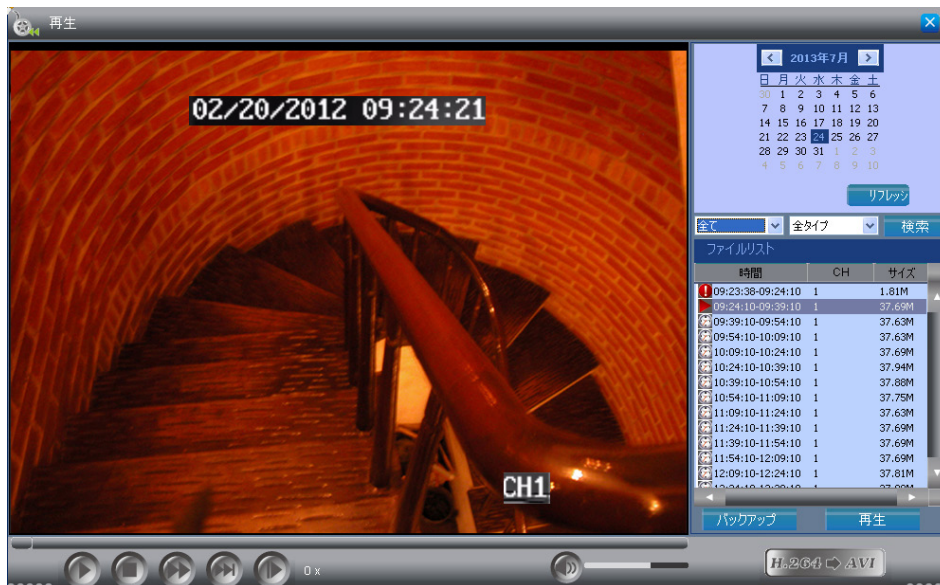
番号	項目	説明
1	ポインターパン	方向矢印をクリックしてPTZカメラの方向を選択します。 中央のアイコンをクリックすると、自動パンに切り替わります。
2	ズーム フォーカス 絞り	ズーム、フォーカス、または絞りの-および+アイコンをクリックすると、関連設定を調整できます。
3	パンおよびチルト位置	PTZクルージングを開始するプリセットポイントを選択します。
4	開始	クリックするとクルーズ機能を開始します。
5	読み込み	クリックすると、特定のプリセットポイントに進みます。
6	停止	クリックするとクルーズ機能を停止します。
7	保存	クリックすると変更を保存します。
8	クリア	クリックするとプリセットポイントを削除します。
9	取り消し	クリックすると最後の現在のポイントを取り消します。
10	セット	クリックするとプリセットポイントをセットします。

5.4 録画済みビデオの検索と再生

リモートで録画済みビデオの検索、再生、およびダウンロードが可能になります。

5.4.1 ビデオの検索と再生

1 メインメニューで、**再生**をクリックします。再生画面が表示されます。



2 カレンダーから日付を検索します。使用可能なビデオが自動的にファイルリストの表にリストされます。

「ヒント」

ファイルをリフレッシュするには**リフレッシュ**をクリックします。

3 チャンネルまたはビデオのタイプで検索をフィルタリングできます。チャンネルまたはタイプを選択してから、**検索**をクリックします。視聴中のファイルがファイルリストの表にリストされます。

4 ファイルリストの表で、ファイルを選択してから**再生**をクリックするとビデオを再生できます。

「ヒント」

また、ファイルをダブルクリックすることでもビデオを再生できます。

5 再生コントロールボタンを用いて再生の一時停止 / 再生、停止、巻き戻し、または早送りをコントロールします。音量を調整するには音量スライダーをドラッグします。

5.4.2 録画済みビデオのダウンロード

1 メインメニューで、**再生**をクリックします。再生画面が表示されます。

2 カレンダーから日付を検索します。使用可能なビデオが自動的にファイルリストの表にリストされます。

« ヒント »

ファイルをリフレッシュするには**リフレッシュ**をクリックします。

3 チャンネルまたはビデオのタイプで検索をフィルタリングできます。チャンネルまたはタイプを選択してから、**検索**をクリックします。視聴中のファイルがファイルリストの表にリストされます。

4 ファイルリストの表で、ファイルを選択します。

5 **バックアップ**をクリックしてビデオをローカルのハードディスクにダウンロードします。ダウンロード済みビデオは H.264 (*.264) 形式で保存されます。ビデオを *.avi形式に変換するには、[63ページの5.4.3 ビデオ形式の変換](#) をご参照ください。

注意:

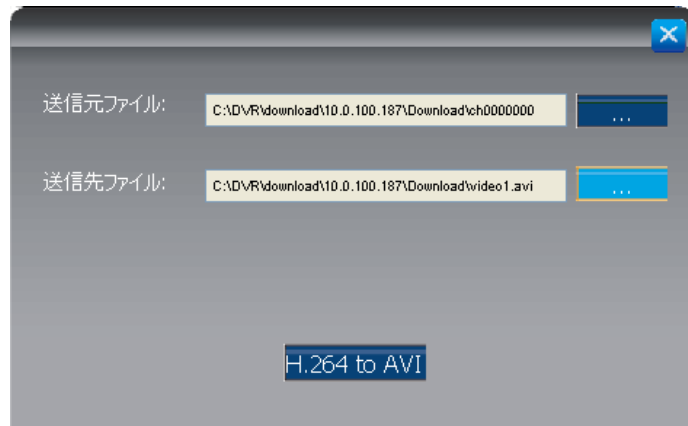
- ビデオの再生中は、**バックアップ**ボタンが使用できず、ビデオのダウンロードもできません。ダウンロード機能を使用可能にするには再生を停止します。
- ダウンロードパスフォルダー設定の詳細については[76ページの詳細設定](#)をご参照ください。

5.4.3 ビデオ形式の変換

ビデオのバックアップファイルは H.264 (*.264) 形式で保存されます。ビデオファイルを一般的なビデオプレーヤーで再生可能な形式で保存するには、ファイルを *.avi形式に変換する必要があります。

1 メインメニューで、**再生**をクリックします。再生画面が表示されます。

2 **H.264 ⇨ AVI** をクリックします。次の画面が表示されます。



3 **送信元ファイル**で、**...** をクリックして送信元ファイル (*.264) を参照します。

4 **送信先ファイル:**で **...** をクリックします。送信先フォルダーを参照してから、希望するファイル名を入力します。

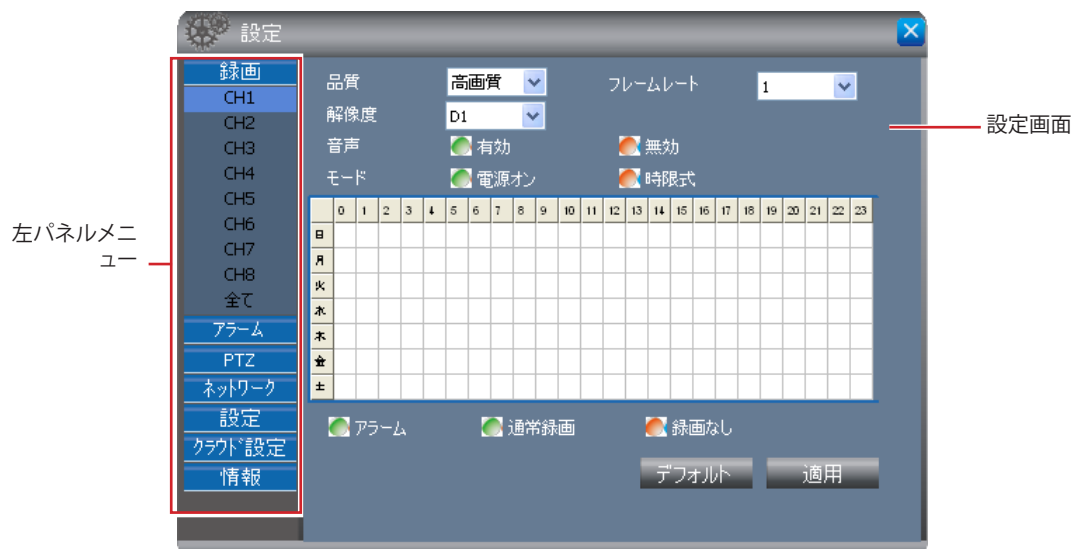
5 **h264toavi** をクリックします。

6 **x**をクリックして画面を閉じます。

5.5 設定

DVRをリモートで構成するには設定メニューを使用します。ただし、管理者アカウントでログインした場合は一部の機能のみ使用できます。

メインメニューで、**設定**をクリックして設定ページにアクセスします。



設定メニューは6つのサブメニューオプションに分割されています。

- **録画**:録画設定とスケジュールをカスタマイズできます。65ページの5.5.1 録画設定をご参照ください。
- **アラーム**:アラームのカスタマイズができるとともに、いつどのように通知するかも設定できます。67ページの5.5.2 アラーム設定をご参照ください。
- **PTZ**:PTZ設定のカスタマイズが可能です。69ページの5.5.3 PTZ設定をご参照ください。
- **ネットワーク**:メール送信設定を含むネットワーク設定をカスタマイズできます。70ページの5.5.4 ネットワーク設定をご参照ください。
- **設定**:ユーザーアカウントとパスワードの設定、インターネット速度とバックアップファイルの送信先パスのカスタマイズが行えます。75ページの5.5.5 システム設定をご参照ください。
- **情報**:ハードディスクのスペース、ソフトウェア、およびMACアドレス情報を表示できます。77ページの5.5.6 システム情報をご参照ください。

サブメニューのオプションにアクセスするには、左パネルの項目をクリックしてください。ツリーが拡大してより多くのオプションが表示されます。

5.5.1 録画設定

録画スケジュールとビットレートをリモートで設定するには録画メニューを使用します。

1 メインメニューで、**設定**をクリックします。

2 左パネルで、**録画**をクリックします。録画サブメニューが表示されます。

3 録画サブメニューで、カスタマイズするチャンネルを選択するか、または**全て**を選択して全チャンネルに設定を適用します。



 選択


 未選択

 機能無効

項目	説明
ビットレート	録画ビットレートを選択します。
音声	このボタンを押すと、録画音声が入オンまたはオフになります。
モード	クリックすると録画モードを選択できます。オプションは <ul style="list-style-type: none"> ● 電源オン:1日中 (24時間) ビデオを録画します。 ● 時限式:動作が検出された時のみ、または現在の時間にビデオを録画します。下記録画スケジュールを設定するをご参照ください。

4 設定保存するには、画面下部にある**適用**をクリックします。

« ヒント »

- デフォルト設定に戻すには、画面下部の**デフォルト**をクリックします。
- すべての変更をキャンセルするか、または画面を閉じるには、 をクリックします。

録画スケジュールを設定する

指定した時間に自動的にチャンネルを録画するには以下を行います。

1 メインメニューで、**設定**をクリックします。

2 左パネルで、**録画**をクリックします。

3 **モード**で**時限式**を選択します。スケジュール表が有効になります。



注意:
モードで時限式が有効の場合のみ、録画タイプボタンが有効になります。

4 録画タイプをクリックすると、選択したボタンが琥珀色になります。

- **アラーム:**指定した時間内に動作が検出された時のみビデオを録画します。動作が検出されない場合、録画は行われません。詳細については67ページの**モーション検出設定**をご参照ください。
- **ノーマル:**ビデオを指定した時間内に録画します。
- **なし:**スケジュール録画なし。

5 スケジュールをマークするには、グリッド上のスペースをクリックします。選択して録画タイプによってスペースの色が変わります。

希望するだけのスペースをクリックします。例:

- モーション検出録画をセットするには、**モーション**ボタンをクリックしてから、グリッド上のスケジュールをマークします。マークしたスケジュールは赤色になります。
- プリセットした時間に通常録画をセットするには、録画ボタンをクリックしてから、グリッド上のスケジュールをマークします。マークしたスケジュールは緑色になります。
- マークしたスケジュールを削除するには、録画なしボタンをクリックしてから、グリッド上のスケジュールをマークします。マークしたスケジュールは白色になります。



- モーション検出録画が設定されました
- ノーマル録画を設定
- スケジュール録画なし

6 スケジュール保存するには、画面下部にある**適用**をクリックします。

« ヒント »

デフォルト設定に戻するには、画面下部の**デフォルト**をクリックします。

5.5.2 アラーム設定

アラームメニューを使用してモーション検出アラームを有効にし、設定するとともに、ブザー音、メール、またはフルスクリーン通知などのアラーム通知を選択します。

モーション検出設定

1 メインメニューで、**設定**をクリックします。

2 左パネルで、**アラーム**をクリックします。

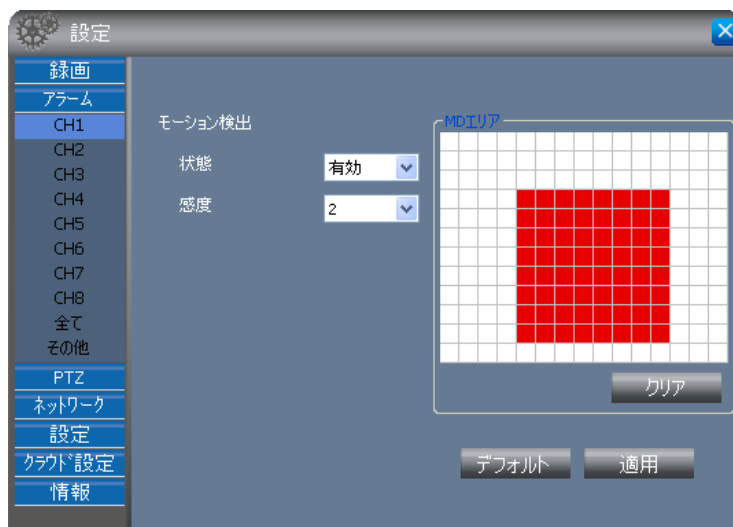
3 アラームサブメニューで、カスタマイズするチャンネルを選択するか、または**全て**を選択して全チャンネルに設定を適用します。



4 **状態**で、**有効**を選択します。

5 **感度**で、モーション感度レベルを1~4から選択します。ここで1は最も弱い感度、4は最も強い感度です。

6 グリッド上のスペースをクリックして、モーション検出のエリアをマークします。



エリアはモーション検出用にマークされています

エリアはモーション検出用にマークされていません

5章: KGUARD Webクライアント

7 あるエリアでモーション検出を無効にする場合は、マークしたブロックをクリックしたままマウスをドラッグしてマークを解除する範囲を強調表示します (エリアが白色になります)。または、**クリア**をクリックして全エリアのマークを解除してから、モーション検出のマークをする新しいエリアを選択します。

8 設定保存するには、画面下部にある**適用**をクリックします。

チャンネルでモーション検出を有効にした場合、DVRに接続されたモニターに表示されるチャンネル画面にモーション検出アイコン **M** が表示されます。

« ヒント »

- デフォルト設定に戻すには、画面下部の**デフォルト**をクリックします。
- すべての変更をキャンセルするか、または画面を閉じるには、**X** をクリックします。

アラーム設定

1 メインメニューで、**設定**をクリックします。

2 左パネルで、**アラーム**をクリックします。

3 アラームサブメニューで、**その他**を選択します。

4 必要な設定を変更します。



メニュー項目	説明
ビデオロス	チェックを入れると、カメラ信号が検出されない場合にアラームがトリガーされます。
HDD容量	チェックを入れると、ハードディスクのスペースが十分でない場合にアラームがトリガーされます。
HDDロス	チェックを入れると、ハードディスクドライブが検出されない場合にアラームがトリガーされます。
ブザー	動作が検出された時はブザーの時間を設定します (オフ / 10秒 / 20秒 / 40秒 / 60秒)。
アフレコ	アラーム終了後のアフレコ時間を選択します。 (5秒 / 10秒 / 15秒 / 20秒 / 30秒 / 1分 / 2分 / 5分)。

5 すべての設定が完了したら、画面下部にある**適用**をクリックします。

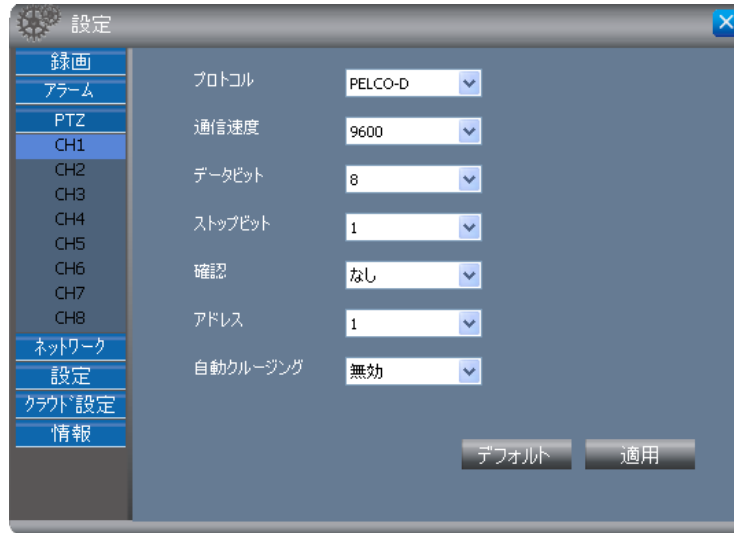
« ヒント »

- デフォルト設定に戻すには、画面下部の**デフォルト**をクリックします。
- すべての変更をキャンセルするか、または画面を閉じるには、**X** をクリックします。

5.5.3 PTZ設定

PTZカメラがインストールされている場合は、PTZメニューを使用して設定をカスタマイズします。

- 1 メインメニューで、**設定**をクリックします。
- 2 左パネルで、**PTZ**をクリックします。PTZ設定画面が表示されます。
- 3 PTZサブメニューで、PTZカメラがインストールされているチャンネルを選択します。




- 4 PTZコントロールプロトコル、通信速度、データビット、ストップビット、およびアドレスを設定します。

注意:

正しい設定についてはPTZカメラの仕様書をご確認ください。

- 5 自動クルージングを有効または無効にしてから、確認オプション (なし / 奇数 / 偶数 / マーク / スペース) を選択します。
- 6 保存するには、画面下部にある**適用**をクリックします。

« ヒント »

- デフォルト設定に戻すには、画面下部の**デフォルト**をクリックします。
- すべての変更をキャンセルするか、または画面を閉じるには、をクリックします。

5.5.4 ネットワーク設定

ネットワークメニューを使用して、DVRとネットワークの接続方法を設定します。3つのネットワーク接続オプション(固定IP、DHCP、およびPPPoE)が用意されています。このメニューから、DDNS(ダイナミックドメインネームシステム)とメールの設定も行えます。

注意:

ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダー (ISP) に相談して、お使いのネットワーク接続のタイプと設定を完了するのに必要なパラメータを決定します。

TCP/IP - 固定IPによる設定

ネットワークが固定IPアドレスを使用している場合は以下を行います。

- 1 メインメニューで、**設定**をクリックします。
- 2 左パネルで、**ネットワーク**をクリックします。TCP/IP画面が表示されます。



- 3 タイプ種類で**静的**を選択します。
- 4 メディアポート、ウェブポート、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS 1、およびDNS 2を指定します。

注意:

ネットワーク管理者またはISPからこれらの情報を得てください。


- 5 Universal Plug and Play (UPnP) デバイスをお使いの場合は**UPnP**を**有効**に設定します。

注意:

2つのデフォルトポート、80または9000のいずれかが使用できない場合は、指定したポートを他のプログラムが占有しているか、またはサービスプロバイダーによってブロックされている可能性があります。他のポート番号を入力します。この場合、IPアドレスの後にポート番号を追加する必要があります。例えば、**ウェブポート**を85と設定した場合、IPアドレスを「192.168.3.103:85」と入力する必要があります。

- 6 保存するには、画面下部にある**適用**をクリックします。

「ヒント」

- デフォルト設定に戻すには、画面下部の**デフォルト**をクリックします。
- すべての変更をキャンセルするか、または画面を閉じるには、をクリックします。

TCP/IP - PPPoEによる設定

ネットワークがPoint-to-Point Protocol over Ethernet (PPPoE) を使用している場合は以下を行います。

- 1 メインメニューで、**設定**をクリックします。
- 2 左パネルで、**ネットワーク**をクリックします。TCP/IP画面が表示されます。

3 タイプ種類でPPPOEを選択します。

項目	値
タイプ種類	PPPOE
メディアポート	9000
ウェブポート	80
ユーザー名	
パスワード	
DNS1	10 . 0 . 0 . 251
DNS2	0 . 0 . 0 . 0
UPnP	無効

4 メディアポート、ウェブポート、DNS1、DNS2を指定します (必要な場合)。

5 ユーザー名とパスワードを入力します。

注意:

ネットワーク管理者またはISPからこれらの情報を得てください。

6 Universal Plug and Play (UPnP) デバイスをお使いの場合はUPnPをオンに設定します。

7 保存するには、画面下部にある適用をクリックします。

「ヒント」

- デフォルト設定に戻すには、画面下部のデフォルトをクリックします。
- すべての変更をキャンセルするか、または画面を閉じるには、 をクリックします。

TCP/IP - DHCPによる設定

ネットワークがDHCPプロトコルを使用している場合は以下を行います。

1 メインメニューで、設定をクリックします。

2 左パネルで、ネットワークをクリックします。TCP/IP画面が表示されます。

項目	値
タイプ種類	DHCP
メディアポート	9000
ウェブポート	80
IPアドレス	10 . 0 . 100 . 187
サブネットマスク	255 . 255 . 0 . 0
ゲートウェイ	10 . 0 . 0 . 254
DNS1	10 . 0 . 0 . 251
DNS2	0 . 0 . 0 . 0
UPnP	無効

3 タイプ種類でDHCPを選択します。

4 メディアポート、ウェブポート、およびDNS2を指定します (必要な場合)。

注意:

ネットワーク管理者またはISPからこれらの情報を得てください。


5 Universal Plug and Play (UPnP) デバイスをお使いの場合は**UPnPをオン**に設定します。

注意:

2つのデフォルトポート、80または9000のいずれかが使用できない場合は、指定したポートを他のプログラムが占有しているか、またはサービスプロバイダーによってブロックされている可能性があります。他のポート番号を入力します。この場合、IPアドレスの後にポート番号を追加する必要があります。例えば、**ウェブポート**を85と設定した場合、IPアドレスを「192.168.3.103:85」と入力する必要があります。

6 保存するには、画面下部にある**適用**をクリックします。

« ヒント »

- デフォルト設定に戻すには、画面下部の**デフォルト**をクリックします。
- すべての変更をキャンセルするか、または画面を閉じるには、をクリックします。

DDNSの設定

DDNS (Dynamic DNS) は、IPがダイナミックIPシステム内で変更されてもドメイン名がIPアドレスにルーティングできるように、DDNSサーバーにドメイン名とフローティングIPアドレスを登録するサービスです。

この機能を使用するにはDDNSアカウントが必要です。ISPから情報を得るか、またはKGUARD.orgサーバーで無料のDDNSアカウントを作成します。Webサイト (<http://www.kguard.org>) にアクセスしてください。


DDNS設定をするには以下を行います。

- 1 メインメニューで、**設定**をクリックします。
- 2 左パネルで、**ネットワーク > DDNS**をクリックします。DDNS画面が表示されます。



- 3 **状態**で、**有効**を選択します。
- 4 **サーバー**でDDNSサーバーを選択します。
- 5 **ホストネーム**でドメイン名を入力します。
- 6 **ユーザー名**と**パスワード**を入力します。
- 7 画面下部にある**適用**をクリックします。

« ヒント »

- デフォルト設定に戻すには、画面下部の**デフォルト**をクリックします。
- すべての変更をキャンセルするか、または画面を閉じるには、をクリックします。

メール設定

メール送信設定メニューを用いて、メールによるアラーム通知を送受信する送受信メールサーバーを設定します。

- 1 メインメニューで、**設定**をクリックします。
- 2 左パネルで、**ネットワーク** > **メール**をクリックします。メール画面が表示されます。
- 3 **状態**で、**有効**を選択します。
- 4 必要な設定を変更します。



メニュー項目	説明
SSL	SSL (Secure Sockets Layer) プロトコルを使用してメールアカウントのセキュリティ保護を行います。メールサーバーがSSL証明を必要とする場合は SSLを有効 にします。適用する設定についてはメールサービスプロバイダーにご確認ください。
SMTPポート	メール送信に使用するメールサーバーのSMTPポートを入力します。 注意: デフォルトでは、SSL証明なしのメールの場合、SMTPポートは25です。GmailサーバーまたはSSL証明を必要とするメールの場合、SMTPポートは465がデフォルトです。正しい設定についてはメールサービスプロバイダーにご確認ください。
SMTPサーバー	メール送信に使用するメールサーバーのSMTPサーバーを入力します。
メール送信	メールを送信する送信元メールアドレスを入力します。
パスワード送信	送信者のメールパスワードを入力します。
Eメール受信	メールによるアラーム通知を送信するメールアドレスを入力します。

- 5 すべての設定が完了したら、画面下部にある**適用**をクリックします。

« ヒント »

- デフォルト設定に戻すには、画面下部の**デフォルト**をクリックします。
- すべての変更をキャンセルするか、または画面を閉じるには、**✕**をクリックします。

モバイルデバイスの設定

DVRにより、携帯電話またはタブレットPCを用いたりリモートアクセスを行うことができます。

この機能を使用する前に、以下にご注意ください。

- 必ずDVRをインターネットに接続してください。
- DVRがルーターを介してインターネットに接続されている場合、お使いのルーターの仮想サーバーオプションでポート転送を行う必要があります。この設定に関しては、お使いのルーターのユーザーマニュアルをご参照ください。

モバイルデバイス設定をするには以下を行います。

- 1 メインメニューで、**設定**をクリックします。
- 2 左パネルで、**ネットワーク** > **モバイル**をクリックします。モバイル画面が表示されます。




- 3 **モバイルユーザー名**と**モバイルパスワード**で、DVRにログインするために使用するユーザー名とパスワードを入力します。
- 4 **サーバポート**で、モバイルデバイスの監視ポートを入力します。ポートの範囲は1024から65535までです。

注意:

ここで指定する**サーバポート**は、モバイルデバイスと同じポートである必要があります。

- 5 保存するには、画面下部にある**適用**をクリックします。

« ヒント »

- デフォルト設定に戻すには、画面下部の**デフォルト**をクリックします。
- すべての変更をキャンセルするか、または画面を閉じるには、 をクリックします。

上記手順を行ったら、お使いのモバイルデバイスにKGuardモバイルデバイスユーティリティをインストールします。

詳細については78ページの6章: KViewシリーズソフトウェアの使用をご参照ください。

5.5.5 システム設定

設定メニューを使用して、管理者およびユーザーアカウントとを管理し、ローカルディレクトリ設定を行います。

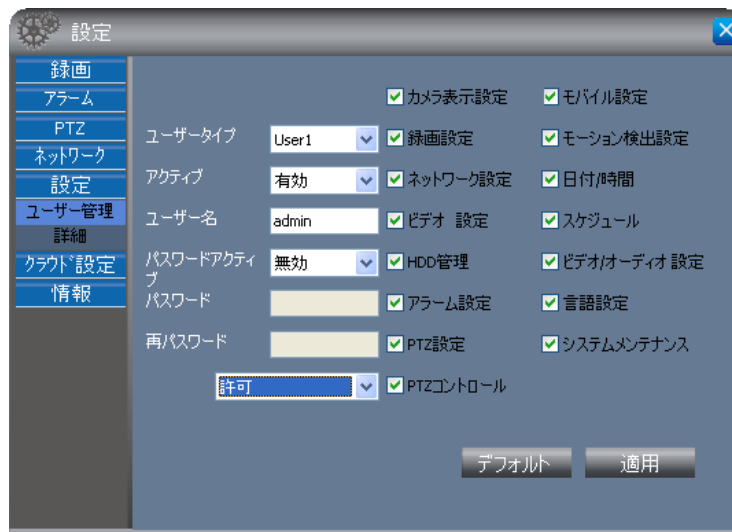
ユーザーアカウントの管理

ユーザー管理画面では、ログインパスワードの管理とDVR設定へのユーザーアクセス権の付与が行えます。管理者のみがユーザー認証とユーザーへのアクセス権の付与を行います。

1つの管理者アカウントと6つのユーザーアカウントがあります。デフォルトでは、管理者アカウントのユーザー名は「admin」で、パスワードは空白です。

管理者パスワードを変更するには以下を行います。

- 1 メインメニューで、**設定**をクリックします。
- 2 左パネルで、**設定**をクリックします。ユーザー管理画面が表示されます。



- 3 **ユーザータイプ**で、管理するアカウントを選択します。
- 4 **アクティブ**を**有効**に設定します。これにより、**ユーザー名**と**パスワードアクティブ**フィールドが入力できるようになります。
- 5 **ユーザー名**フィールドで希望するユーザー名を入力します。
- 6 **パスワードアクティブ**を**有効**に設定します。
- 7 **パスワード**と**再パスワード**に希望するパスワードを入力します。

注意:


- パスワード長は6文字である必要があります。
- **パスワード**と**再パスワード**に入力した文字は符合している必要があります。

« ヒント »

希望する場合は、管理者のユーザー名を変更します。そのためには、**ユーザー名**フィールドに希望する名前を入力します。

- 8 右側のボックスを確認して、機能のアクセス権を付与します。
- 9 保存するには、画面下部にある**適用**をクリックします。

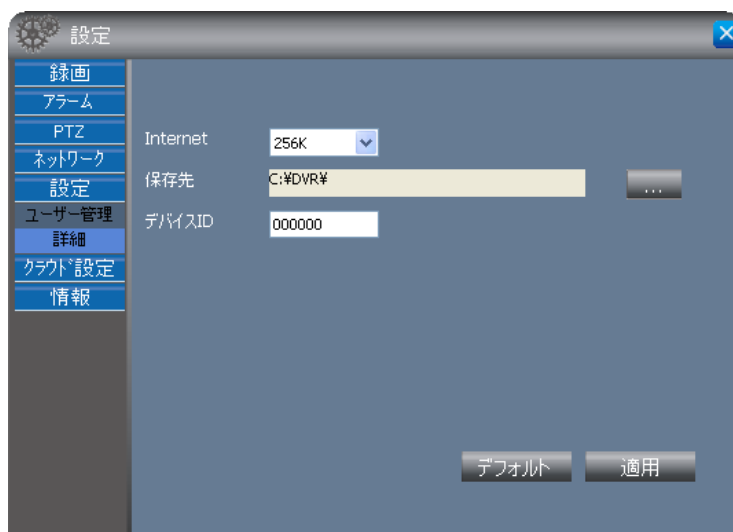
« ヒント »

- デフォルト設定に戻すには、画面下部の**デフォルト**をクリックします。
- すべての変更をキャンセルするか、または画面を閉じるには、をクリックします。

詳細設定

詳細設定画面では、インターネット接続速度を選択できます。ダウンロードを保存するローカルフォルダーのディレクトリを選択し、DVRのデバイスIDを変更します。

- 1 メインメニューで、**設定**をクリックします。
- 2 左パネルで、**設定 > 詳細**をクリックします。詳細設定画面が表示されます。




- 3 **Internet**で接続速度を選択します。
- 4 **保存先**で、参照ボタンをクリックして、すべてのダウンロードを保存するローカルディレクトリを選択します。
- 5 **デバイスID**で、お使いのDVRに希望するID (数字のみ) を入力します。

注意:

デバイスID長は6文字である必要があります。

- 6 保存するには、画面下部にある**適用**をクリックします。

« ヒント »

- デフォルト設定に戻すには、画面下部の**デフォルト**をクリックします。
- すべての変更をキャンセルするか、または画面を閉じるには、 をクリックします。

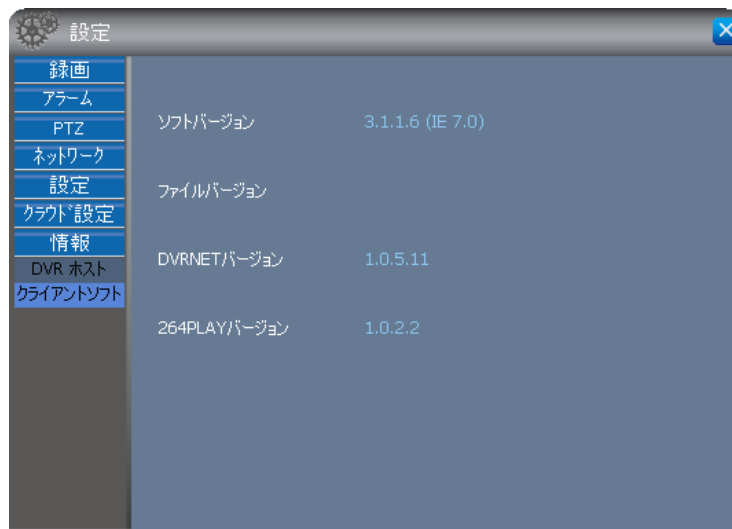
5.5.6 システム情報:

システム情報を表示するには以下を行います。

- 1 メインメニューで、**設定**をクリックします。
- 2 左パネルで、**情報**をクリックします。情報画面が表示されます。



- 3 ソフトウェア情報を表示するには、左パネルメニューで**クライアントソフト**をクリックします。



- 4 をクリックして画面を閉じます。

6章: KViewシリーズソフトウェアの使用

KViewシリーズ監視ソフトウェアは、お使いのスマートフォン、タブレット型PC、またはデスクトップコンピューターでリアルタイムにマルチチャンネル表示する機能を備えています。KViewシリーズ監視ソフトウェアには次が含まれます。

- **KView:**Android電話とiPhoneで使用します (下記参照)
- **KViewHD:**Androidのタブレット型PCとiPadで使用します (81ページの6.2 KViewHD参照)
- **KView Center:**Windowsベースのコンピューターで使用します (83ページの6.3 KView Center参照)

6.1 KView

KViewは、お使いのiPhoneまたはAndroid電話を通してリアルタイムに複数のチャンネルを表示するよう設計されたソフトウェアアプリケーションです。より良い表示をするためにカメラのパン、チルト、およびズームを行うとともに、スナップショットを撮って電話のメモ리카ードに保存することが可能です。

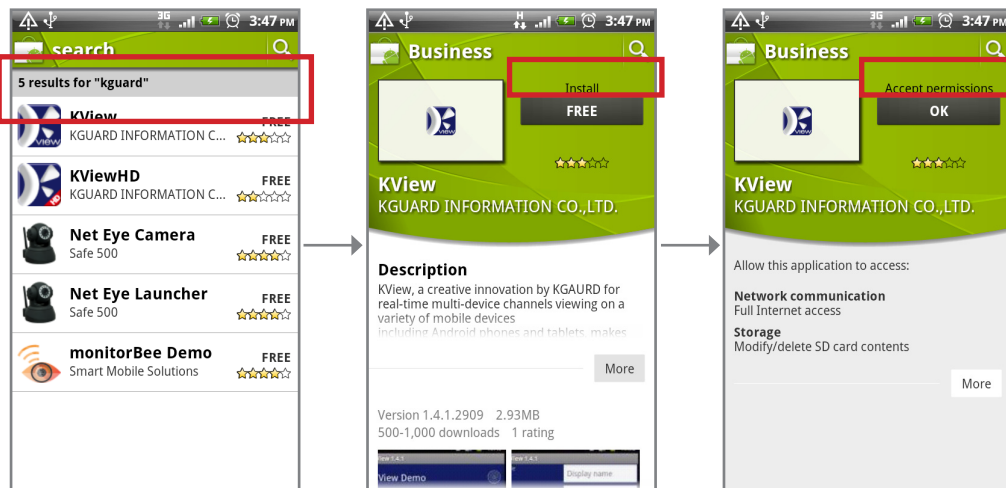
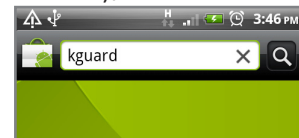
6.1.1 Android® 電話版KView



注意:

最適なパフォーマンスを保証するため、Android 2.2以上でKViewをダウンロードし、使用してください。


- 1 必ず携帯電話をインターネットに接続してください (モバイルデータ接続またはWi-Fi)。
- 2 Androidマーケットアプリケーションを開きます。
- 3 マーケットの検索バーで、キーワード「**kguard**」を入力してKViewを検索し、ダウンロードします。
- 4 選択して**KView**をダウンロードします。



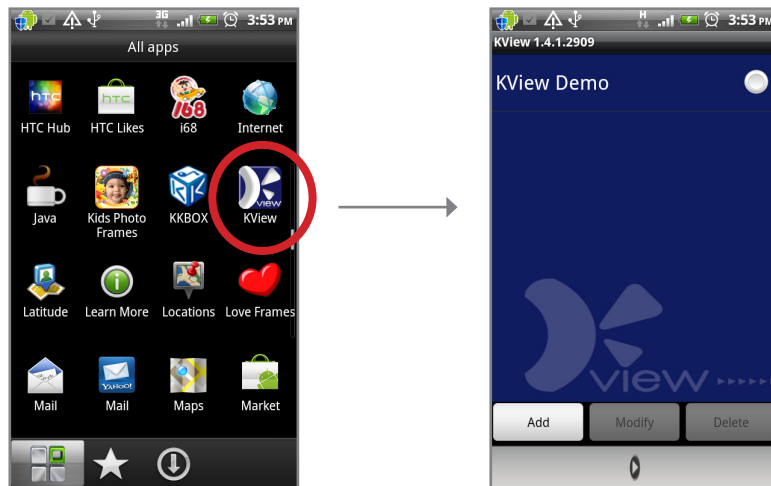
「KView」アプリケーションを選択します。

FREEをクリックします。

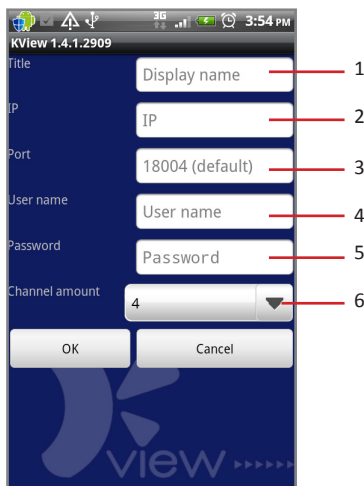
OKをクリックします。

KView  アイコンがアプリケーション画面に表示されます。

5 KView アイコンをクリックしてアプリケーションを開きます。



6 追加をクリックしてDVRを追加し、必要な設定を入力します。



番号	項目	説明
1	タイトル	ご希望のDVRの名前を入力します。
2	IP	DVRに割り当てられたIPアドレスを入力します。この情報を得るには、ネットワーク管理者またはISPにご相談ください。
3	ポート	DVRメニューで構成したサーバーのポート番号を入力します。44ページの4.4.4 モバイルデバイスの設定をご参照ください。
4	ユーザー名	DVRメニューで構成したユーザー名を入力します。44ページの4.4.4 モバイルデバイスの設定をご参照ください。
5	パスワード	DVRメニューで構成したパスワードを入力します。44ページの4.4.4 モバイルデバイスの設定をご参照ください。
6	チャンネル数量	スマートフォンでアクセスするチャンネルの数を選択します。

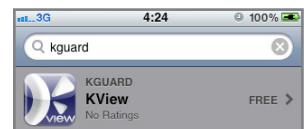
7 OKをクリックしてメイン画面を表示します。

6.1.2 iPhone®版KView

注意:

最適なパフォーマンスを保証するため、iOS 4.2.1以上のiPhoneデバイスでKViewをダウンロードし、使用してください。

- 1 必ずスマートフォンをインターネットに接続してください (モバイルデータ接続またはWi-Fi)。
- 2 App Storeアプリケーションを開き、「kguard」を検索します。
- 3 検索バーで、キーワード「kguard」を入力してKViewを検索します。



6章: モバイルデバイスへのアクセス

4 KViewを選択してダウンロードします。



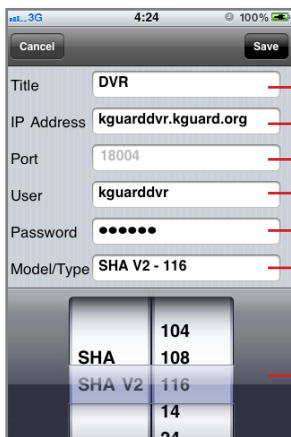
続行するためにiTunesアカウントでログインするよう求められることがあります。ダウンロードすると、KView アイコンがアプリケーション画面に表示されます。

5 KView アイコンをクリックしてアプリケーションを開きます。



6 + をクリックしてデバイスを追加します。

7 必要な設定を入力します。



番号	項目	説明
1	タイトル	ご希望のDVRの名前を入力します。
2	IPアドレス	DVRに割り当てられたIPアドレスを入力します。この情報を得るには、ネットワーク管理者またはISPにご相談ください。
3	ポート	DVRメニューで構成したサーバーのポート番号を入力します。44ページの4.4.4 モバイルデバイスの設定をご参照ください。
4	ユーザー	DVRメニューで構成したユーザー名を入力します。44ページの4.4.4 モバイルデバイスの設定をご参照ください。
5	パスワード	DVRメニューで構成したパスワードを入力します。44ページの4.4.4 モバイルデバイスの設定をご参照ください。
6	機種/タイプ	スクロールしてDVRの機種とタイプを選択します。

8 保存をクリックして設定を保存します。

6.2 KViewHD

KViewHDは、お使いのタブレットPCを通してリアルタイムに複数のチャンネルを表示するよう設計されたソフトウェアアプリケーションです。KViewHDは、AndroidベースのタブレットおよびiPadデバイスに対応しています。より良い表示をするためにカメラのパン、チルト、およびズームを行うとともに、スナップショットをキャプチャーしてタブレット型PCのメモ리카ードに保存することが可能です。

6.2.1 Android®タブレット版KViewHD

注意:

最適なパフォーマンスを保証するため、お使いのタブレット型PCがシステム要件を満たしていることをご確認ください。

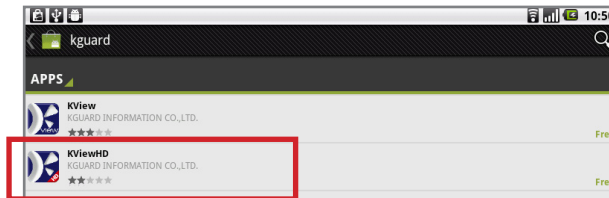
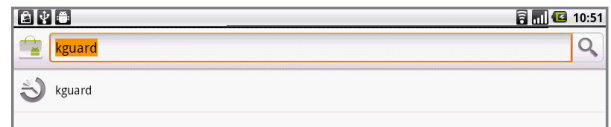
- OSバージョン:Android 3.0以上
- 解像度:1280x800

1 必ずタブレット型PCをインターネットに接続してください (モバイルデータ接続またはWi-Fi)。

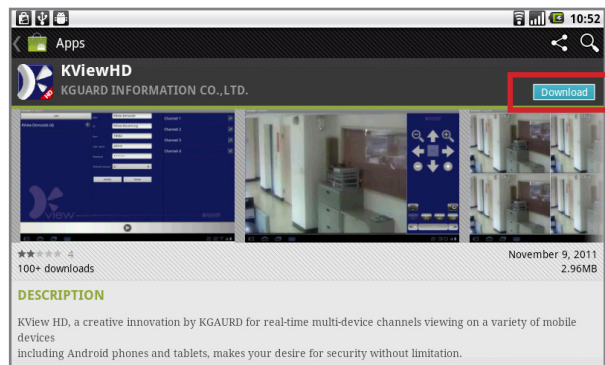
2 Androidマーケットアプリケーションを開きます。

3 マーケットの検索バーで、キーワード「kguard」を入力してKViewHDを検索します。

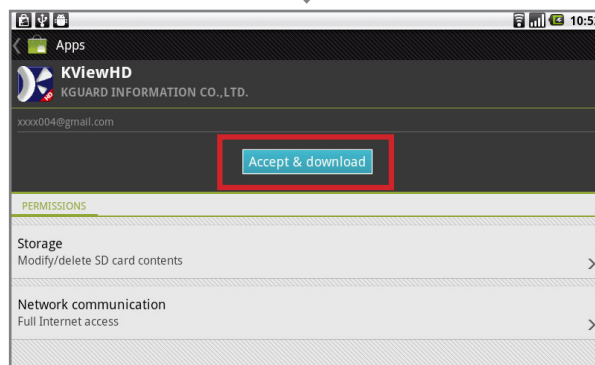
4 KViewHDを選択してダウンロードします。



「KViewHD」アプリケーションを選択します。



ダウンロードをクリックします。



同意してダウンロードをクリックします。

KViewHD  アイコンがアプリケーション画面に表示されます。

5 KViewHD  アイコンをクリックしてアプリケーションを開きます。

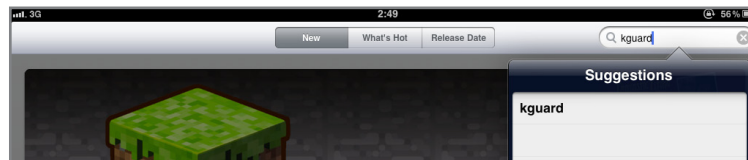
6章: モバイルデバイスへのアクセス

6.2.2 iPad®版KViewHD

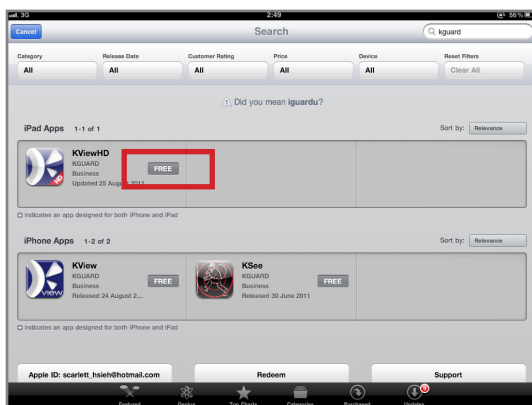
注意:

最適なパフォーマンスを保証するため、iOS 4.2.1以上のiPadでKViewHDをダウンロードし、使用してください。

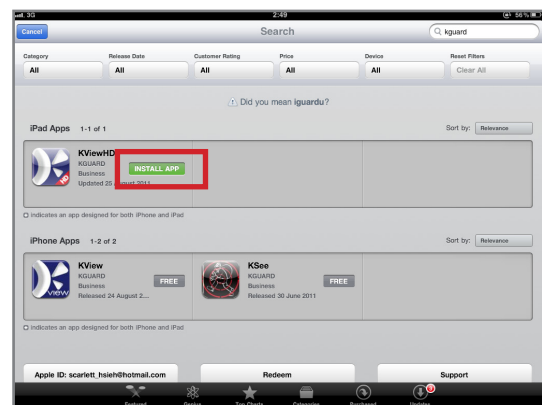
- 1 必ずiPadをインターネットに接続してください (モバイルデータ接続またはWi-Fi)。
- 2 App Storeアプリケーションを開きます。
- 3 検索バーで、キーワード「kguard」を入力してKViewHDを検索します。



- 4 KViewHDを選択してダウンロードします。



FREEをクリックします。



アプリのインストールをクリックします。

続行するためにiTunesアカウントでログインするよう求められることがあります。ダウンロードすると、KViewHD



アイコンがアプリケーション画面に表示されます。

- 5 KViewHD  アイコンをクリックしてアプリケーションを開きます。

6.3 KView Center

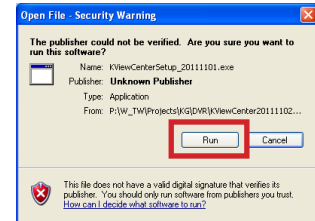
KView Centerは、Windows OSで稼働するコンピューター用に設計されたソフトウェアアプリケーションツールです。

注意:

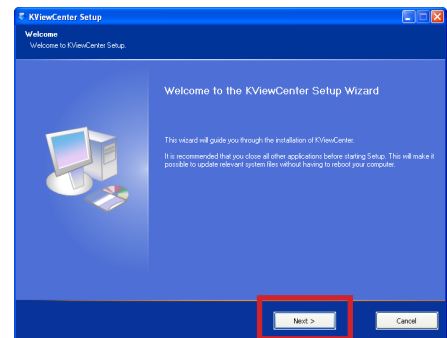
最適なパフォーマンスを保証するため、お使いのコンピューターのOSがWindows 7またはWindows XPであることを確認してください。

KView Centerをコンピューターにインストールするには、以下のステップを行います。

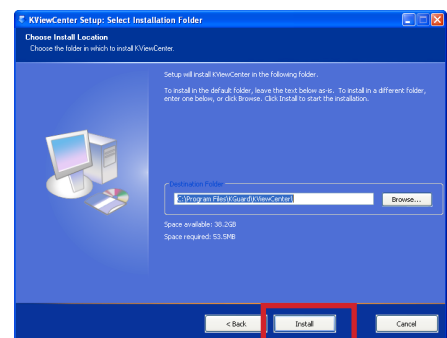
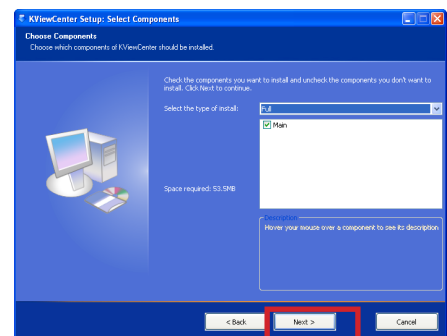
- 1 お使いのDVRに付属のCDをブラウズし、「**KViewCenterSetup.exe**」をダブルクリックします。
- 2 セキュリティ警告が表示されたら、**実行**をクリックします。
- 3 KViewCenterのセットアップ画面が表示されます。**次へ**をクリックして続行します。




- 4 **全体**を選択し、**次へ**をクリックして続行します。




- 5 ソフトウェアを保存するご希望のパスをブラウズし、**インストール**をクリックします。



- 6 インストールが完了したら、**閉じる**をクリックします。

KView Center  のショートカットアイコンがデスクトップに表示されます。

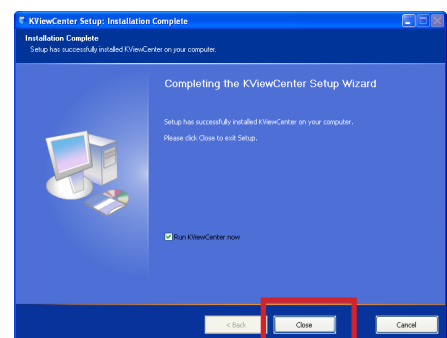
- 7  をダブルクリックしてKView Centerを開きます。

注意:

KView Centerにログインするには、デフォルトのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名: admin

パスワード: 1234



6.4 KViewシリーズの仕様

監視ソフトウェア オペレーティングシ ステム	KView		KViewHD		KView Center
	Android	iPhone	Android	iOS	Windows
OSバージョン	2.2以上	4.2.1以上	3.0以上	4.2.1以上	XP / 7 (32/64ビット)
解像度	モニター	480x320 960x640	1280x800	1280x800 1024x600	モニター
デバイスリスト(DVRの アドレス帳)	16デバイスに使用可能		16デバイスに使用可能		4デバイスに使用可能
スマートIMEスイッチ	あり		あり		あり
ライブ映像表示	あり		あり		あり
ライブ映像表示チャ ンネル	1チャンネル		最大16チャンネル(同時)		36チャンネル
タッチズームイン/ア ウトPTZコントロール	あり		あり		あり
タッチフォーカスイ ン/アウトPTZコント ロール	あり		あり		あり
縦型 / 横型画面モ ード	あり		あり		-
ライブスナップショ ット	あり		あり		あり
レイアウト	-		-		1/4/9/16/25/36
特典	-		-		あり
イベント	-		-		あり
リモート再生	-		-		あり日付と時間で検索
ローカル再生	-		-		あり日付と時間で検索
リモートバックアップ	-		-		最大8チャンネル (同時)
スケジュール (リモ ート)	-		-		あり
Eマップ	-		-		あり
IEブラウザの起動	-		-		あり

7章:トラブルシューティングおよびFAQ

7.1 トラブルシューティング

DVRを使用する際になんらかの問題を体験した場合は、サービスに問い合わせる前に以下の共通問題に対する解決法を試みてください。問題が持続する場合は、お近くのカスタマーサービスにお問い合わせください。

問題	あり得る解決法
DVRの電源がONにならず、インジケータが点灯していない。	<ul style="list-style-type: none"> 電源アダプターが正しく接続されていることをご確認ください。 電源コードを別のコンセントに接続します。現在のコンセントが損傷している恐れがあります。 電源コードが損傷している恐れがあります。販売店にお問い合わせの上、新しいものをご購入ください。
一部のチャンネルにビデオ信号がありません。	<ul style="list-style-type: none"> カメラが正しく接続されているかをご確認ください。 カメラに電力が供給されているかをご確認ください。 お客様の国で使用されている正しいビデオ形式を設定してください(NTSC/PAL)。51ページのビデオ出力設定をご参照ください。 カメラケーブルが損傷している恐れがあります。新しいものと交換してください。
画面に「H」が表示され、DVRがHDDを検出できません。	<ul style="list-style-type: none"> HDDデータと電源ケーブルが正しく接続されていることをご確認ください。 新しいHDDの場合は、先にHDDをフォーマットしてください。41ページのHDDのフォーマットをご参照ください。 上記すべての手順を行ってもうまくいかない場合は、カスタマーサービスに問い合わせるさらにサポートを受けてください。
管理者パスワードを変更しましたが思い出せません。	<ul style="list-style-type: none"> 工場出荷時の既定パスワードを取得するには、小売業者へ問い合わせるか、または直接KGUARDsupport@kguardsecurity.comにメールを送信してください。
リモコンが動作しません。	<ul style="list-style-type: none"> リモコンとDVRセンサーを遮るものが何もないことをご確認ください。リモコンを適切な距離をあけて向けてください。 リモコンの電池をご確認ください。
PTZカメラを制御できません。	<ul style="list-style-type: none"> カメラのプロトコル、ボーレート、アドレスコード、およびその他の設定が、DVRで設定した設定と符合しているかご確認ください。43ページの4.4.3 PTZ設定をご参照ください。 ケーブルが正しく接続されているかをご確認ください。
ブザーが鳴り続けています。	<ul style="list-style-type: none"> アラーム設定をご確認ください。モーション検出が検出されている場合があります。HDD容量とビデオ接続をご確認ください。これらがアラームの契機となっている可能性があります。 DVR設定でブザーを無効にします。42ページの4.4.2 アラーム設定をご参照ください。
PTZコントロールメニューが見つかりません。	<ul style="list-style-type: none"> DVRがクルーズモードである場合があります。先にクルーズモードを無効にして停止してください。22ページの3.3.4 ポップアップメニューをご参照ください。
DVRに外部ストレージデバイスを接続しましたが認識されません。	<ul style="list-style-type: none"> 外部ストレージデバイスは、DVRと互換性がない場合があります。他のストレージデバイスの接続を試みてください。

問題	あり得る解決法
Webクライアントにアクセスできません。	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークケーブルがDVRに正しく接続されているかをご確認ください。 ネットワーク設定が正しく接続されているかをご確認ください。34ページの4.2 ネットワークの設定をご参照ください。 Internet Explorer 6以上があることをご確認ください。
携帯電話からDVRにアクセスできません。	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークケーブルがDVRに正しく接続されているかをご確認ください。 ネットワーク設定が正しく接続されているかをご確認ください。34ページの4.2 ネットワークの設定をご参照ください。 モバイルデバイスのユーティリティがお使いの携帯電話にインストールされていることをご確認ください。 モバイルサーバーポートの値がDVRメニューで設定した値と同じであることをご確認ください。44ページの4.4.4 モバイルデバイスの設定をご参照ください。

7.2 よくある質問

FAQ	回答
画面メニューに表示される「H」は何を意味していますか?	<ul style="list-style-type: none"> これはHDDが検出できないか、または不正にフォーマットされていることを意味します。
DVRを触ると熱いです。これにより何か問題が起きますか?	<ul style="list-style-type: none"> パフォーマンスと信頼性を持続するため、必ずユニット周辺の換気を適切にするとともに、DVRを直射日光または熱源から離してください。
HDDは標準のPCのハードドライブでアップグレードできますか?	<ul style="list-style-type: none"> はい。SATA接続の3.5インチHDDが使用できます。ただし、信頼性を持続するため、CCTVまたはAVハードドライブをお勧めします。
以前録画したファイルを同時に録画し再生することは可能ですか?	<ul style="list-style-type: none"> はい。再生メニューに移動することで、録画の継続中に既存の録画を再生することができます。
ユニットから個々の録画を削除することは可能ですか?	<ul style="list-style-type: none"> いいえ。同時にすべての録画の削除のみが行えます。録画を削除したい場合は、HDDをフォーマットする必要があります。 <p>⚠警告: HDDをフォーマットすると既存の録画がすべて消去されます。これを行う前に必ずファイルをバックアップしてください。</p>
MacまたはLinuxでシステムを表示することは可能ですか?	<ul style="list-style-type: none"> はい。システムは、携帯電話またはSafariやWindows®のInternet Explorerで使用可能です。

付録: 仕様

機種名:	TC401 (4-CH DVR)	TC801 (8-CH DVR)
クラウド		
クラウドストレージ	あり	
保存モード	スケジュール / モーション検出	
ビデオ		
ビデオ形式	NTSC / PAL	
ビデオ入力	BNC入力 x4	BNC入力 x8
ビデオ出力	VGA出力 x1、BNC出力 x1	VGA出力 x1、BNC出力 x1
表示フレームレート	NTSC:120fps、PAL:100fps	NTSC:240fps、PAL:200fps
音声		
オーディオ入力	RCA入力 x4	RCA入力 x8
オーディオ出力	RCA出力 x1	RCA出力 x1
オーディオ圧縮	8kHz x 16ビットADPCM	
録画		
ビデオ圧縮	H.264	
録画解像度	NTSC: CIF (352 X 240)、HD1 (704 X 240)、D1 (704 X 480)	
	PAL: CIF (352 X 288)、HD1 (704 X 288)、D1 (704 X 576)	
録画フレームレート	NTSC:120fps@CIF、120fps@HD1、120fps@D1	NTSC:240fps@CIF、120fps@HD1、60fps@D1
	PAL:100fps@CIF、100fps@HD1、100fps@D1	PAL:200fps@CIF、100fps@HD1、50fps@D1
録画モード:	常時録画 / スケジュール / モーション検出 / リモート録画	
録画パック時間	15 / 30 / 45 / 60分	
HDDインターフェイス	SATA (最大2TBまでサポート)	
ネットワーク		
ネットワークインターフェイス	RJ45、10M / 100M	
ネットワークプロトコル	TCP/IP、DHCP、DDNS、PPPoE	
再生		
ローカル再生	同時に4チャンネル	同時に8チャンネル
再生検索	日付 / 時間 / ファイルリスト	
再生モード	再生 / 早送り / 巻き戻し / フレーム毎	
全般		
PTZコントロール	RS485を内蔵。PELCO-PおよびPELCO-Dに対応	
アラームモード	モーション検出、ビデオロス、HDDロス、HDDフル、Eメールアラーム	
バックアップ方法	USBフラッシュディスク、USB HDDディスク、ネットワーク	
電源	DC 12V / 2A	
動作温度 (HDDなし)	-10°C ~ 50°C (14°F ~ 122°F)	
保存温度	-20°C ~ 70°C (-4°F ~ 158°F)	
動作湿度	10% ~ 90%	
寸法 (W x D x H) (mm)	274 x 214.5 x 45 mm	

* すべての仕様は予告なく変更されることがあります。詳細については実機をご参照ください。



Copyright © 2013 All rights reserved

カスタマーサポート

KGUARD INFORMATION CO., LTD.

所在地:4F, No.113, Jian 2nd Road, Jhonghe District, New
Taipei City 23585, Taiwan
TEL:+886-2-8228-6080
FAX:+886-2-8221-6857

技術サポート:support@kguardsecurity.com

米国支社

所在地:17005 Evergreen Pl. Unit C, City of Industry,
CA91745
TEL:1-626-581-0867
TEL:1-626-581-1645

販売のお問い合わせ:sales@kguardsecurity.com